

第9回淑徳大学学生生活 実態調査報告書



2025年12月

淑徳大学

刊行にあたって

淑徳大学では、「自己点検・評価の一環として、淑徳大学に学ぶ学生の皆さんに、日頃本学の教育等に対してどのように考え、どのような学生生活を送っているか等を把握し、今後の淑徳大学のあり方を考えるうえでの基礎データを収集すること」を目的として、1993年に第1回学生生活実態調査を実施しました。その後4年に1回の調査を重ね、2025年に第9回調査を実施し、このたび報告書を刊行する運びとなりました。

調査対象は、4キャンパスに設置された7学部13学科に在籍するすべての学生です。調査方法については、前回に引き続き、学生がより回答しやすいようにスマートフォンによる回答形式を採用しました。全体の有効回答率は72.0%で、残念ながら目標の80%には届かなかったものの、多くの学生の皆さんから貴重な回答を得ることができました。

本学では、「授業評価アンケート」や「授業時間以外の学修状況や学修行動に関する調査」などを定期的に実施していますが、学生生活全体を対象とした全学的調査は、この「学生生活実態調査」に限られています。今回も、大学生活の状況、学生生活への満足度、要望・意見など、多岐にわたる具体的なデータを収集することができました。

特に今回は、学生の皆さんのが本学をどのように評価し、どの点を高校生に薦めたいと感じているか、つまり「淑徳大学の強み」と認識している点が明確にされました。「多くの学生が親切、優しい、温かい（89.2%）」「専門的な学習が充実している（88.4%）」「建学の精神である「利他共生」にもとづいた教育が実施されている（86.9%）」「仲間や友人から得られる学びが大きい（89.0%）」など、多くの肯定的な回答が寄せられました。

本報告書は、これらの貴重なデータを分析・整理し、教職員や学生をはじめ、広く学外に公開するものです。私たち教職員は今後、学生の皆さん的生活実態や要望を踏まえ、改善・改革の具体策を検討してまいります。可能なものから順次取り組み、学生サービスのさらなる向上に努めることをお約束します。

最後に、今回の学生生活実態調査にご協力くださった学生の皆さんに、心より感謝申し上げます。また、本調査の運営に尽力していただいた大学学生厚生委員会の皆さんにも、深く御礼申し上げます。

学長 山口光治

目 次

I . 調査の概要

(1) 調査の目的	1
(2) 調査対象	1
(3) 調査の方法及び実施期間	1
(4) 有効回答率	2

II . 調査結果

(1) 志望の状況	3
(2) 学生生活の状況	7
(3) 日常生活の習慣.....	12
(4) アルバイトの実施状況	14
(5) 情報端末の所持、使用状況	17
(6) 友人関係及び教職員との関係	24
(7) 教育環境の満足度	27
(8) 淑徳大学の強み、薦めたい点	48
(9) 淑徳大学、学生生活の総合満足度	73
(10) 淑徳大学への要望や意見（自由記述回答より）	77

III. 要望・意見に対する「各キャンパスの回答」	78
---------------------------------	----

IV. 「第 9 回淑徳大学学生生活実態調査」調査票	92
----------------------------------	----

I. 調査の概要

I. 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、自己点検・評価の一環として、学部生が日頃本学の教育等に対してどのように考え、どのような学生生活を送っているか等を把握し、今後の淑徳大学（以下、本学とする）のあり方を考える上での基礎データを収集することを目的とする。

(2) 調査対象

2025年7月1日（調査開始（学内広報））時点の休学者を除く正課程の学部学生を対象とした。対象者は、5,355名であった。（表 I - 1）

表 I - 1 在学学生数

（2025年5月1日現在）

	総合福祉学部				コミュニティ政策学部	看護栄養学部			教育学部
	社会福祉学科	教育福祉学科	実践心理学科	学部計		看護学科	栄養学科	学部計	
1年次	135	164	111	410	75	109	78	187	93
2年次	139	160	106	405	91	100	78	178	101
3年次	187	155	99	441	98	124	82	206	123
4年次	180	155	116	451	98	91	92	183	138
計	641	634	432	1707	362	424	330	754	455

	地域創生学部	経営学部			人文学部			大学計	
	地域創生学科/学部計	経営学科	観光経営学科	学部計	歴史学科	表現学科	人間科学科		
1年次	56	166	105	271	79	82	103	264	1,356
2年次	76	151	118	269	67	85	105	257	1,377
3年次	58	141	105	246	60	88	94	242	1,414
4年次	—	109	71	180	65	93	—	158	1,208
計	190	567	399	966	271	348	302	921	5,355

(3) 調査の方法及び実施期間

2025年7月1日（火）～2025年7月31日（木）まで、株式会社クロス・マーケティングのアンケートASPシステムを使用し、Web調査により実施した。

実施に際しては、複数回にわたるS-Naviの配信、学内へのポスター掲示による依頼や授業時に教員からの口頭による依頼を行い回答率の向上に努めた。

(4) 有効回答率

今回の回答者数は、総合福祉学部 959 人、コミュニティ政策学部 219 人、看護栄養学部 690 人、教育学部 298 人、地域創生学部 145 人、経営学部 762 人、人文学部 784 人であった。全体で 3,857 人の回答があった。

有効回答率は、総合福祉学部 56.2%、コミュニティ政策学部 60.5%、看護栄養学部 91.5%、教育学部 65.5%、地域創生学部 76.3%、経営学部 78.9%、人文学部 85.1% であった。全体の有効回答率は、72.0% であった。(表 I - 2)

大学全体を年次別にみると 1 年次 81.1%、2 年次 72.7%、3 年次 70.8%、4 年次 62.5% となっていて、上位年次になるほど回答率が低下している。学部を年次別にみると総合福祉学部では、1 年次 62.9%、2 年次 56.8%、3 年次 55.6%、4 年次 50.1% となっている。コミュニティ政策学部では、1 年次 90.7%、2 年次 52.7%、3 年次 66.3%、4 年次 38.8% と 4 年次の回答が 4 割に満たなかった。看護栄養学部では、1 年次 94.7%、2 年次 91.6%、3 年次 89.8%、4 年次 90.2% といずれの年次も高い回答率となっている。教育学部では、1 年次 66.7%、2 年次 68.3%、3 年次 66.7%、4 年次 66.1%、地域創生学部は、1 年次 85.7%、2 年次 67.1%、3 年次 79.3% で 4 年次は在籍していない。経営学部では、1 年次 91.1%、2 年次 79.6%、3 年次 75.2%、4 年次 64.4%、人文学部では、1 年次 90.9%、2 年次 87.9%、3 年次 79.8%、4 年次 79.1% であった。

前回（2021 年実施）の調査と比較すると、いずれの学部も回答率が低下し、なかでもコミュニティ政策学部（前回 75.1%→60.5%）と教育学部（前回 89.2%→65.5%）で顕著な低下が見られた。大学全体では、前回の 80.4% から 72.0% に回答率が低下した。

表 I - 2 有効回答者数・回答率

上段：有効回答者数
下段：有効回答率

	総合福祉学部				コミュニティ政策学部	看護栄養学部			教育学部
	社会福祉学科	教育福祉学科	実践心理学科	学部計	コミュニティ政策学科/学部計	看護学科	栄養学科	学部計	こども教育学科/学部計
1 年次	119	78	61	258	68	98	79	177	62
	88.1%	47.6%	55.0%	62.9%	90.7%	89.9%	101.3%	94.7%	66.7%
2 年次	110	72	48	230	48	90	73	163	69
	79.1%	45.0%	45.3%	56.8%	52.7%	90.0%	93.6%	91.6%	68.3%
3 年次	115	69	61	245	65	110	75	185	82
	61.5%	44.5%	61.6%	55.6%	66.3%	88.7%	91.5%	89.8%	66.7%
4 年次	115	63	48	226	38	90	75	165	85
	63.9%	40.6%	41.4%	50.1%	38.8%	98.9%	81.5%	90.2%	61.6%
計	459	282	218	959	219	388	302	690	298
	71.6%	44.5%	50.5%	56.2%	60.5%	91.5%	91.5%	91.5%	65.5%

	地域創生学部	経営学部			人文学部				大学計
	地域創生学科/学部計	経営学科	観光経営学科	学部計	歴史学科	表現学科	人間科学科	学部計	
1 年次	48	143	104	247	79	80	81	240	1,100
	85.7%	86.1%	99.0%	91.1%	100.0%	97.6%	78.6%	90.9%	81.1%
2 年次	51	105	109	214	66	69	91	226	1,001
	67.1%	69.5%	92.4%	79.6%	98.5%	81.2%	86.7%	87.9%	72.7%
3 年次	46	99	86	185	47	67	79	193	1,001
	79.3%	70.2%	81.9%	75.2%	78.3%	76.1%	84.0%	79.8%	70.8%
4 年次	—	58	58	116	54	71	—	125	755
	—	53.2%	81.7%	64.4%	83.1%	76.3%	—	79.1%	62.5%
計	145	405	357	762	246	287	251	784	3,857
	76.3%	71.4%	89.5%	78.9%	90.8%	82.5%	83.1%	85.1%	72.0%

II. 調査結果

II. 調査結果

(1) 志望の状況

本学を選んだ理由は「専門的な勉強をしたい」が1位（56.0%）

1) 淑徳大学を選んだ動機

淑徳大学を選んだ動機について、「その他」を含む20の選択肢を提示し、回答を得た。

大学全体の傾向をみると、「所属する学科・コースの専門的な勉強をしたかった」56.0%、「免許や資格を取得できると思った」44.7%、「将来につきたい仕事に必要な勉強がしたかった」41.7%が上位3位となる。

およそ半数の学生が、「専門的な勉強をし、免許や資格を取得すること」によって、「希望通りに就職する」ために本学を選んだ、と回答している。これは、前回（第8回）や前々回（第7回）の調査結果と変わりない。

また、4位～11位をみると、「自宅から通学できる」28.0%、「自分の勉強したい科目がある」26.9%、「オープンキャンパスに参加し、印象が良かった」25.5%、「実践的・実学的な教育方法に魅力を感じた」18.3%、「自分の学力に合っていた」16.5%、「就職率が高い」11.3%、「専門以外の科目も勉強できると思った」10.2%、「キャンパスの施設、設備が気に入った」10.0%であった。

12位以下は、「高校や予備校の先生にすすめられた」、「サークル活動や課外講座に魅力を感じた」、「家族や親類にすすめられた」、「課外授業に魅力を感じた」、「友人や先輩にすすめられた」、「伝統や建学の精神に魅力を感じた」、「就職先がよい」、「海外留学・研修に魅力を感じた」の順であり、これらの項目における選択率は10.0%未満である。

表II-1に、各動機（複数回答可）の選択割合を全体および学部別に示す。

学部別にみると「所属する学科・コースの専門的な勉強をしたかった」が1位になった学部は、経営学部、人文学部である。

「免許や資格を取得できると思った」が1位になった学部は、総合福祉学部、看護栄養学部、教育学部である。

「自宅から通学できる」が1位になった学部は、コミュニティ政策学部である。コミュニティ政策学部は、大学全体で2位となった「免許や資格を取得できると思った」を選択する学生が少ない一方で、「自分の学力に合っていた」や「サークル活動や課外活動に魅力を感じた」を選択する学生が多いなど、特徴的な傾向があった。

図にはないが「その他」は1.6%であり、自由記述として、「推薦があった」「他の大学に落ちたから」等の回答が目立った。

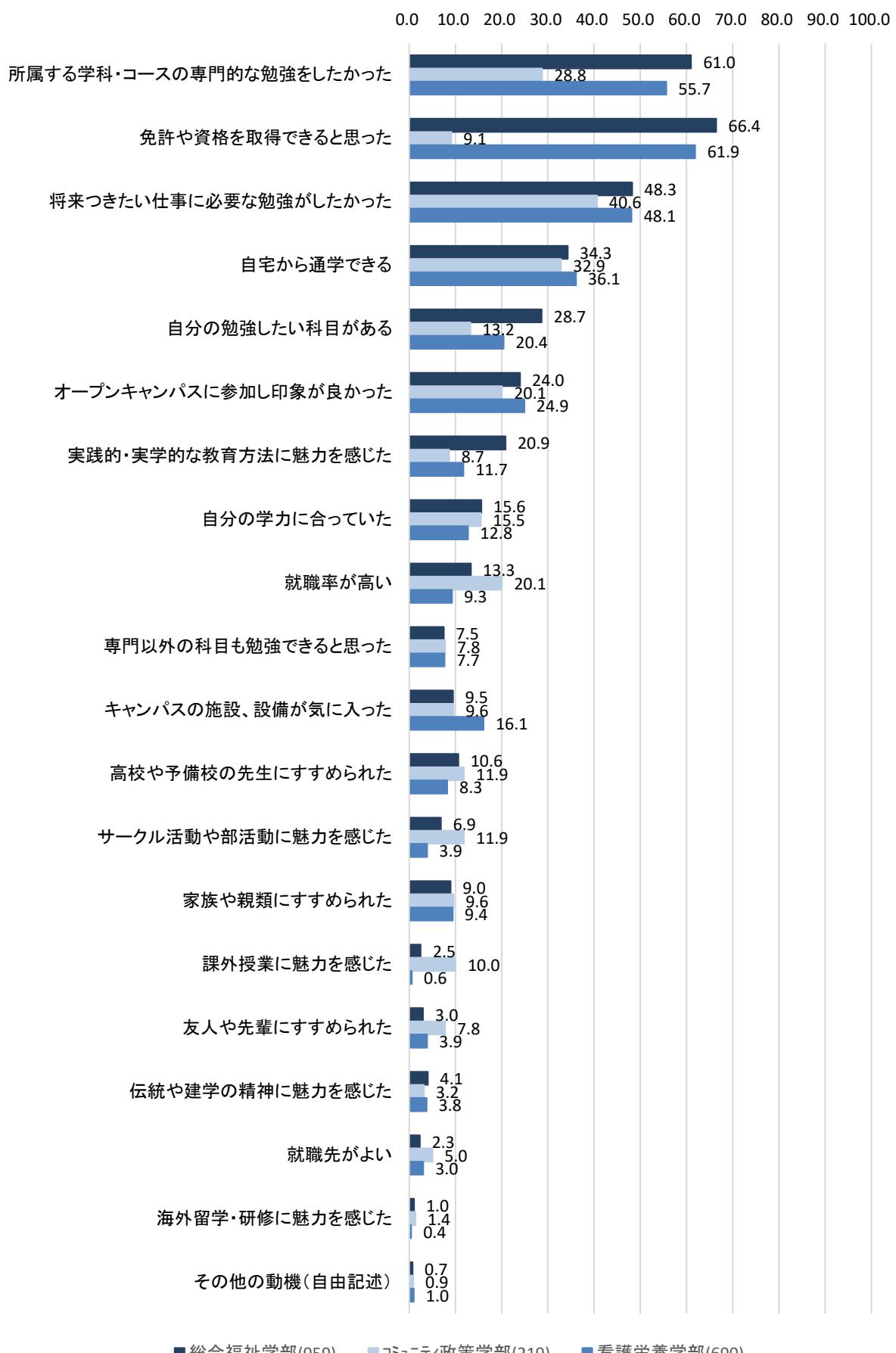


図 1-1 淑徳大学を選んだ動機（複数回答%）千葉・第二キャンパス

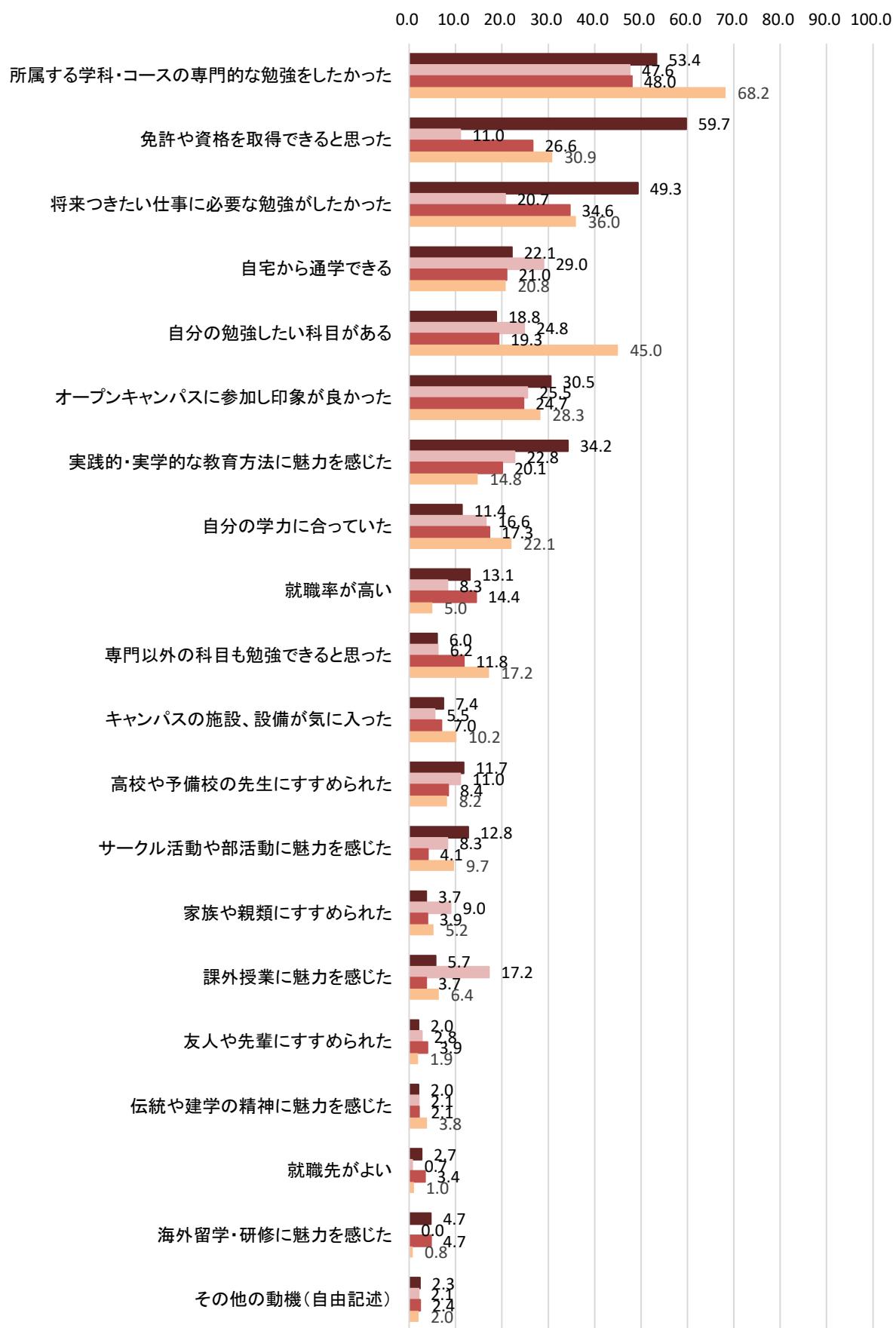


図 1-2 淑徳大学を選んだ動機（複数回答%）埼玉・東京キャンパス

表 II -1 淑徳大学を選んだ動機（複数回答%）

	所属する学科・コースの専門的な勉強をしたかった	免許や資格を取得できると思った	将来つきたい仕事に必要な勉強がしたかった	自宅から通学できる	自分の勉強したい科目がある	オープンキャンパスに参加し印象が良かった	実践的・実学的な教育方法に魅力を感じた	自分の学力に合っていた	就職率が高い	専門以外の科目も勉強できると思った	キャンパスの施設、設備が気に入った	高校や予備校の先生にすすめられた	サークル活動や部活動に魅力を感じた	家族や親類にすすめられた	課外授業に魅力を感じた	友人や先輩にすすめられた	伝統や建学の精神に魅力を感じた	就職先がよい	海外留学・研修に魅力を感じた
全体(3857)	56.0	44.7	41.7	28.0	26.9	25.5	18.3	16.5	11.3	10.2	10.0	9.4	7.2	6.9	4.4	3.3	3.3	2.5	1.9
総合福祉学部(959)	61.0	66.4	48.3	34.3	28.7	24.0	20.9	15.6	13.3	7.5	9.5	10.6	6.9	9.0	2.5	3.0	4.1	2.3	1.0
コミュニティ政策学部(219)	28.8	9.1	40.6	32.9	13.2	20.1	8.7	15.5	20.1	7.8	9.6	11.9	11.9	9.6	10.0	7.8	3.2	5.0	1.4
看護栄養学部(690)	55.7	61.9	48.1	36.1	20.4	24.9	11.7	12.8	9.3	7.7	16.1	8.3	3.9	9.4	0.6	3.9	3.8	3.0	0.4
教育学部(298)	53.4	59.7	49.3	22.1	18.8	30.5	34.2	11.4	13.1	6.0	7.4	11.7	12.8	3.7	5.7	2.0	2.0	2.7	4.7
地域創生学部(145)	47.6	11.0	20.7	29.0	24.8	25.5	22.8	16.6	8.3	6.2	5.5	11.0	8.3	9.0	17.2	2.8	2.1	0.7	0.0
経営学部(762)	48.0	26.6	34.6	21.0	19.3	24.7	20.1	17.3	14.4	11.8	7.0	8.4	4.1	3.9	3.7	3.9	2.1	3.4	4.7
人文学部(784)	68.2	30.9	36.0	20.8	45.0	28.3	14.8	22.1	5.0	17.2	10.2	8.2	9.7	5.2	6.4	1.9	3.8	1.0	0.8

2) 志望の状況

本学が第一希望は 76.1%

淑徳大学の志望順位について、回答を得た。大学全体の傾向をみると、「第一志望」76.1%、「第二志望」13.0%、「第三志望以下」10.9%、であった。第一志望入学者の割合が高い順に、総合福祉学部82.6%、経営学部80.1%、教育学部79.2%、コミュニティ政策学部74.0%、看護栄養学部73.6%、人文学部68.5%、地域創生学部63.4%となっている。どの学部も前回調査より第一志望の割合が増え、その結果、大学全体の同割合は前回調査時の65.5%から10.6%の増加となった。

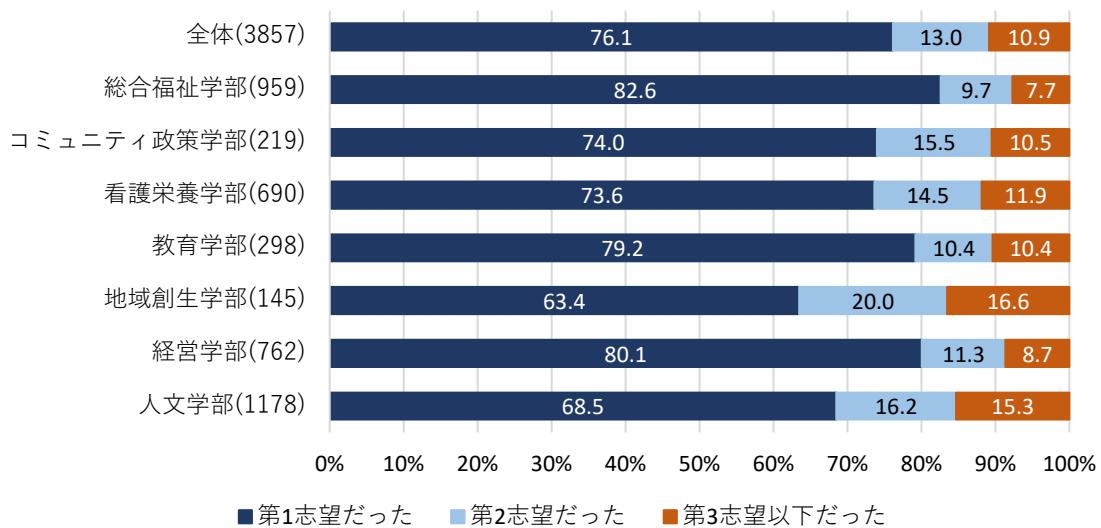


図 1-3 志望の状況（学部別）

(2) 学生生活の状況

1) 「授業期間中はひとり暮らし（学生寮等を含む）である」

ひとり暮らしである学生は、大学全体では 20.5% であった。

学部別にみると、ひとり暮らしの割合が高い順に、地域創生学部 28.3%、教育学部 26.8%、人文学部 21.3%、経営学部 20.9%、看護栄養学部 19.6%、総合福祉学部 18.4%、コミュニティ政策学部 14.2% であった。

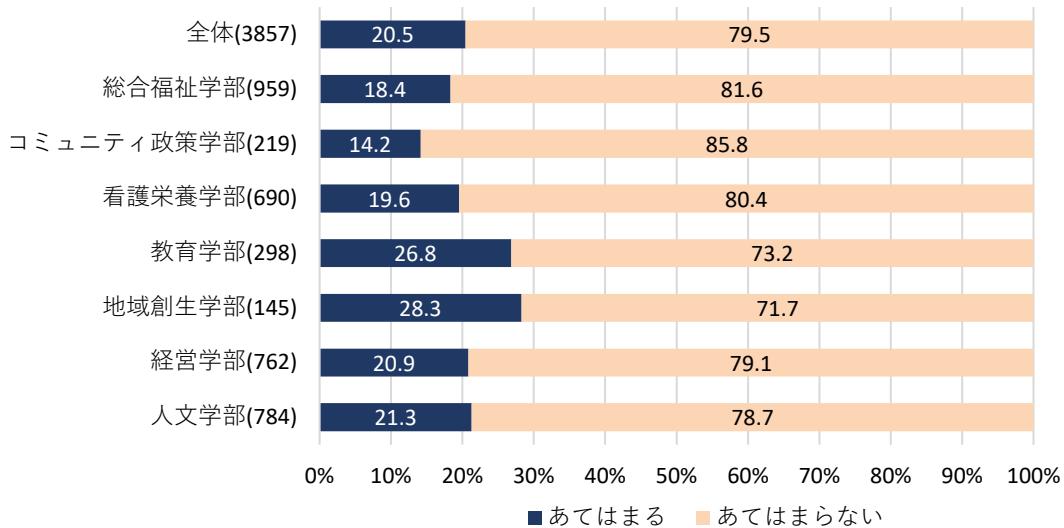


図 2-1 授業期間中はひとり暮らし（学生寮等を含む）である

2) 「部活・サークルに加入している」

部活・サークルに加入している割合は、大学全体で 45.8% であった。

学部によるバラツキが大きく、地域創生学部や教育学部で加入している割合が 6 割を超える一方、最も低い看護栄養学部では 26.1% であった。

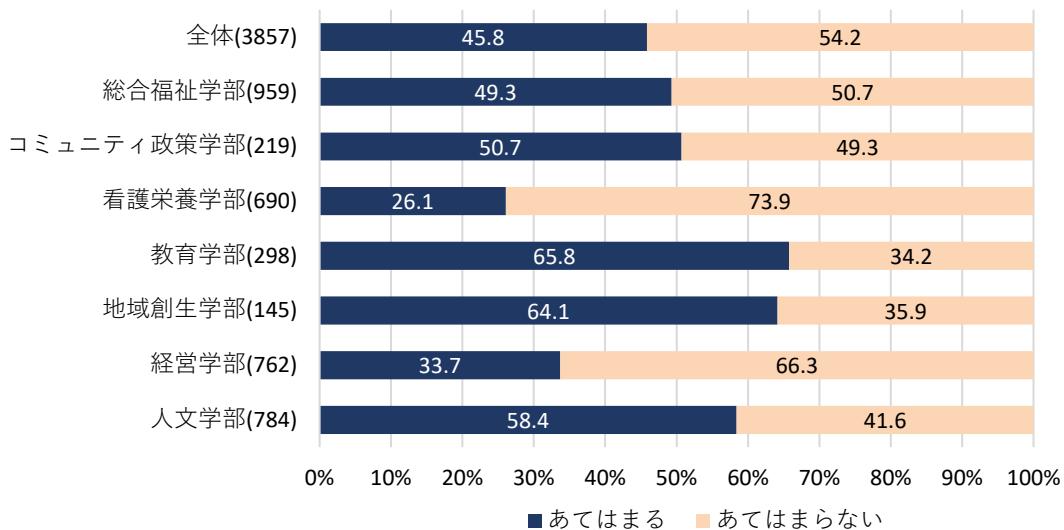


図 2-2 部活・サークルに加入している

キャンパス別に、部活・サークルに加入している割合を、コロナ禍中で実施した前回調査時と今回調査で比較すると、埼玉キャンパスと東京キャンパスで加入率の増加が見られる一方で、千葉キャンパスと千葉第二キャンパスでは加入率の低下がみられた。

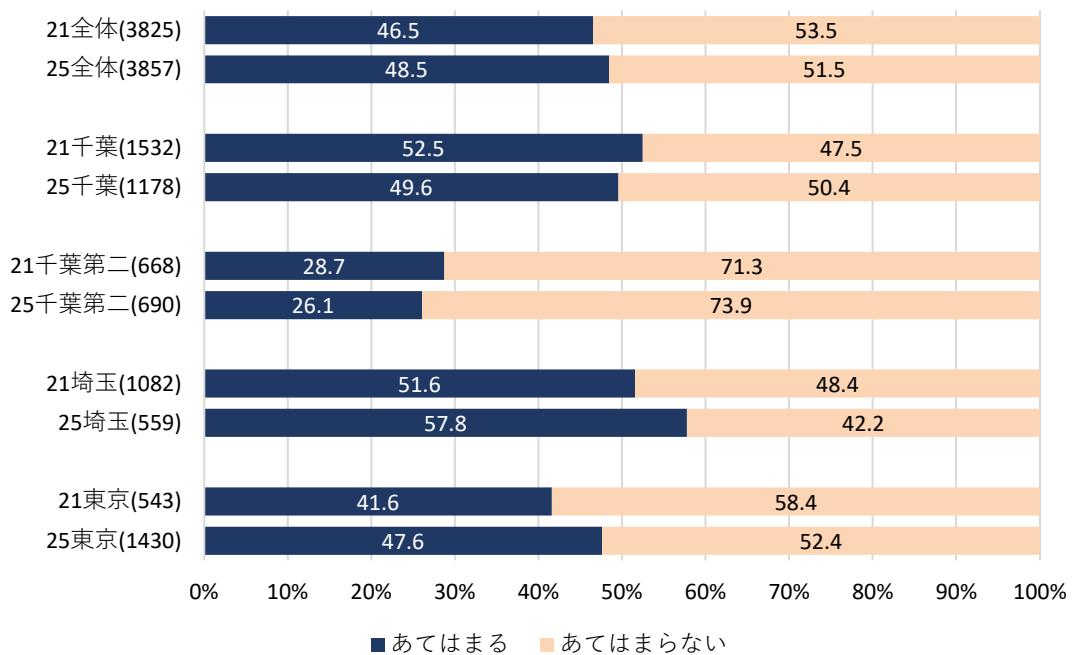


図 2-3 部活・サークルに加入している（キャンパス別・前回調査との比較）

さらに、キャンパス毎に年次別に分けて比較した。今回調査ではどのキャンパスでも年次が低いほうが加入率が高いが、前回調査では、その傾向が当てはまらなかった。とくに東京キャンパスと千葉第二キャンパスでは、3年次・4年次の加入率に比べ1年次・2年次の加入率が低かった。これは部活・サークルへの加入を検討・決定するタイミングに、コロナ禍で部活・サークルが活動を停止していたことが影響したのではないかと推測される。今回調査の年次別の加入状況からは、部活・サークル活動にコロナが及ぼした影響は払拭されつつあると考えられる。

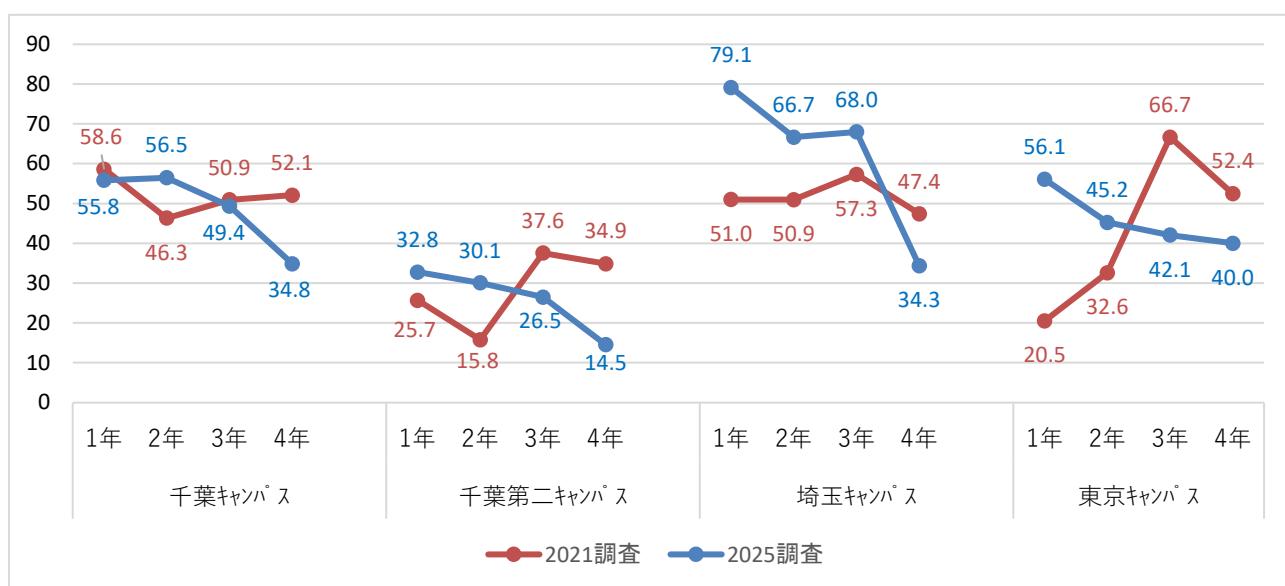


図 2-4 部活・サークルに加入している（キャンパス別学年別・前回調査との比較）

3) 「大学の成績はよい方だと思う」

大学の成績はよい方だと思う学生の割合は、大学全体で「あてはまる」「ややあてはまる」を合わせて46.8%であった。

学部別にみると、地域創生学部、総合福祉学部、人文学部、教育学部で「あてはまる」「ややあてはまる」を合わせた割合が5割を超えた。次いで経営学部とコミュニティ政策学部が4割台となり、看護栄養学部は他の学部と傾向が大きく異なり、「あてはまる」「ややあてはまる」を合わせた割合が3割にとどまった。

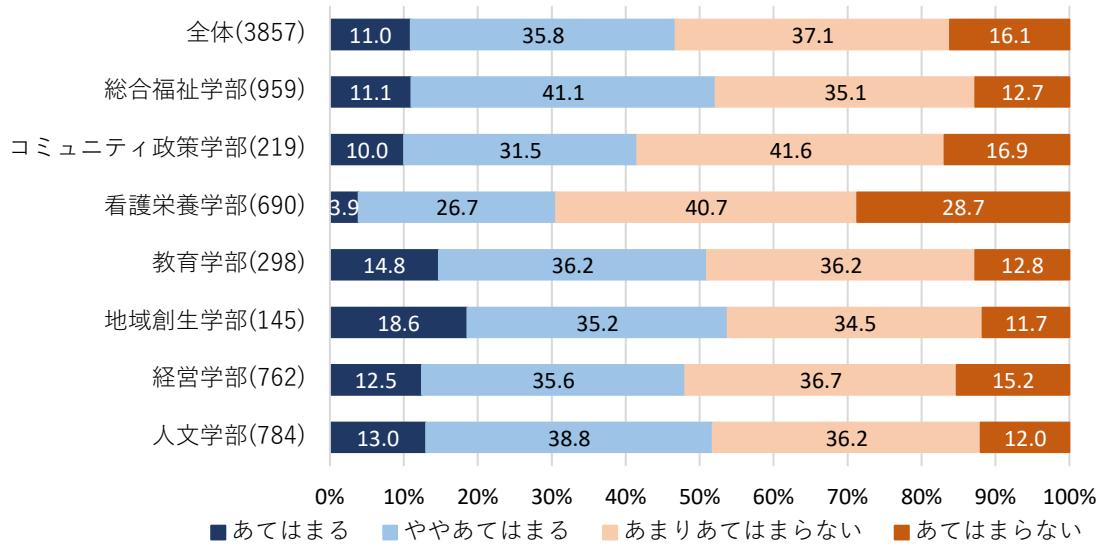


図2-5 大学の成績はよい方だと思う

4) 「同じ学科の同学年の人と比べて、勉強時間は長い方だと思う」

同じ学科の同学年の人と比べて、勉強時間は長い方だと思っている学生の割合は、大学全体でみると、「あてはまる」「ややあてはまる」を合わせて21.9%であった。

学部別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」を合わせた割合が最も高いのは地域創生学部で33.8%であった。一方、看護栄養学部と人文学部は2割に達していない。

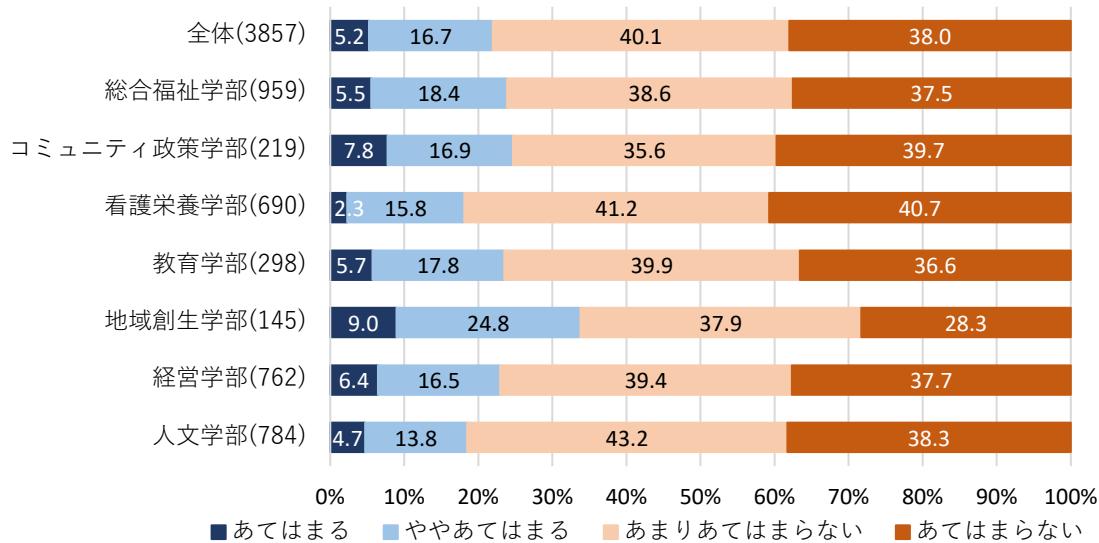


図2-6 同じ学科の同学年の人と比べて、勉強時間は長い方だと思う

5) 「この1か月くらいの間に、大学をやめたいと思ったことがある」

前回調査では「大学を退学・休学したいと思ったことがある」かを問いかける設問であったが、今回調査では「この1か月くらいの間に、大学をやめたいと思ったことがある」かを、期間を区切って問いかける設問へ変更した。

大学全体でみると「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した学生を合わせて26.1%であった。前回調査で退学・休学したいと思った学生の割合は28.2%であり、設問が変わったにもかかわらず回答傾向に大きな変化は見られなかった。

学部別にみると、地域創生学部が「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した（やめたいと思ったことがある）学生の割合が最も高く37.9%、次いで看護栄養学部で34.1%、この2つの学部では3割を超えた。最も割合が低かったのはコミュニティ政策学部で21.4%であった。

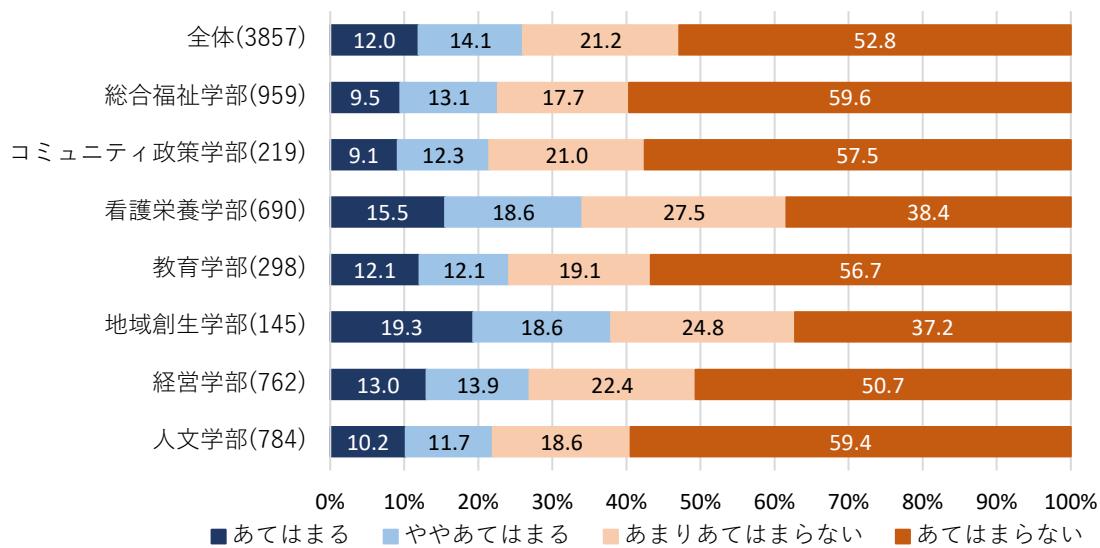


図2-7 この1か月くらいの間に、大学をやめたいと思ったことがある

6) 「大学にハラスメントの相談窓口があることを知っている」

大学にハラスメントの相談窓口があることを知っている学生の割合は、大学全体でみると66.5%であり、前回調査の61.3%から5.2%の増加となった。

学部別にみると、教育学部79.2%、人文学部76.7%、看護栄養学部71.9%で7割を超える学生が相談窓口の存在を知っており、最も割合の低い総合福祉学部でも半数の学生がハラスメントの相談窓口があることを知っていた。前回調査と比較すると、教育学部が69.7%から79.2%に9.5%の増加、人文学部が69.8%から76.7%に6.9%の増加となった。その他の学部はほぼ横ばいとなった。

キャンパス別にみると、千葉キャンパスでのハラスメント相談窓口の認知率が低く52.9%にとどまり、その他のキャンパスでの認知率は7割超となっている。

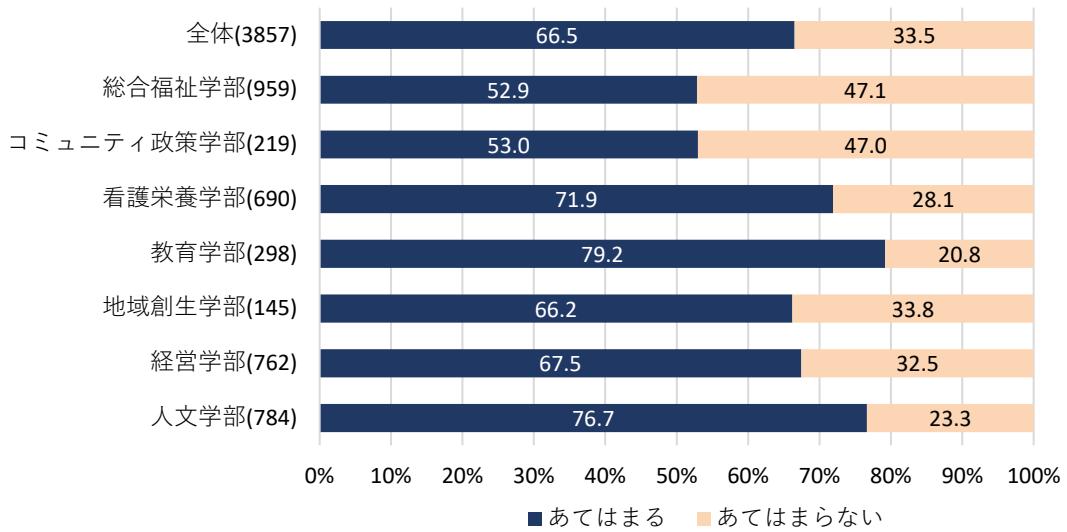


図 2-8 大学にハラスメントの相談窓口があることを知っている（学部別）

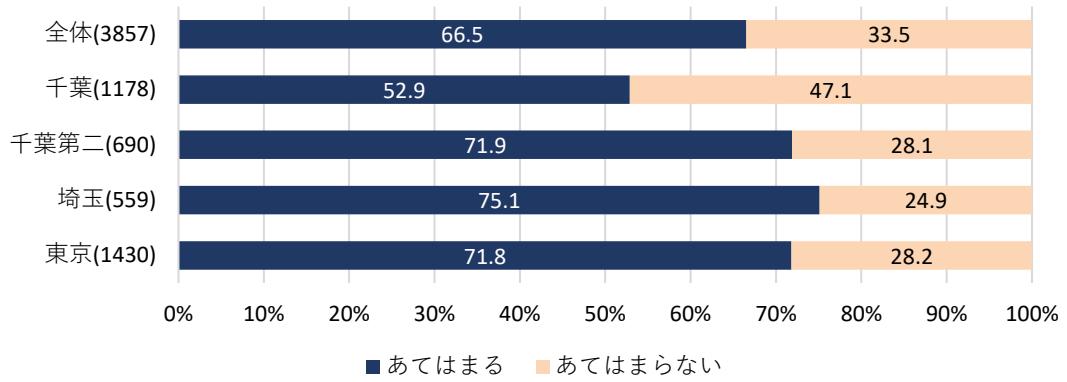
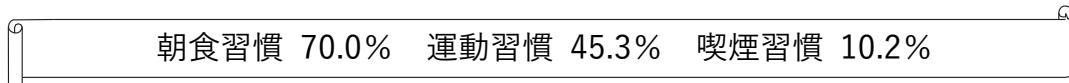


図 2-9 大学にハラスメントの相談窓口があることを知っている（キャンパス別）

(3) 日常生活の習慣



1) 「朝食を毎日食べている」

「朝食を毎日食べている」という設問に対し、「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した学生は、大学全体で 70.0% であった。

学部別に見ても、回答傾向に違いは見られず、どの学部でも 7 割前後の学生が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答している。

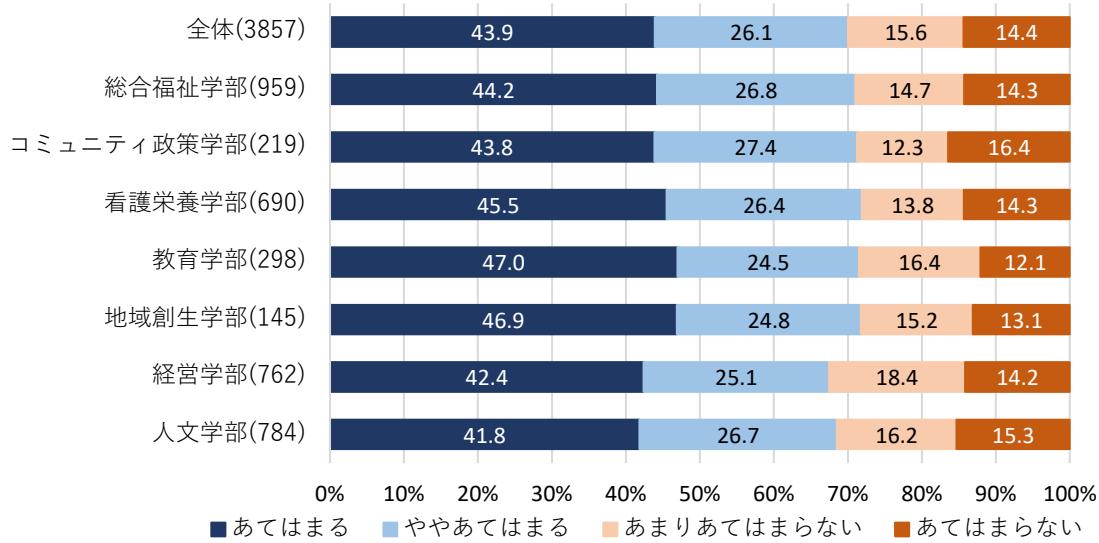


図 3-1 朝食を毎日食べている（学部別）

2) 「運動の習慣がある」

「運動の習慣がある」という設問に対して、大学全体では「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した学生は 45.3% であった。

前回調査と同様に学部による差違は大きい。コミュニティ政策学部 64.4%、地域創生学部 62.1%、教育学部 61.4% の学生は、「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した学生が 6 割を超えており、看護栄養学部では、33.0% にとどまる。

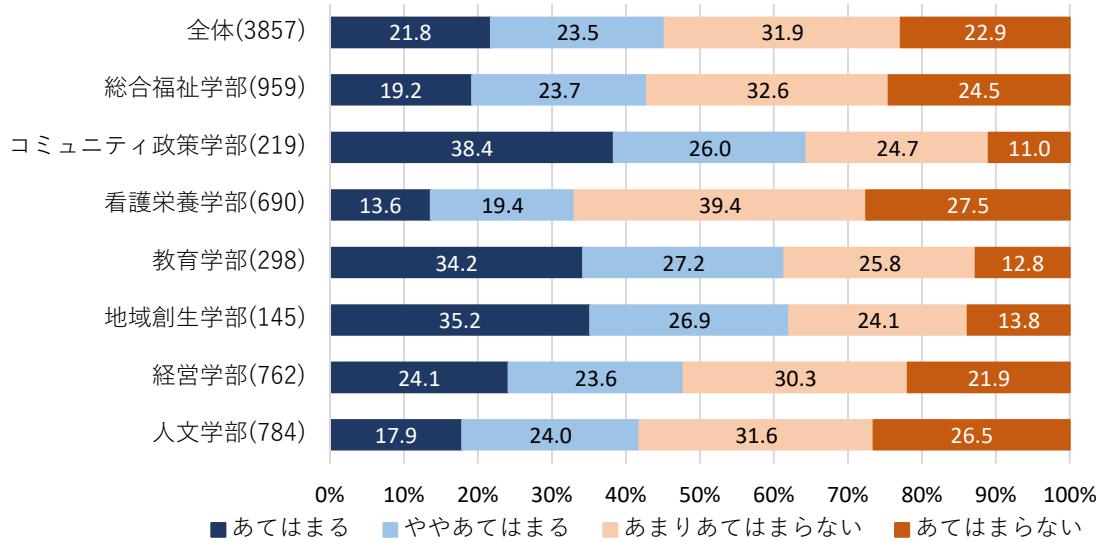


図 3-2 運動の習慣がある（学部別）

3) 「喫煙の習慣がある」

「喫煙の習慣がある」という設問に対して、大学全体では 89.8% の学生が「ややあてはまらない」もしくは「あてはまらない」と回答している。「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した学生は 10.2% であり、喫煙率は低いが、前回調査の喫煙率 7.3% から 2.9% 増加している。

学部別にみると、最も喫煙率が低いのは看護栄養学部で、93.8% の学生が「ややあてはまらない」もしくは「あてはまらない」と回答していた。一方で、コミュニティ政策学部では 21.5% の学生が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答しており、喫煙率が突出している。前回調査で最も喫煙率の高かった経営学部は、今回調査でもコミュニティ政策学部に次いで喫煙率が高く、15.3% の学生が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答している。

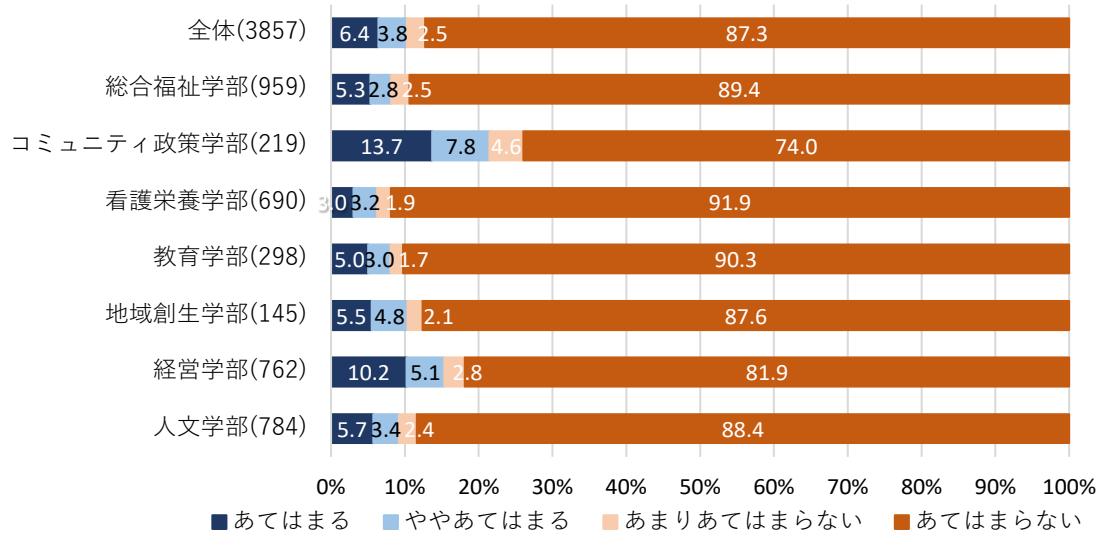


図 3-3 喫煙の習慣がある（学部別）

4) 「飲酒の習慣がある」

「飲酒の習慣がある」という設問に対して、大学全体では 77.5% の学生が「ややあてはまらない」もしくは「あてはまらない」と回答している。

学部別にみると、地域創生学部以外の学部では「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した飲酒習慣がある学生は 20~25% となっており、地域創生学部のみ 18.6% と 2 割を下回っている。これは、調査時点での同学部の 4 年次に在籍している学生がいないことも理由のひとつであると考えられる。

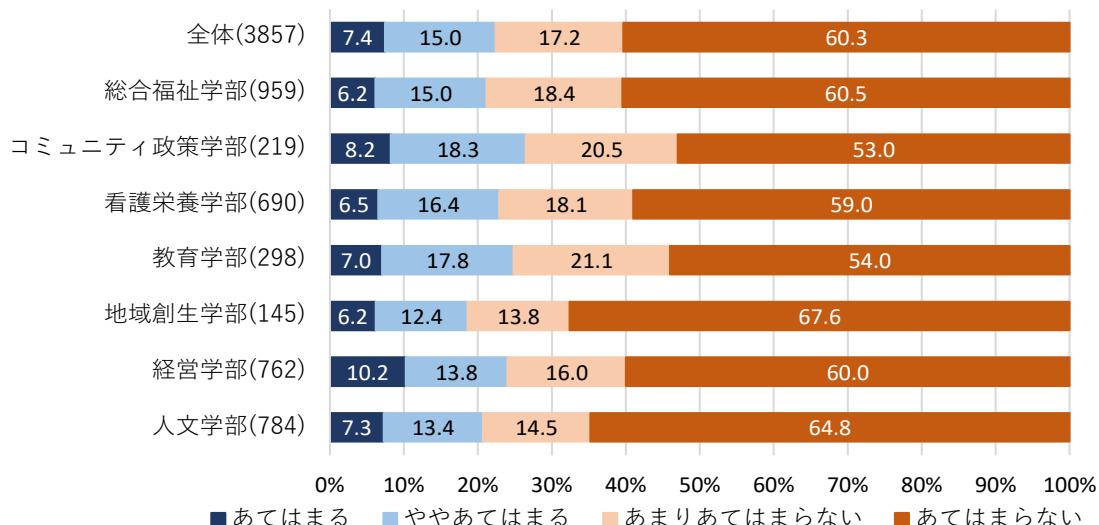


図 3-4 飲酒の習慣がある（学部別）

(4) アルバイトの実施状況

83.3%がアルバイトを実施

1) アルバイトの実施状況

現在アルバイトを「している」と回答した学生は、大学全体で3,212人（83.3%）であった。前回調査の74.9%に比べ8.4%の増加となった。

学部別にみると、いずれの学部も前回調査よりもアルバイトをしている学生の割合が増加している。アルバイトをしている学生の割合が大きいのは、経営学部87.8%、看護栄養学部86.5%、コミュニティ政策学部84.0%、総合福祉学部83.5%、教育学部82.2%の順となっており、これらの学部では8割を超える学生がアルバイトをしている。一方で、アルバイトをしている学生の割合が最も小さいのは地域創生学部で70.3%となっている。（図4-1）

年次別にみると、アルバイトをしている学生の割合は、1年次が73.5%と低く、2年次、3年次、4年次はいずれも87%台となっている。（図4-2）

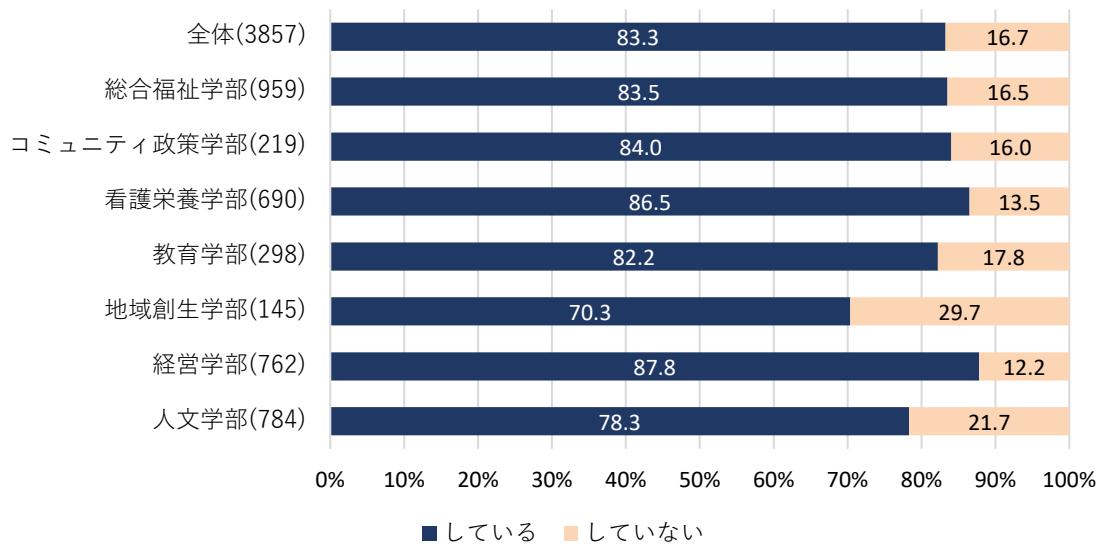


図4-1 アルバイトの実施状況（学部別）

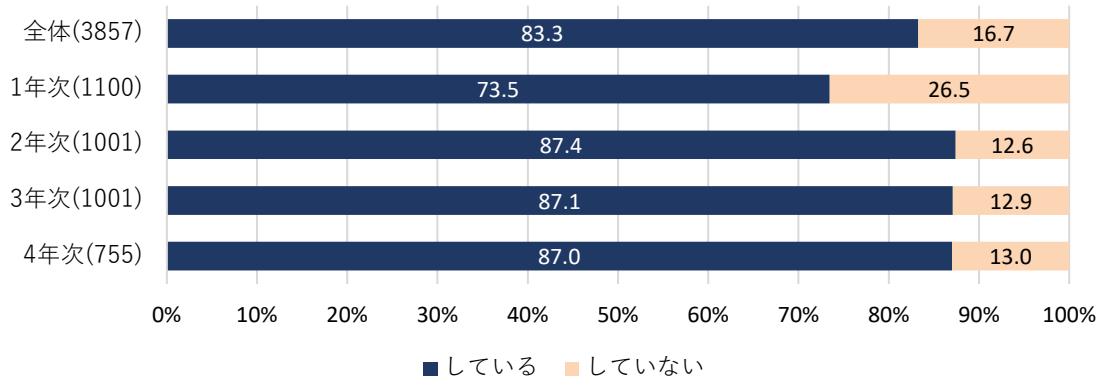


図4-2 アルバイトの実施状況（年次別）

2) アルバイト時間

アルバイトをしていると回答した学生 3,212 人に対し、授業期間（4～7月）における週あたりの平均アルバイト時間について尋ねたところ、大学全体では「10時間以上～20時間未満」という学生が 1,825 人（56.8%）で最も多く、次いで「10時間未満」が 615 人（19.1%）、「20時間以上～30時間未満」が 511 人（15.9%）、「30時間以上」が 261 人（8.1%）という結果であった。

大学全体について、前回調査と比べると、「10時間未満」は 26.9%から 19.1%、「10時間以上～20時間未満」は 52.8%から 56.8%、「20時間以上～30時間未満」は 15.5%から 15.9%、「30時間以上」は 4.7%から 8.1%と、アルバイト時間が増加している傾向がある。

学部別では、前回調査と同様に経営学部学生のアルバイト時間が長い傾向がみられた。（図 4-3）

年次別では、2年次、3年次、4年次と、年次があがるにつれて「20時間以上～30時間未満」および「30時間以上」が緩やかに増える傾向がみられた。（図 4-4）

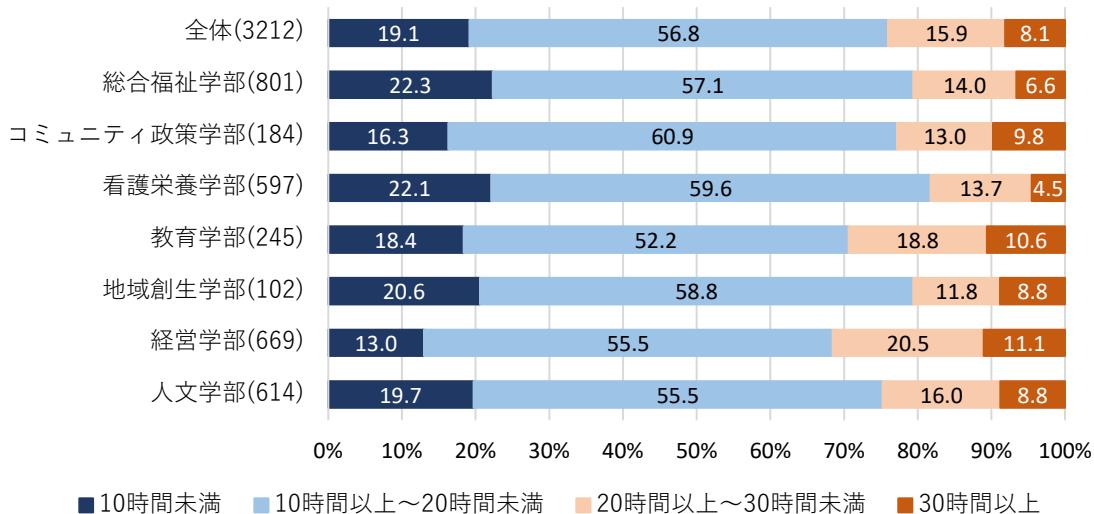


図 4-3 アルバイト時間 (学部別)

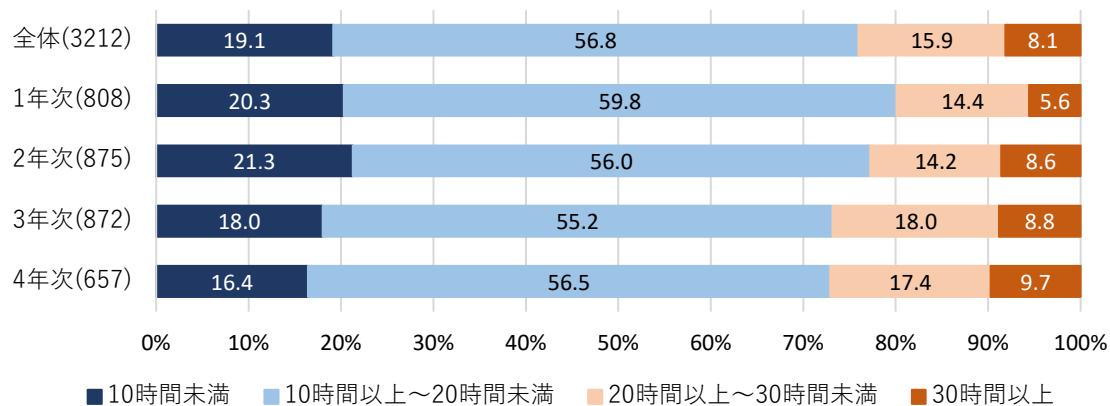


図 4-4 アルバイト時間 (年次別)

3) アルバイトの収入

アルバイトをしている学生がアルバイトで得ている月収は、全体では「4～7万円未満」が1,230人(38.3%)で最も多く、次に「7～10万円未満」が1063人(33.1%)、「1～4万円未満」が585人(18.2%)と続いた。

学部別では、経営学部はアルバイト収入が高い傾向があり、「7～10万円未満」が39.0%と最多、「10万円以上」も16.0%であった。

年次別では、年次が上がるにつれアルバイト収入が増加する傾向がみられた。とくに「10万円以上」の収入を得ている学生の増加が顕著である。(図4-6)

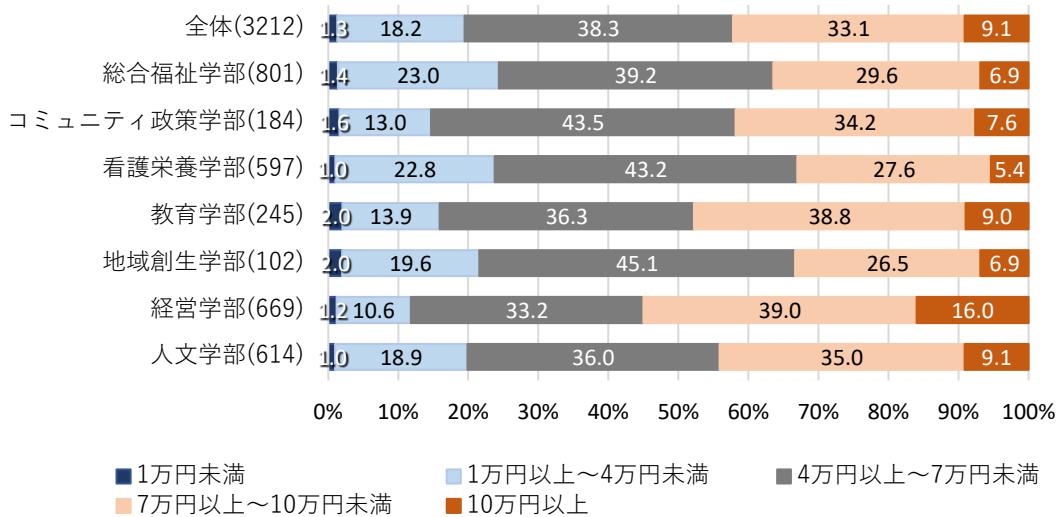


図4-5 月額のアルバイト代（学部別）

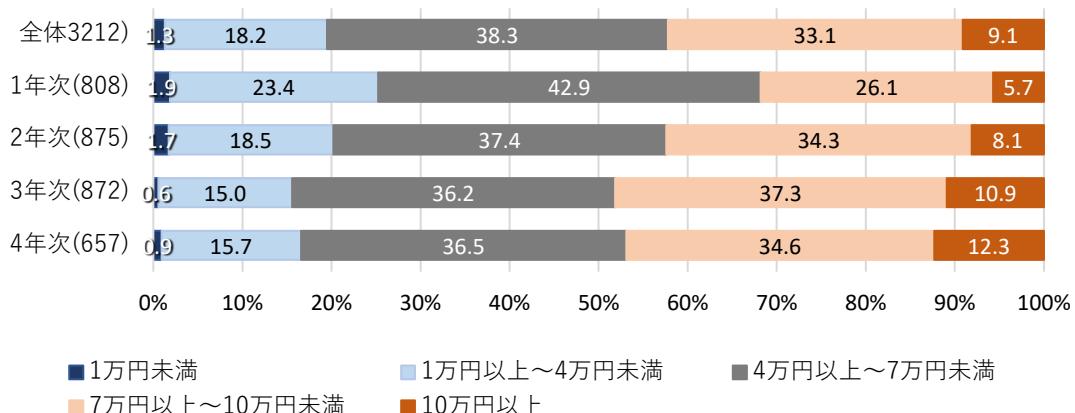


図4-6 月額のアルバイト代（年次別）

(5) 情報端末等の所持、使用状況

スマートフォン 99.6% パソコン 98.9% タブレット 38.7% が所持

1) スマートフォンの所持状況

「スマートフォンをもっている」と回答した学生は、大学全体で 99.6% であった。図 5-1 に示す通り、どの学部でも 100.0% に近い学生がスマートフォンを所持している。

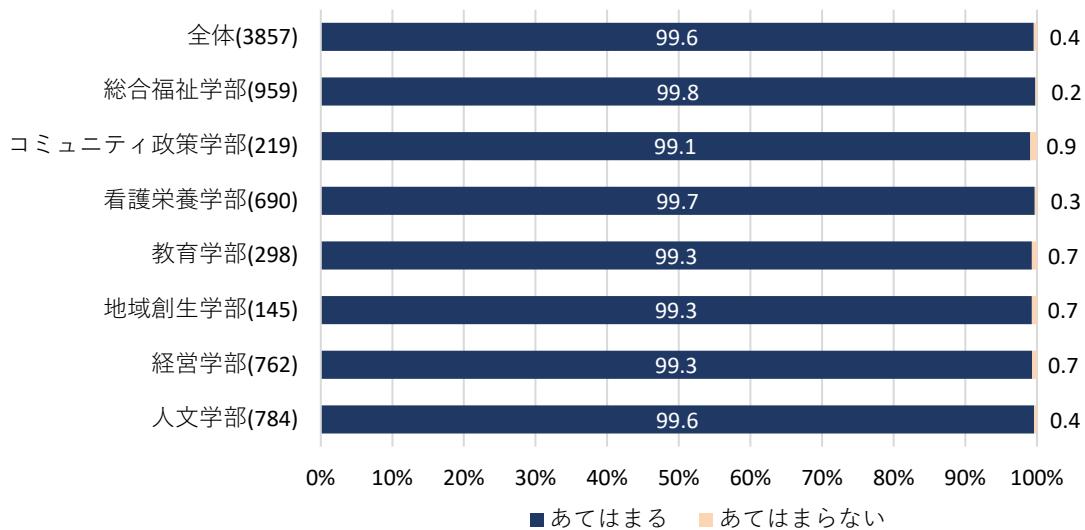


図 5-1 スマートフォンの所持状況（学部別）

2) パソコンの所持状況（自分専用デスクトップ、自分専用ノート、家族と共有）

前回調査では「自分専用のパソコンがある」かどうかを尋ねたが、今回調査では、「自分専用のデスクトップ・パソコンがある」「自分専用のノート・パソコンがある」に分けて尋ねた。

「自分専用のデスクトップ・パソコンがある」と回答した学生は、大学全体で 41.5% であった。学部別にみると、最も多い経営学部で 50.3%、最も少ない総合福祉学部で 35.3% であった。（図 5-2）

「自分専用のノート・パソコンがある」と回答した学生は、大学全体で 92.2% であった。学部別にみると、最も多い人文学部で 95.7%、最も少ない教育学部で 87.6% であった。（図 5-3）

上記 2 問の回答結果から、パソコンのタイプ（デスクトップ / ノート）に関わらず自分専用のパソコンを所有している学生は、大学全体で 96.3% であった。また、自分専用のデスクトップ・パソコンと自分専用のノート・パソコンの両方を所有している学生は、大学全体で 37.4% であった。

「家族と共に用のパソコンがある」と回答した学生は、大学全体で 32.6% であった。学部別にみると地域創生学部が最も多く 39.3%、最も少いのは人文学部で 28.4% であった。（図 5-4）

所有形態を問わずパソコンを所有している学生は、大学全体で 98.9% であった。「自分専用のデスクトップ・パソコン」「自分専用のノート・パソコン」「家族共有パソコン」のいずれも所有していない学生は 1.1% のみであった。

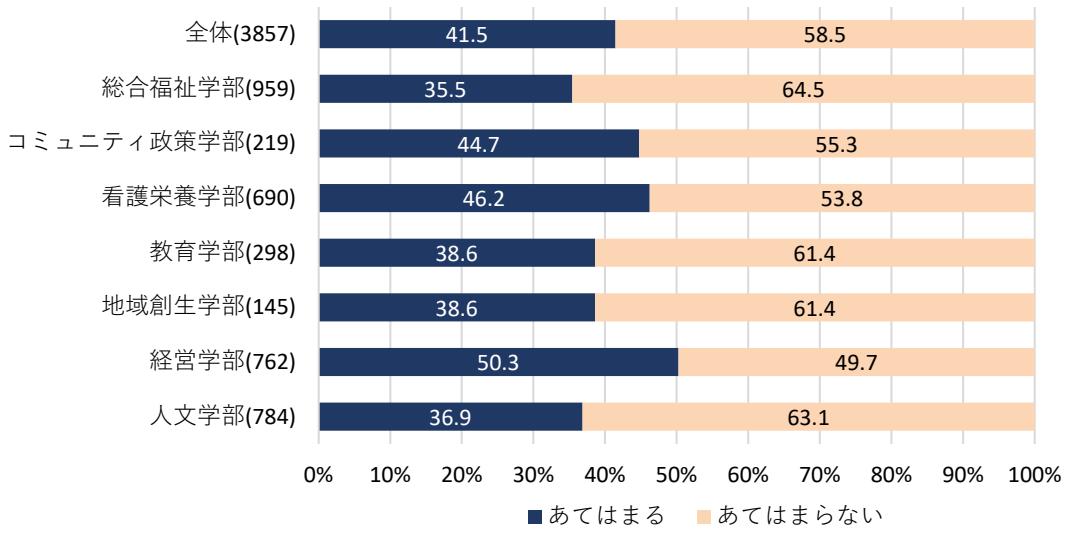


図 5-2 自分専用デスクトップ・パソコンの所持状況（学部別）

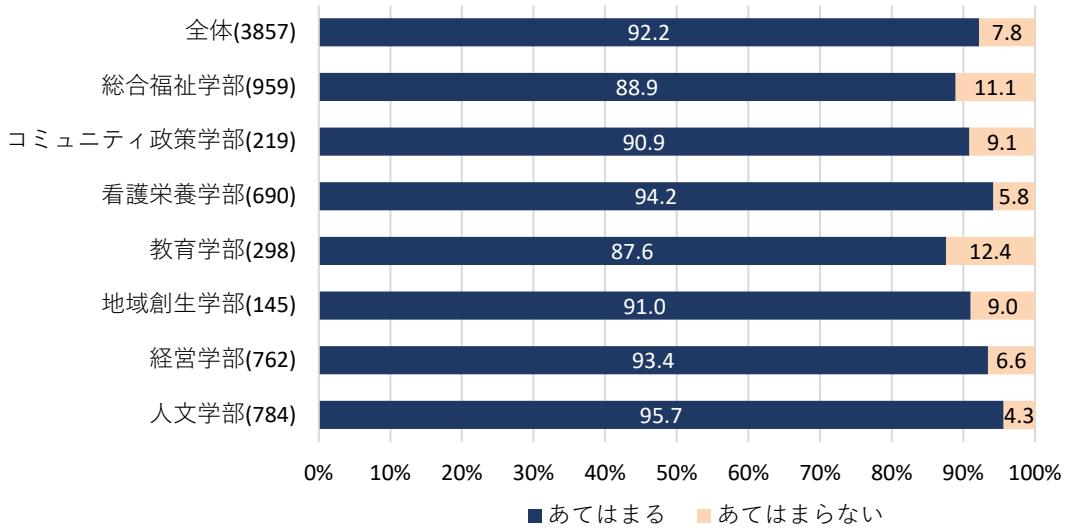


図 5-3 自分専用ノート・パソコンの所持状況（学部別）

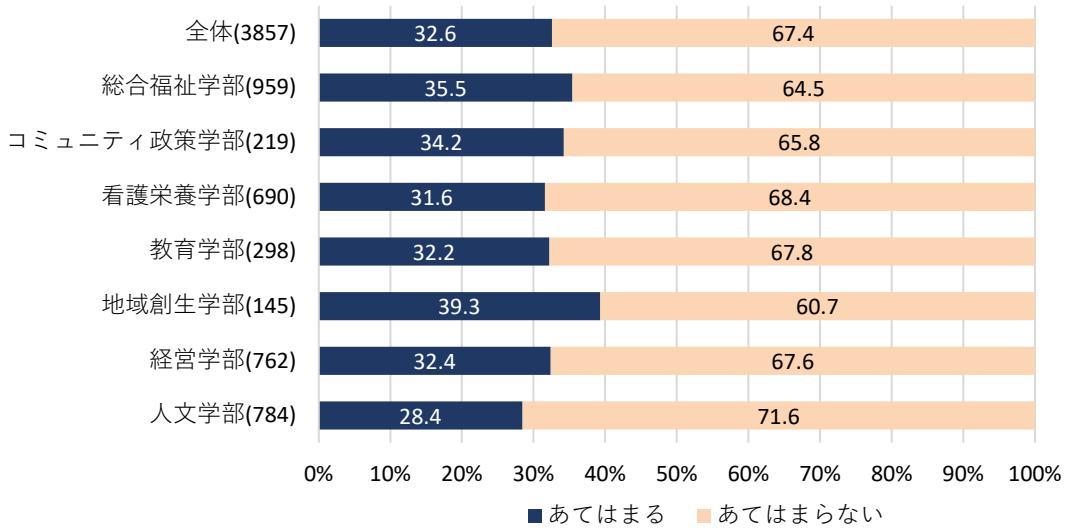


図 5-4 家族共用パソコンの所持状況（学部別）

3) タブレットの所持状況 (自分専用、家族と共に)

「自分専用のタブレットがある」と回答した学生は、大学全体で 28.5% であった。

学部別にみると看護栄養学部の 31.2% が最も多く、教育学部の 24.5% が最も少なかった。(図 5-5)

「家族と共にタブレットがある」と回答した学生は、大学全体で 16.5% であった。学部別にみると、経営学部の 19.5% が最も多く、人文学部の 14.4% が最も少なかった。(図 5-6)

所有形態を問わずタブレットを所有している学生は、大学全体で 38.7% であった。

なお、所有形態を問わずパソコンもタブレットも所持していない学生は、大学全体で 27 人 (0.7%) であった。

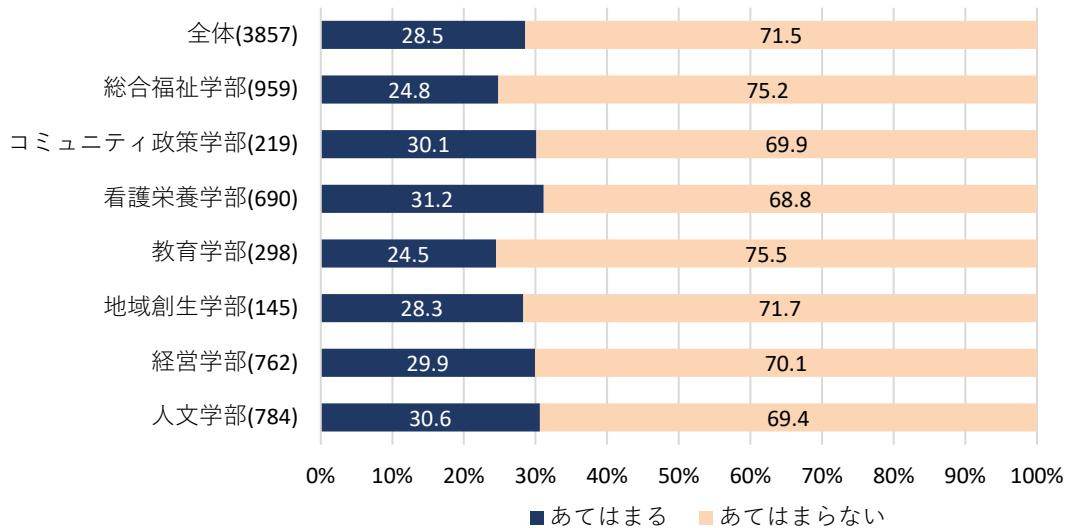


図 5-5 自分専用タブレットの所持状況（学部別）

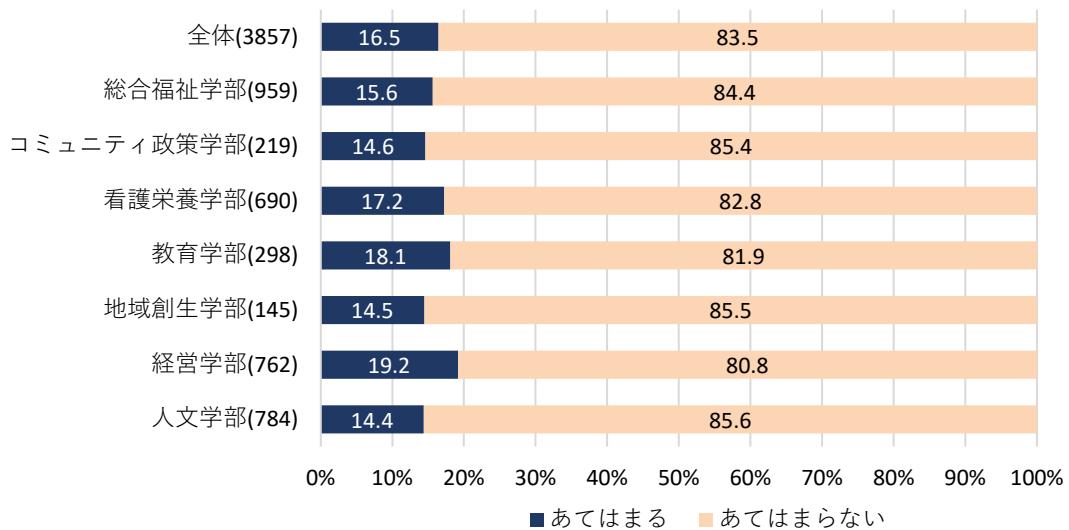


図 5-6 家族共用タブレットの所持状況（学部別）

前回調査と今回調査における「自己専用パソコン」と「自己専用タブレット」の所有状況を示したのが以下の図である。パソコン、タブレットとも、所有率が上昇したことが分かる。

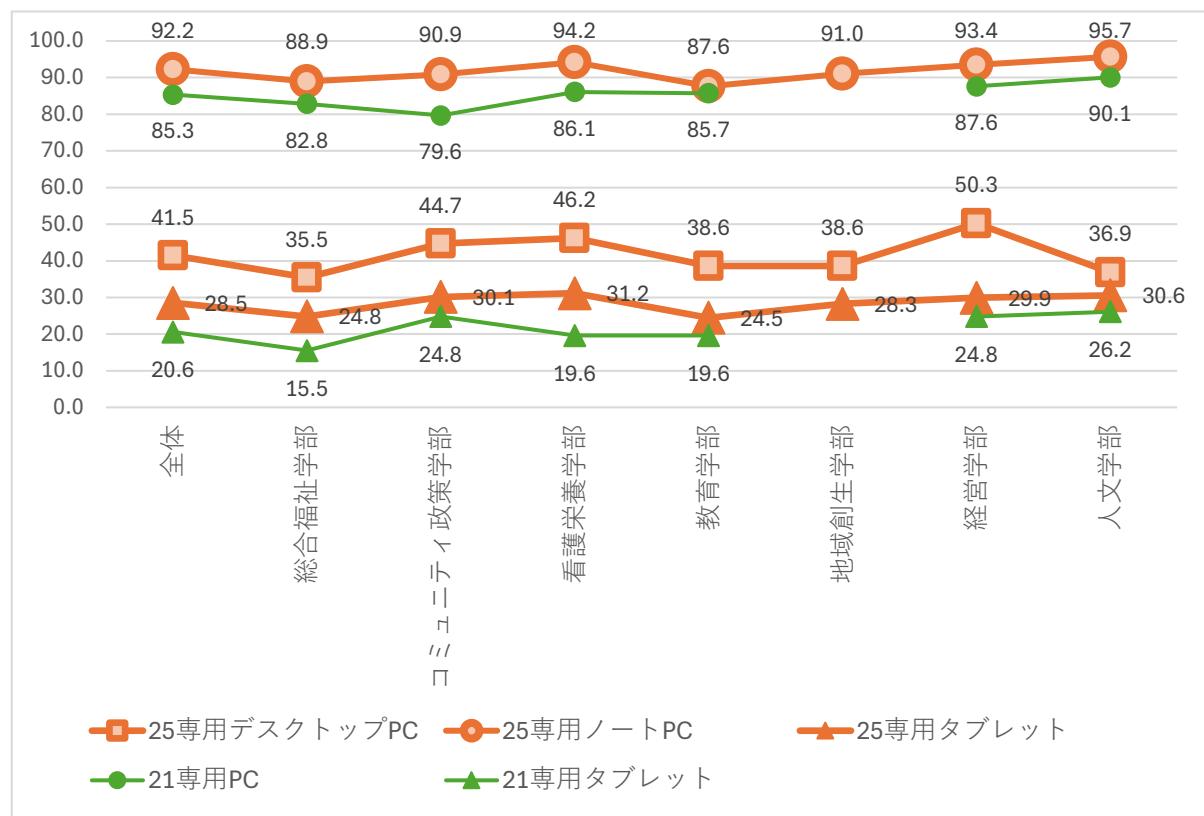


図 5-7 パソコン、タブレットの所持状況（学部別・前回調査との比較）

4) 「自宅に常時接続のネット回線（有線・無線）がある」

「自宅に常時接続のネット回線（有線・無線）がある」と回答した学生は、大学全体で 96.4% であった。学部による差は見られず、ほとんどの学生が自宅にネット回線を有している。

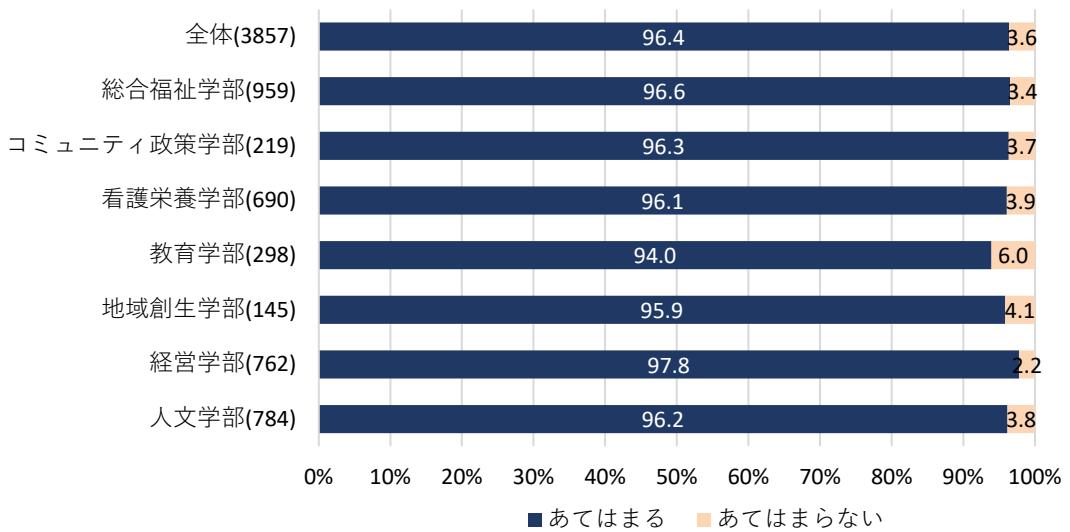


図 5-8 自宅に常時接続のネット回線（有線・無線）がある（学部別）

5) 「S-Navi のメールは必ず目をとおしている」

「S-Navi のメールは必ず目をとおしている」と回答した学生は、大学全体で「あてはまる」「ややあてはまる」を合わせて 55.7% であり、前回調査の 72.5% から大幅に減少した。

学部別にみると、この割合が最も多かったのは総合福祉学部で 63.8%、次いで多かったのは地域創生学部で 58.6% であった。最も少なかったのは教育学部の 44.6% で、唯一 5 割を下回った。

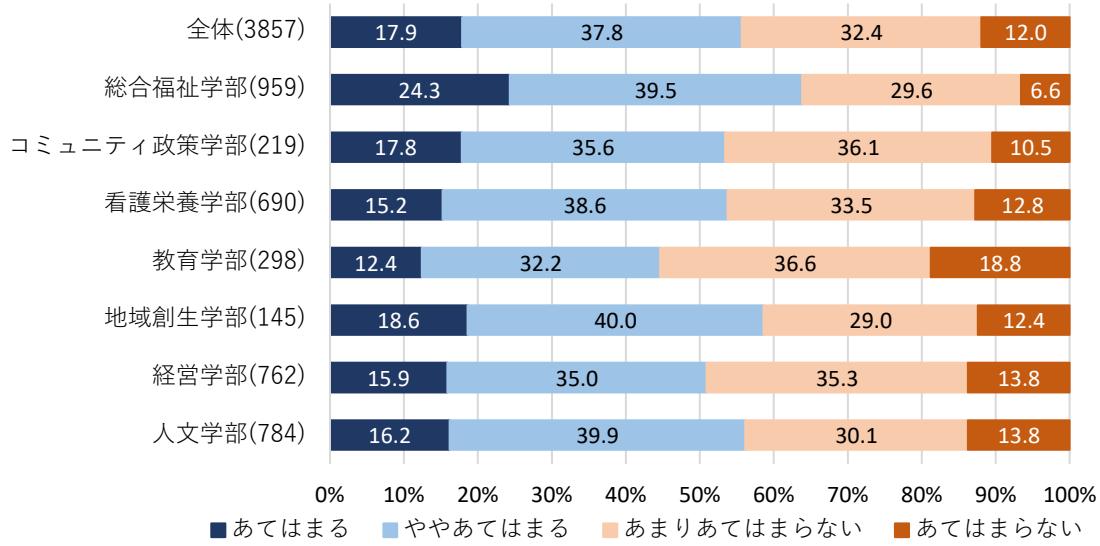


図 5-9 S-Navi のメールは必ず目をとおしている (学部別)

6) 「自宅では新聞を購読している」

「自宅では新聞を購読している」と回答した学生は、大学全体で 18.2% であり、前回調査の 28.6% から 10.4% 減少した。

学部別にみると、地域創生学部の 24.8% が最も多く、人文学部の 16.1% が最も少なかった。全学部で前回調査より減少している。

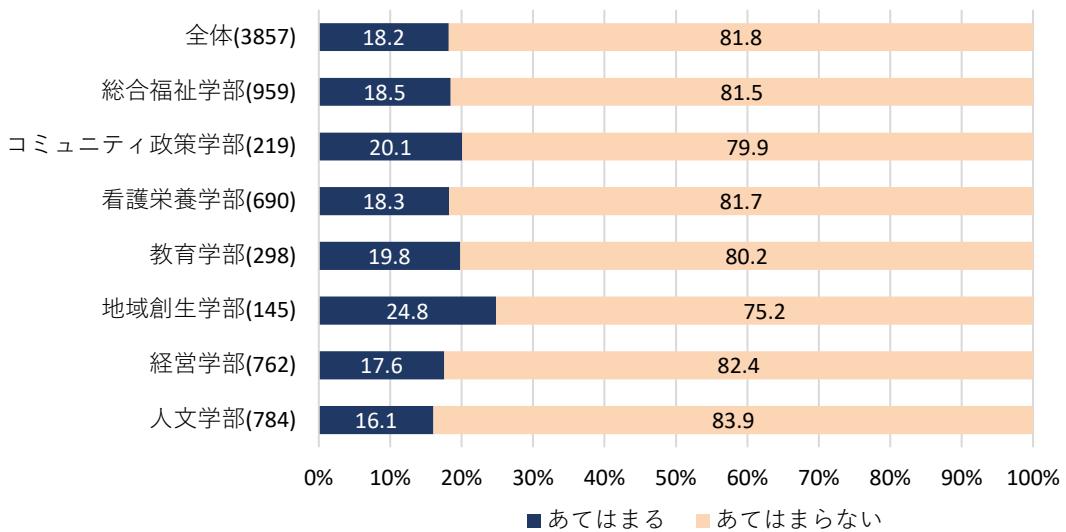


図 5-10 自宅では新聞を購読している (学部別)

7) 「ニュースをよく見ている」

前回調査では「テレビのニュースをよく見ている」と媒体をテレビに限定していたが、今回調査では媒体を限定せず尋ねた。「ニュースをよく見ている」と回答した学生は、大学全体で 46.3% であった。媒体を限定しなかったにもかかわらず、前回調査の 52.5% より 6.2% の減少となった。

学部別にみると、地域創生学部の 53.1% が最も多く、最も少いのは看護栄養学部の 39.7% であった。

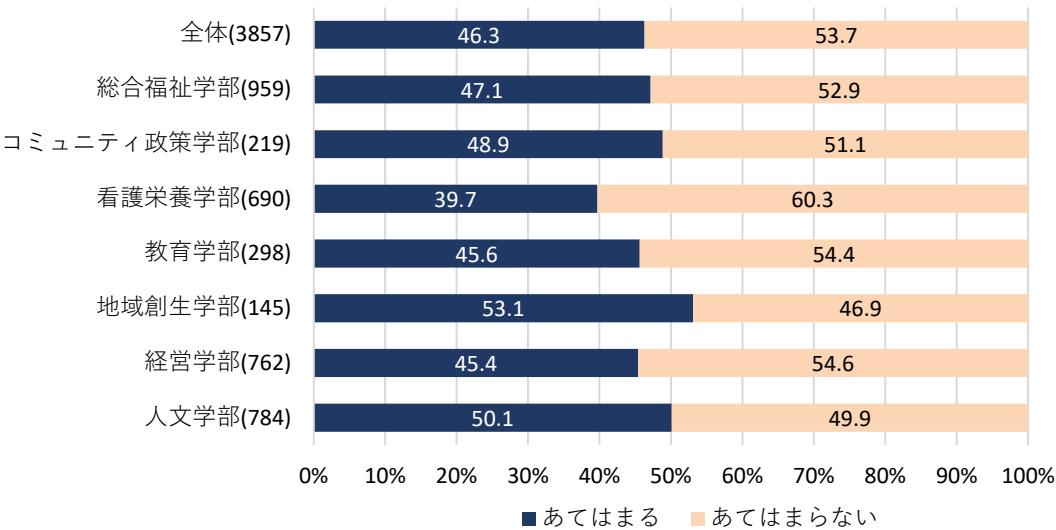


図 5-11 ニュースをよく見ている（学部別）

8) 「Instagram を利用している」

「Instagram を利用している」と回答した学生は、大学全体で 90.5% であった。

学部別にみると、看護栄養学部の 96.2% が最も多く、最も少ない人文学部でも 82.3% と 8 割以上の学生が利用している。

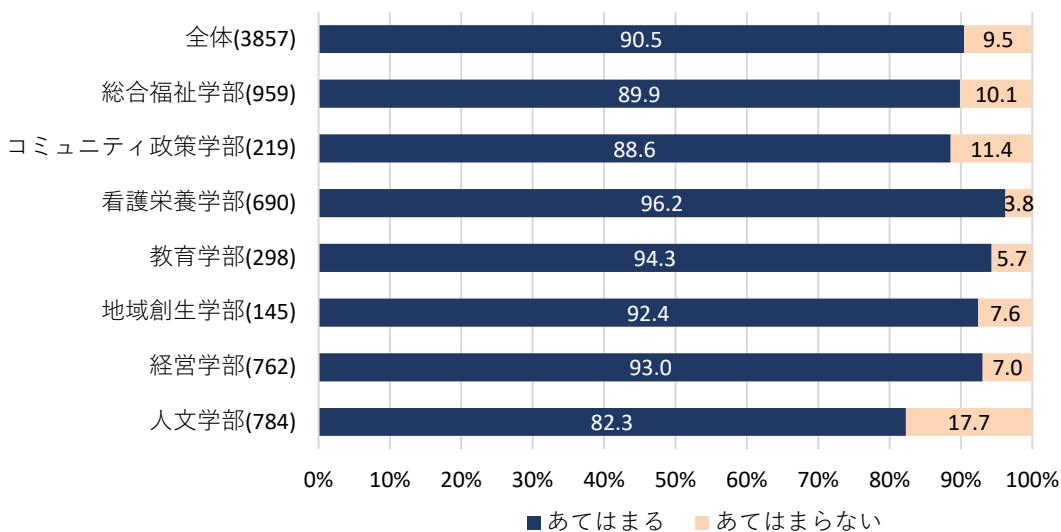


図 5-12 Instagram を利用している（学部別）

9) 「X（旧 Twitter）を利用している」

「X（旧 Twitter）を利用している」と回答した学生は、大学全体で 77.8% であった。

学部別にみると、人文学部の 85.5% が最も多く、教育学部の 65.1% が最も少なかった。

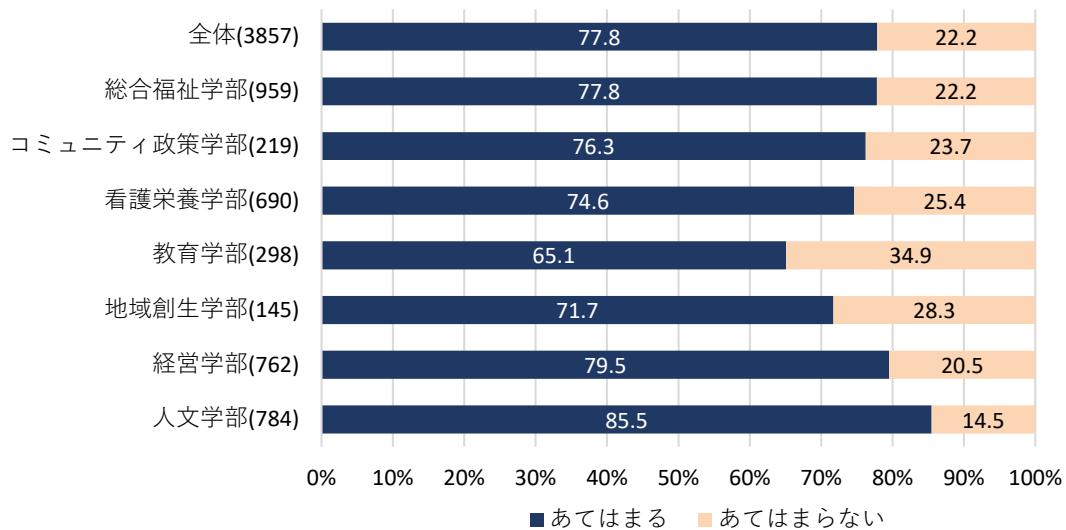


図 5-13 X（旧 Twitter）を利用している（学部別）

10) 「LINE を利用している」

「LINE を利用している」と回答した学生は、大学全体で 99.1% であり、ほとんどの学生が利用していることが分かる。

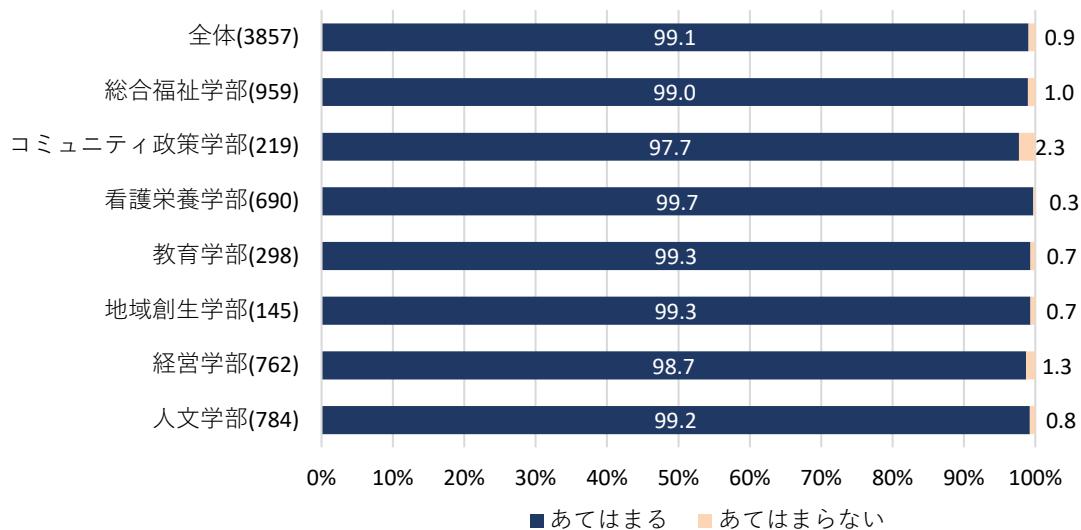


図 5-14 LINE を利用している（学部別）

(6) 友人関係及び教職員との関係

学内に悩みごとを相談できる友人がいる	79.7%
学内に悩みごとを相談できる教職員がいる	47.1%

1) 「大学に入学後、新しい友人ができた」

「大学に入学後、新しい友人ができた」という設問に対して、「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した学生を合わせると、大学全体では 95.7% であった。

「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した学生の割合を学部別でみると、総合福祉学部 95.7%、コミュニケーション政策学部 92.3%、看護栄養学部 96.9%、教育学部 97.6%、地域創生学部 95.9%、経営学部 95.4%、人文学部 95.0% であった。

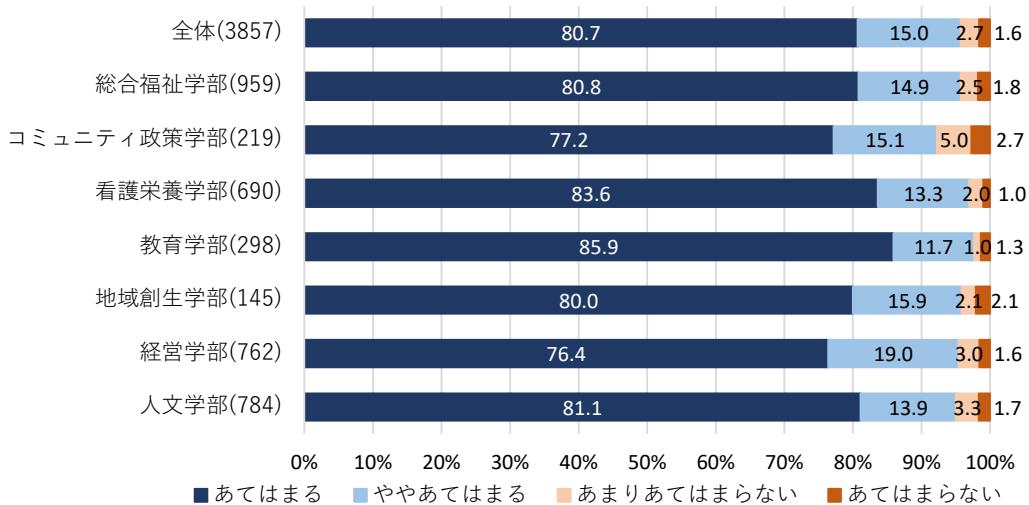


図 6-1 大学に入学後、新しい友人ができた（学部別）

2) 「大学内の友人関係に悩みがある」

「大学内の友人関係に悩みがある」という設問に対して、「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した学生の割合は、大学全体では 25.2% であった。前回調査の 22.1% から 3.1% 増加している。

「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した学生の割合を学部別でみると、総合福祉学部 26.7%、コミュニケーション政策学部 19.1%、看護栄養学部 27.1%、教育学部 28.2%、地域創生学部 31.0%、経営学部 21.9%、人文学部 24.6% であった。前回調査に比べ学部差が拡大した。

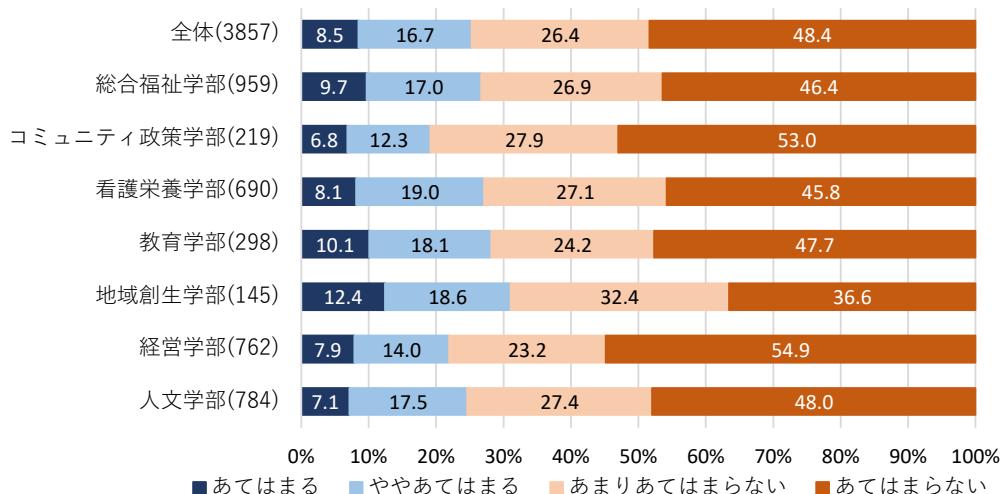


図 6-2 大学内の友人関係に悩みがある（学部別）

3) 「大学内に悩みごとを相談できる友人がいる」

「大学内に、悩みごとを相談できる友人がいる」という設問に対して、「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した学生の割合は大学全体では 79.7% であり、前回調査から大きな変化はなかった。

「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した学生の割合を学部別でみると、総合福祉学部 76.5%、コミュニティ政策学部 76.7%、看護栄養学部 84.9%、教育学部 83.9%、地域創生学部 85.6%、経営学部 80.9%、人文学部 76.1% であった。

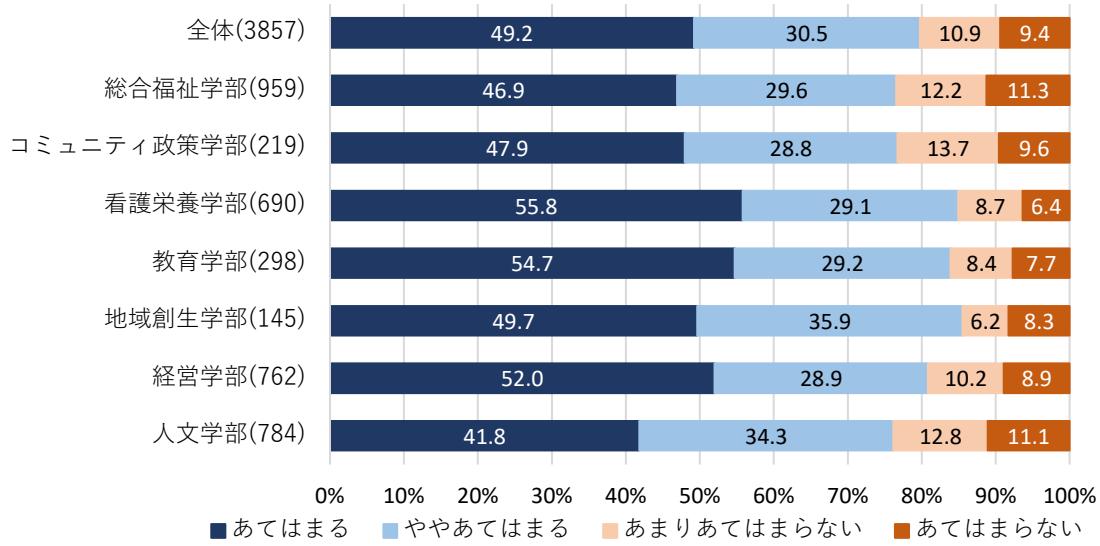


図 6-3 大学内に、悩み事を相談できる友人がいる（学部別）

4) 「大学内に悩みごとを相談できる教職員がいる」

「大学内に、悩みごとを相談できる教職員がいる」という設問に対して、「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した学生の割合は、大学全体では 47.1% であり、前回調査に比べ 1.4% の微増となった。

「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した学生の割合を学部別でみると、総合福祉学部 38.6%、コミュニティ政策学部 46.1%、看護栄養学部 40.5%、教育学部 59.0%、地域創生学部 55.2%、経営学部 52.4%、人文学部 52.6% であった。

学部別に前回調査と比較すると、総合福祉学部（前回は 37.7%）、コミュニティ政策学部（同 42.1%）、教育学部（同 54.7%）経営学部（同 50.2%）が増加、看護栄養学部（同 43.7%）、人文学部（同 55.9%）では減少という結果であった。

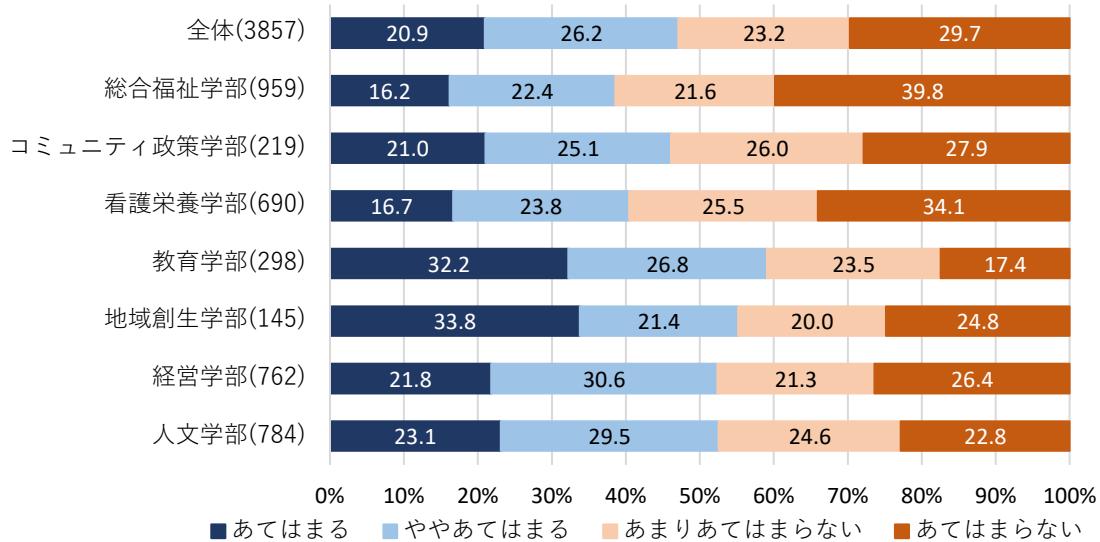


図 6-4 大学内に悩み事を相談できる教職員がいる（学部別）

5) 「高校時代の同級生は、ほとんどが大学に進学した」

「高校時代の同級生は、ほとんどが大学に進学した」という設問に対して、「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した学生の割合は、大学全体では 76.6% であった。

「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した学生の割合を学部別でみると、総合福祉学部 73.0%、コミュニケーション政策学部 72.6%、看護栄養学部 79.9%、教育学部 84.2%、地域創生学部 81.4%、経営学部 73.6%、人文学部 78.6% であった。

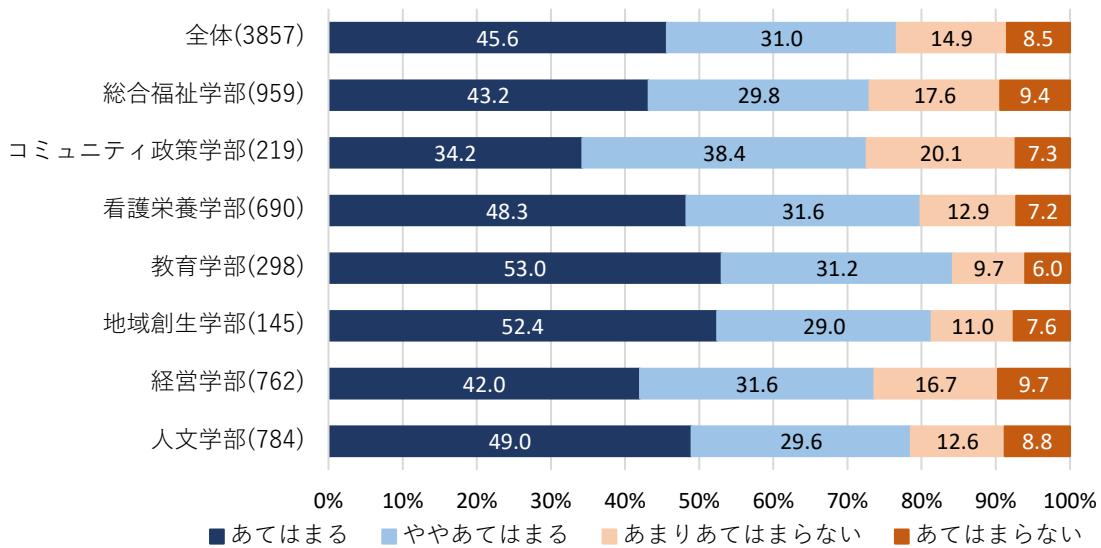


図 6-5 高校時代の同級生は、ほとんどが大学に進学した（学部別）

(7) 教育環境の満足度

図7-1の20項目について、「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」および「該当しない（一度も利用していない等）」の5水準で尋ねた。図7-1では、20項目を内容別に4グループに分類し、各グループ内で、「該当しない」という回答を除いた上で「満足」もしくは「やや満足」と回答した割合の高い順に並べ替え、全体の傾向を俯瞰した。いずれの項目も満足側の回答割合が多いが、「スクールバスの使いやすさ」は不満側の回答割合も高くなっていることがわかる。

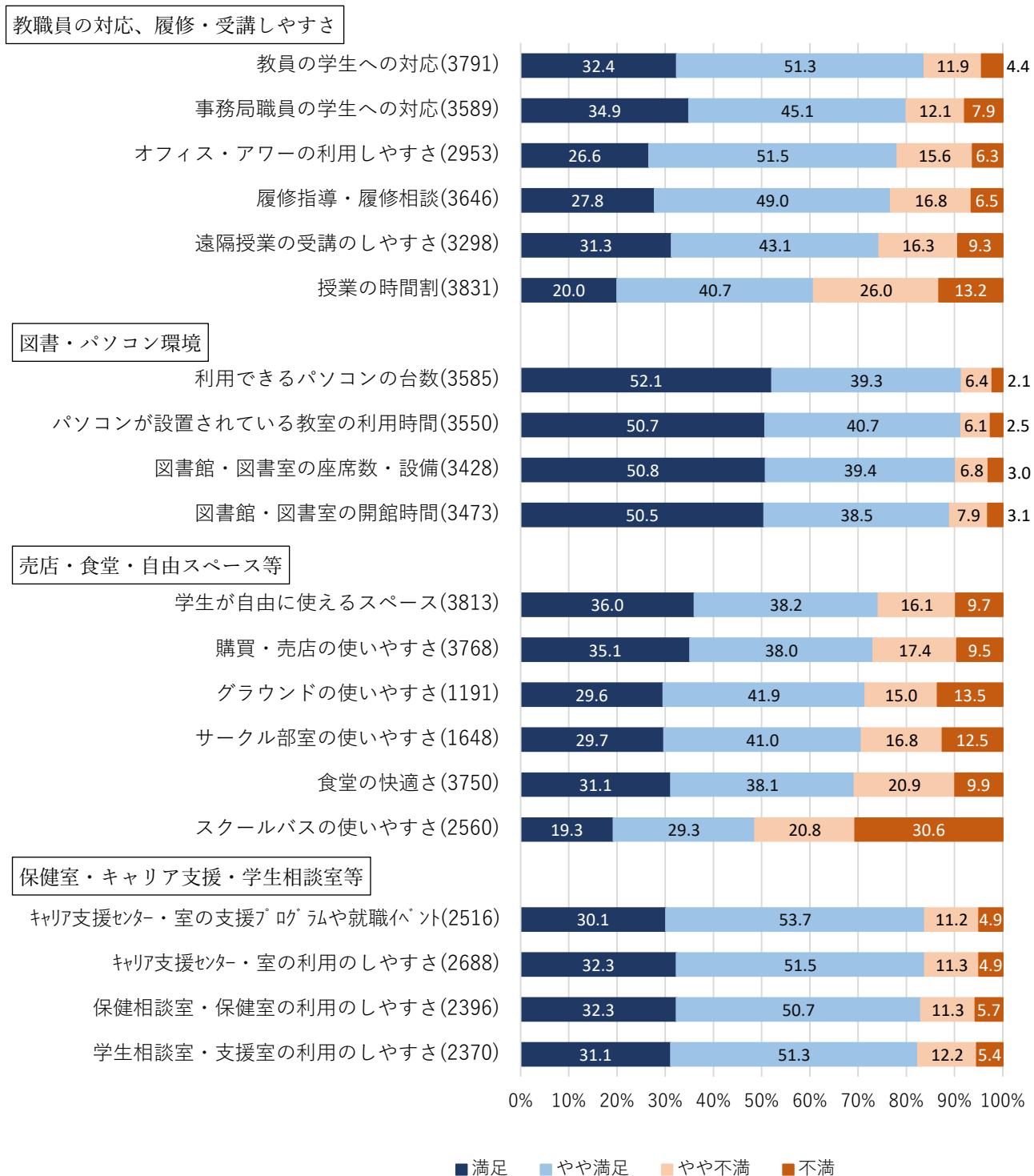


図7-1 教育環境の満足度（大学全体）

(7)-1. 教職員の対応、履修・受講しやすさ

教職員の対応は、7割以上が満足（前回調査より増加）

1) 「授業の時間割」

「授業の時間割」について、「満足」もしくは「やや満足」と回答した学生の割合は大学全体で60.4%となり前回調査の67.7%より7.3%低下した。

学部別にみると、「満足」「やや満足」と回答した割合は、総合福祉学部54.4%、コミュニティ政策学部62.5%、看護栄養学部がもっとも低く47.6%、教育学部69.1%、地域創生学部49.7%、経営学部69.3%、人文学部68.3%であった。

キャンパス別にみると、埼玉キャンパス(66.5%)と東京キャンパス(67.8%)の満足度が高い。

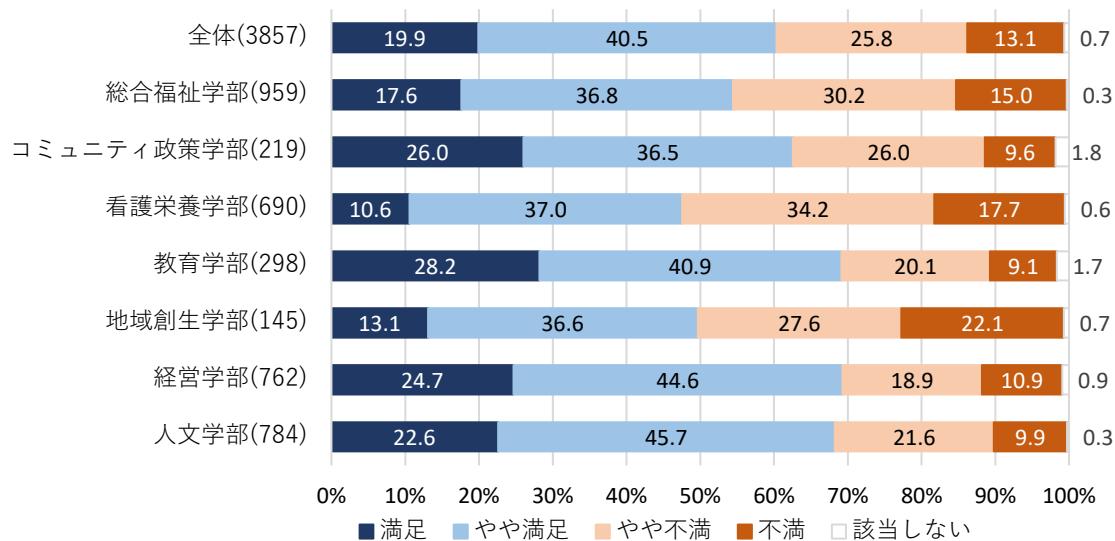


図7-2 授業の時間割 (学部別)

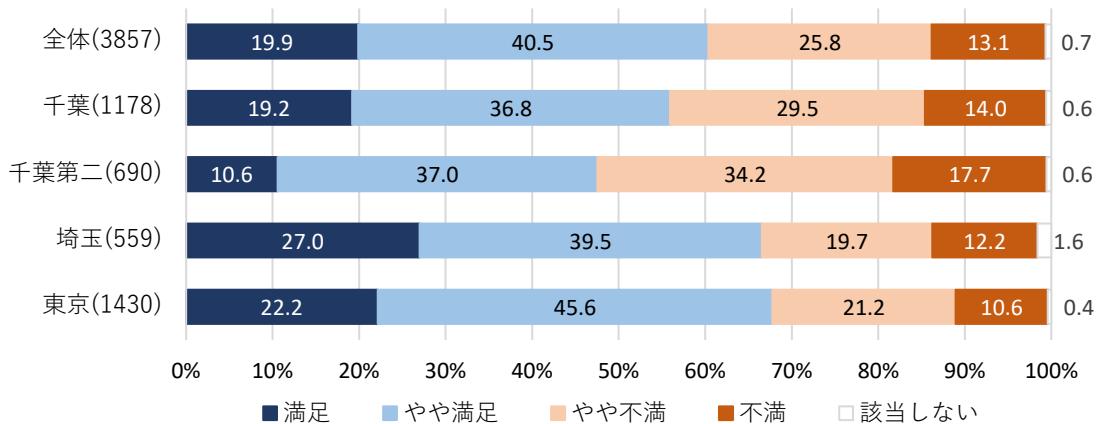


図7-3 授業の時間割 (キャンパス別)

2) 「履修指導・履修相談」

「履修指導・履修相談」について、「満足」もしくは「やや満足」と回答した学生の割合は、大学全体で72.6%であった。前回調査は74.7%であり、若干減少している。

学部別にみると、「満足」「やや満足」と回答した割合は、総合福祉学部70.3%、コミュニティ政策学部68.5%、看護栄養学部67.0%、教育学部83.6%、地域創生学部64.8%、経営学部76.0%、人文学部75.3%であった。前回調査と比較すると教育学部は増加（前回80.9%）、経営学部と人文学部は横ばい、総合福祉学部、コミュニティ政策学部、看護栄養学部は減少した。

キャンパス別にみると、千葉キャンパス70.1%、千葉第二キャンパス67.0%、埼玉キャンパス77.2%、東京キャンパス75.6%であった。

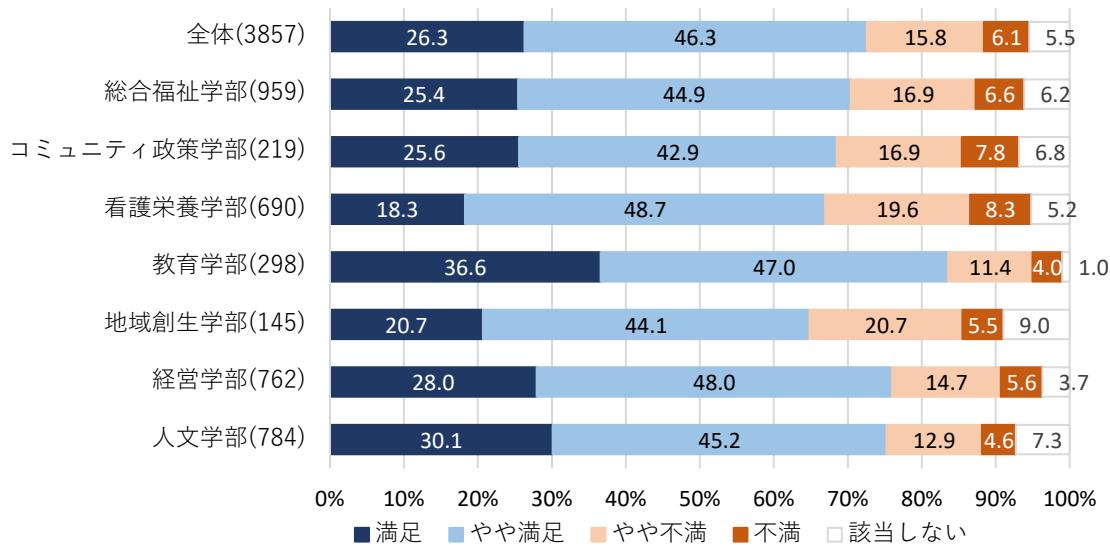


図7-4 履修指導・履修相談（学部別）

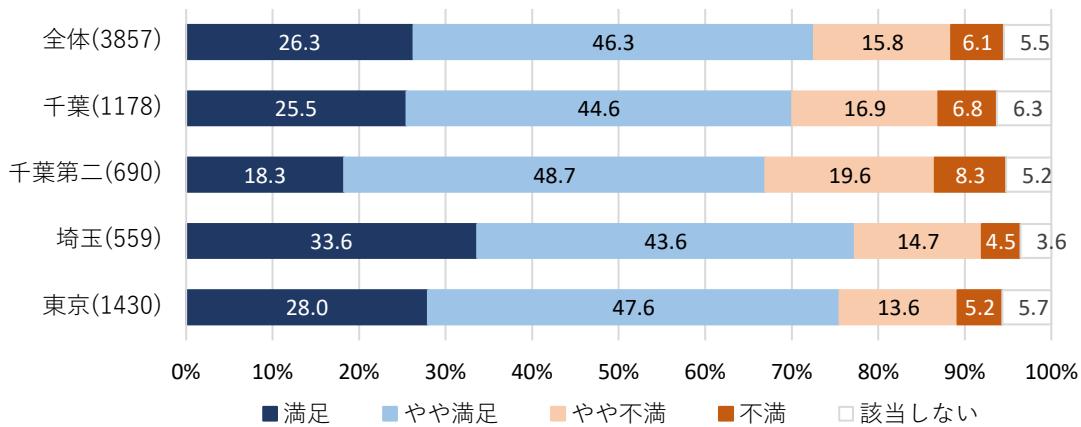


図7-5 履修指導・履修相談（キャンパス別）

3) 「遠隔授業の受講のしやすさ」

「遠隔授業の受講のしやすさ」について、「満足」もしくは「やや満足」と回答した学生の割合は、大学全体で63.6%となり、前回調査の70.4%から6.8%減少した。「該当しない」と回答した904人(23.4%)を除いて算出した「満足」「やや満足」と回答した学生の割合は、74.4%である。

学部別にみると、「満足」「やや満足」と回答した割合は、総合福祉学部56.6%、コミュニティ政策学部48.9%、看護栄養学部44.7%、教育学部69.8%、地域創生学部60.0%、経営学部83.2%、人文学部72.2%であった。看護栄養学部は「該当しない」の割合が33.6%と他学部に比べて高くなっている。

キャンパス別にみると、千葉キャンパス55.1%、千葉第二キャンパス44.7%、埼玉キャンパス70.0%、東京キャンパス77.2%であった。

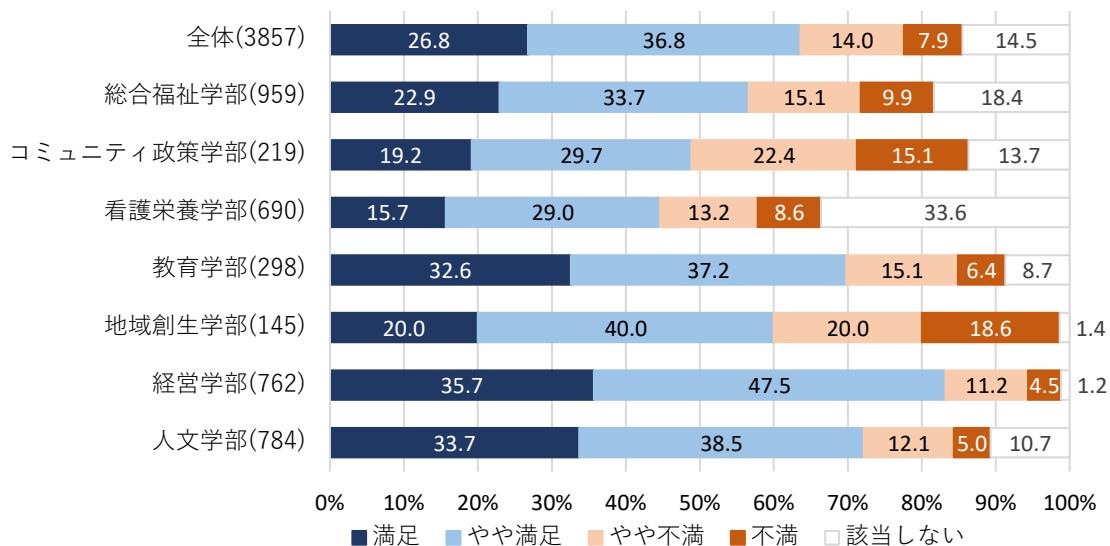


図7-6 遠隔授業の受講のしやすさ（学部別）

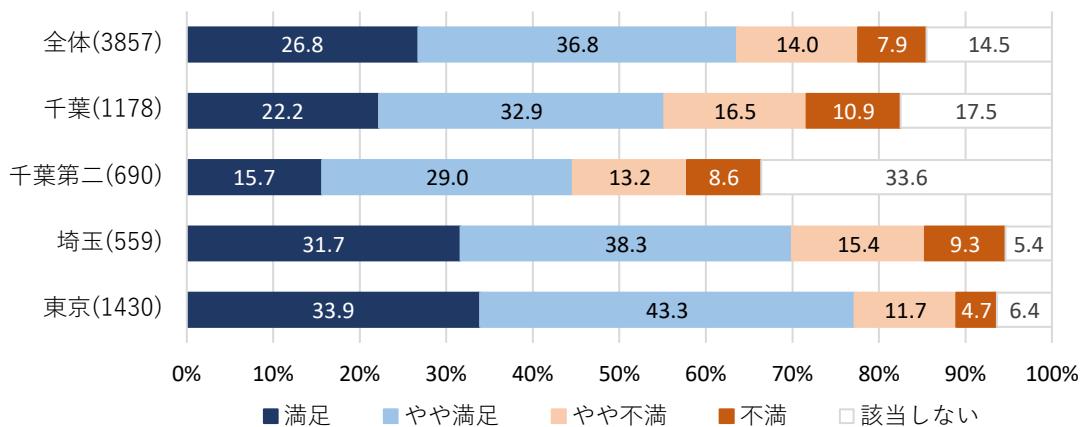


図7-7 遠隔授業の受講のしやすさ（キャンパス別）

4) 「教員の学生への対応」

「教員の学生に対する対応」について、「満足」もしくは「やや満足」と回答した学生の割合は、大学全体で82.3%であった。前回調査は77.7%であり、4.6%増加している。

学部別にみると、「満足」「やや満足」と回答した割合は、総合福祉学部79.1%、コミュニティ政策学部73.6%、看護栄養学部77.9%、教育学部90.9%、地域創生学部80.0%、経営学部83.2%、人文学部88.7%であり、微減となったコミュニティ政策学部以外は前回調査より増加している。とくに教育学部は前回より8.6%増加し、9割に達した。

キャンパス別にみると、千葉キャンパス78.1%、千葉第二キャンパス77.9%、埼玉キャンパス85.7%、東京キャンパス86.6%であった。

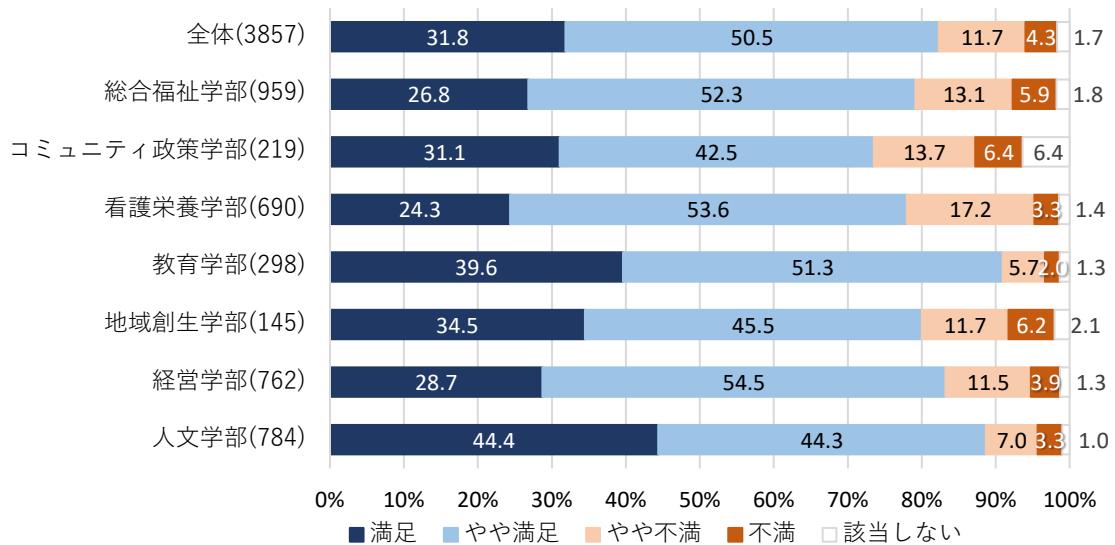


図7-8 教員の学生に対する対応（学部別）

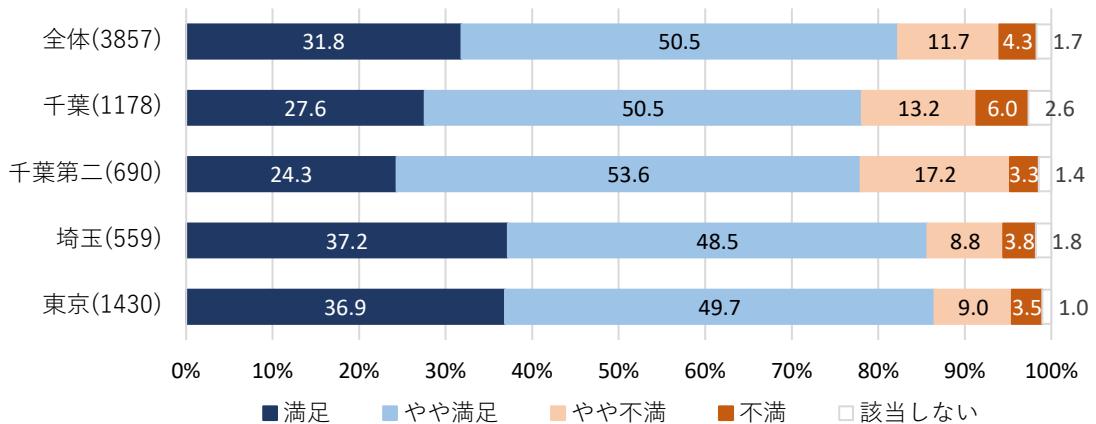


図7-9 教員の学生に対する対応（キャンパス別）

5) 「オフィス・アワーの利用しやすさ」

「オフィス・アワーの利用しやすさ」について、「満足」もしくは「やや満足」と回答した学生の割合は、大学全体で59.8%であった。「該当しない」と回答した904人(23.4%)を除いて算出した「満足」「やや満足」と回答した学生の割合は、78.1%である。

学部別にみると、満足側の回答割合が最も高かったのは、教育学部72.5%、次いで経営学部68.1%、人文学部64.3%、コミュニティ政策学部63.0%、地域創生学部62.8%、看護栄養学部54.3%、総合福祉学部48.4%であった。

キャンパス別にみると、千葉キャンパス51.1%、千葉第二キャンパス54.3%、埼玉キャンパス68.0%、東京キャンパス66.4%であった。

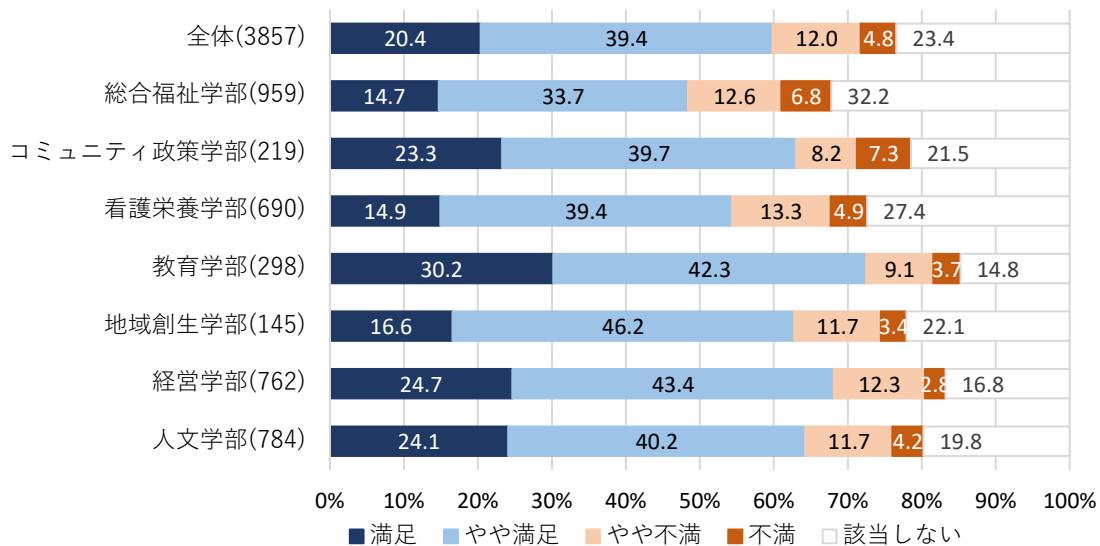


図 7-10 オフィス・アワーの利用しやすさ（学部別）

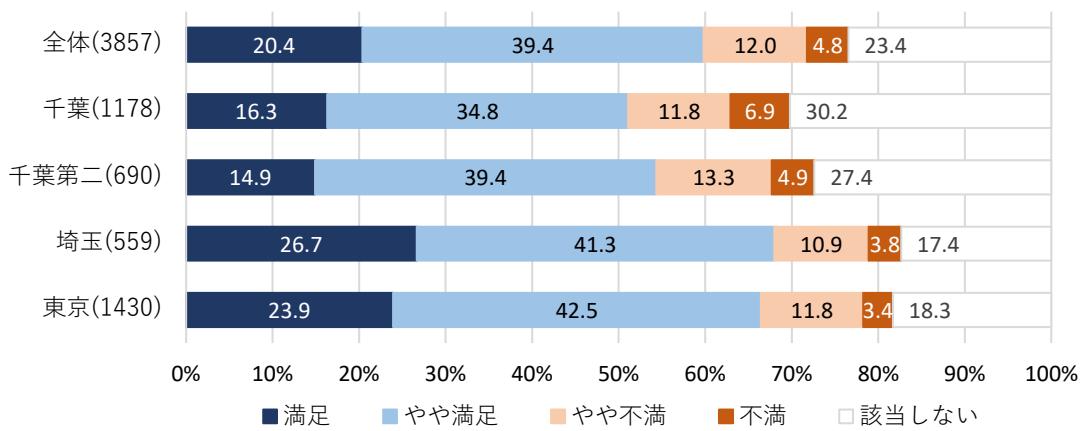


図 7-11 オフィス・アワーの利用しやすさ（キャンパス別）

6) 「事務局職員の学生への対応」

「事務局職員の学生に対する対応」について、「満足」もしくは「やや満足」と回答した学生の割合は、大学全体では 74.4% であった。前回調査の 71.4% から 3.0% 増加した。

学部別にみると、「満足」「やや満足」と回答した割合は、総合福祉学部 71.2%、コミュニティ政策学部 69.9%、看護栄養学部 78.3%、教育学部が最も高く 86.6%、地域創生学部 67.6%、経営学部 80.2%、人文学部 67.4% であった。

キャンパス別にみると、千葉キャンパス 71.0%、千葉第二キャンパス 78.3%、埼玉キャンパス 79.6%、東京キャンパス 73.4% であった。

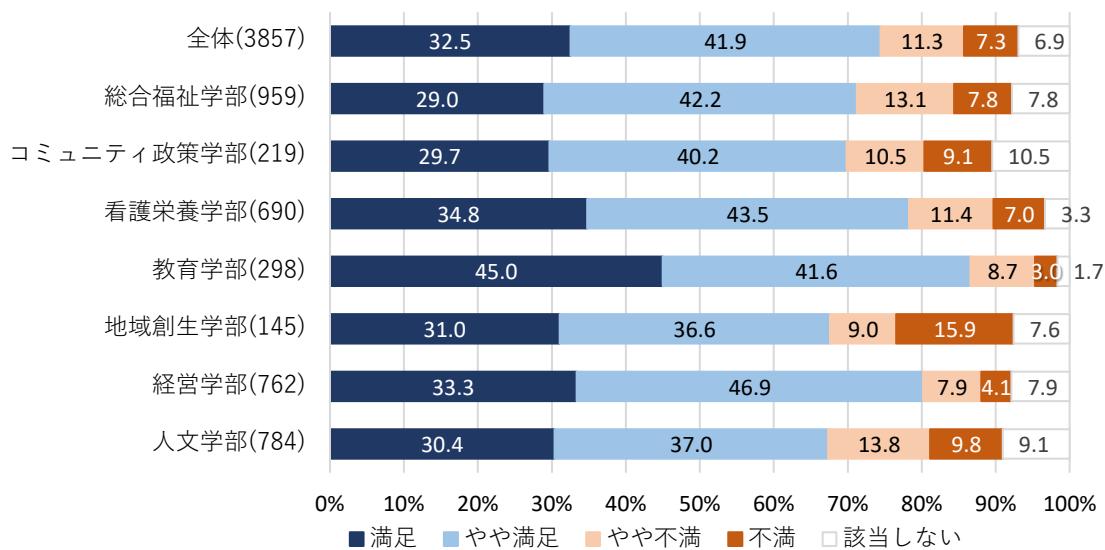


図 7-12 事務局職員の学生に対する対応（学部別）

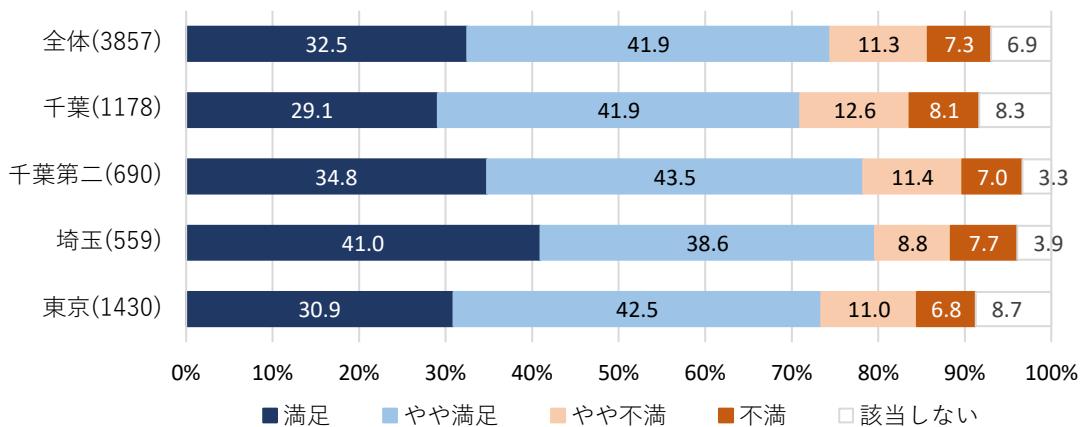


図 7-13 事務局職員の学生に対する対応（キャンパス別）

(7)-2. 図書・パソコン環境



7) 「図書館・図書室の開館時間」

「図書館・図書室の開館時間」について、「満足」もしくは「やや満足」と回答した学生の割合は、大学全体で80.2%であった。前回調査の77.0%から3.2%増加した。

学部別にみると、「満足」「やや満足」と回答した割合は、総合福祉学部84.7%、コミュニティ政策学部66.2%、看護栄養学部82.2%、教育学部91.6%、地域創生学部85.5%、経営学部72.9%、人文学部78.6%であった。「該当しない」割合は、学部による差が大きい。

キャンパス別にみると、千葉キャンパス81.2%、千葉第二キャンパス82.2%、埼玉キャンパスが最も満足度が高く87.9%、東京キャンパス75.3%であった。

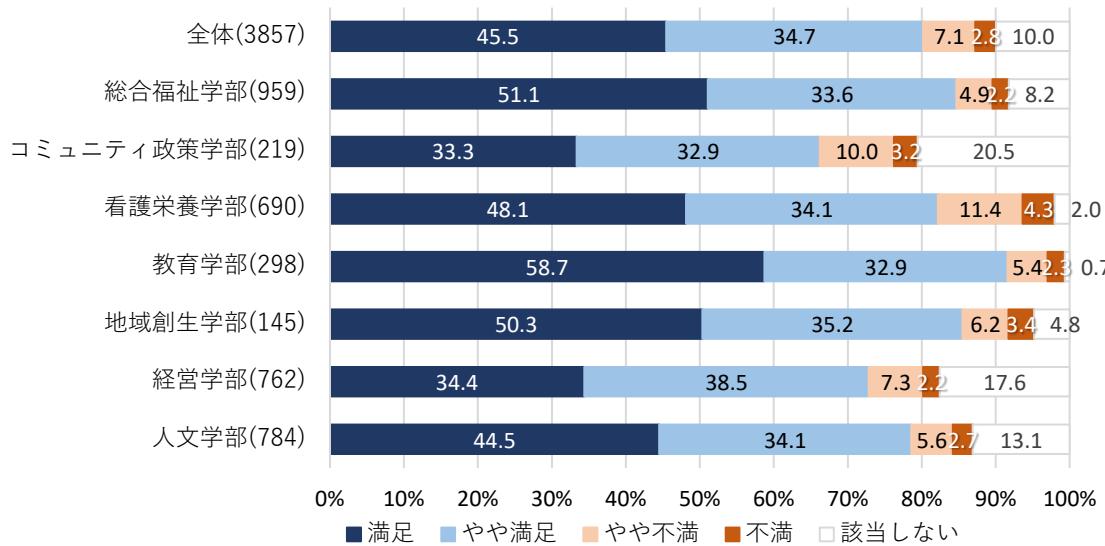


図 7-14 図書館（室）の開館時間（学部別）

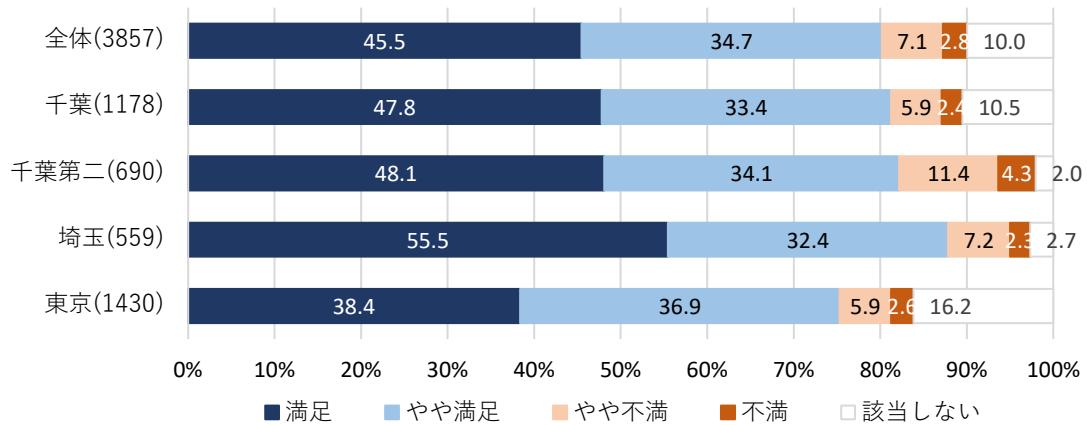


図 7-15 図書館（室）の開館時間（キャンパス別）

8) 「図書館・図書室の座席数・設備（パソコン・ビデオ・コピー等）」

図書館（室）の座席数・設備（パソコン・ビデオ・コピー等）について、「満足」もしくは「やや満足」と回答した学生の割合は、大学全体で 80.2% となり、「図書館（室）の開館時間」とともに 8 割を上回った。

学部別にみると、「満足」「やや満足」と回答した割合は、総合福祉学部 82.6%、コミュニティ政策学部は最も低く 68.1%、看護栄養学部 86.1%、教育学部が最も高く 92.6%、地域創生学部 86.2%、経営学部 72.7%、人文学部 77.0% であった。「該当しない」を除外すると学部間の差は小さい。

キャンパス別にみると、千葉キャンパス 79.9%、千葉第二キャンパス 86.1%、埼玉キャンパス 89.1%、東京キャンパス 74.1% であった。

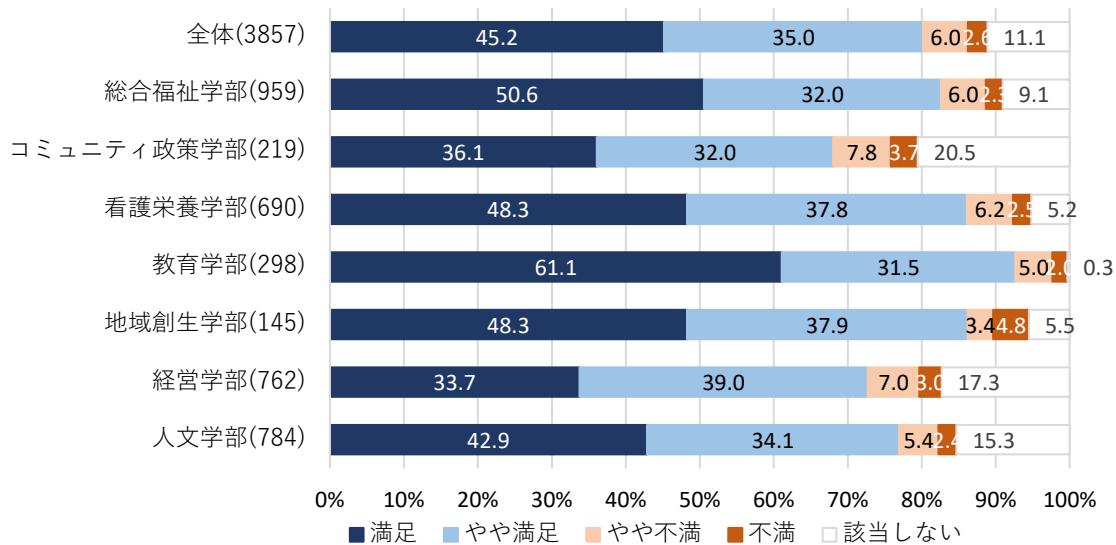


図 7-16 図書館（室）の座席数・設備（学部別）

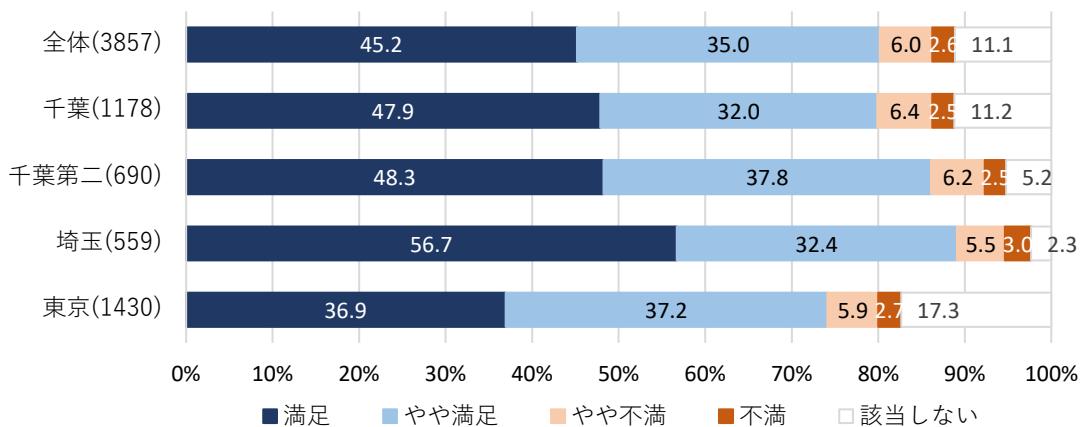


図 7-17 図書館（室）の座席数・設備（キャンパス別）

9) 「パソコンが設置されている教室の利用時間」

「パソコンが設置されている教室の利用時間」について、「満足」もしくは「やや満足」と回答した学生の割合は、大学全体では 84.1% であった。前回調査の 75.0% から 9.1% 増加した。

学部別にみると、「満足」「やや満足」と回答した割合は、総合福祉学部 88.6%、コミュニティ政策学部 83.1%、看護栄養学部 86.2%、教育学部 90.6%、地域創生学部 85.5%、経営学部 79.1%、人文学部 79.1% であった。「該当しない」を除外するといずれの学部も 9 割前後の割合となり差は小さい。

キャンパス別にみると、千葉キャンパス 87.6%、千葉第二キャンパス 86.2%、埼玉キャンパス 88.3%、東京キャンパス 78.5% であった。

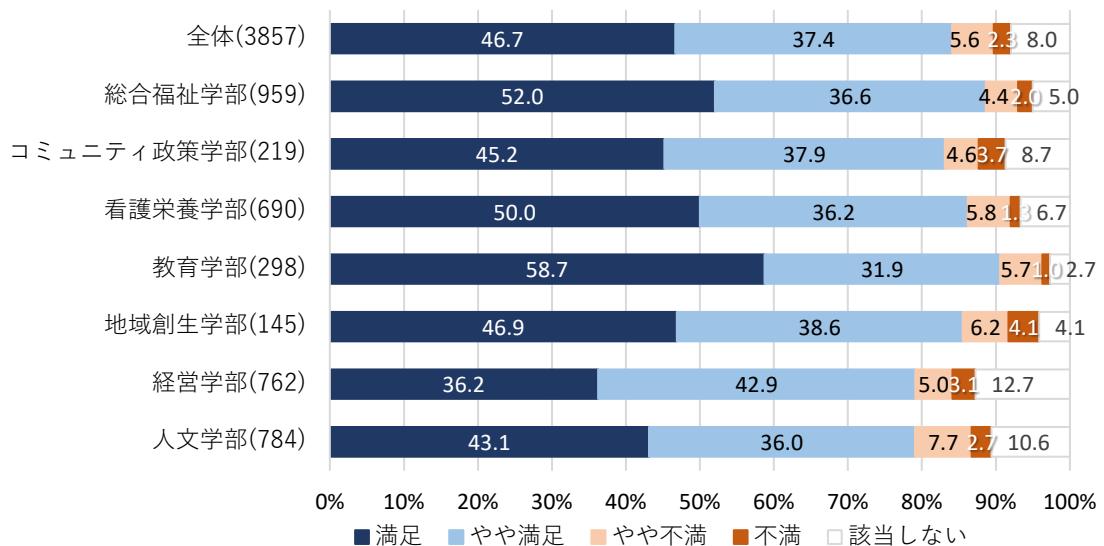


図 7-18 パソコンが設置されている教室の利用時間（学部別）

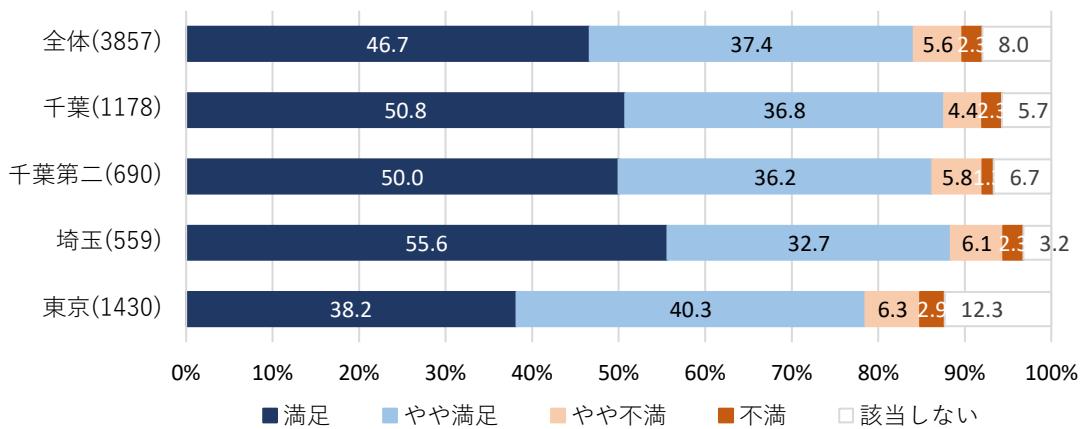


図 7-19 パソコンが設置されている教室の利用時間（キャンパス別）

10) 「利用できるパソコンの台数」

「利用できるパソコンの台数」について、「満足」もしくは「やや満足」と回答した学生の割合は、大学全体で 85.1% であった。前回調査の 75.1% から 10.0% 増加した。

学部別にみると、「満足」「やや満足」と回答した割合は、総合福祉学部 85.6%、コミュニティ政策学部 80.3%、看護栄養学部 87.6%、教育学部 86.9%、地域創生学部 87.6%、経営学部 81.7%、人文学部 85.2% で、いずれも 8 割を超えていた。

キャンパス別にみると、千葉キャンパス 84.6%、千葉第二キャンパス 87.6%、埼玉キャンパス 86.8%、東京キャンパス 83.4% であった。

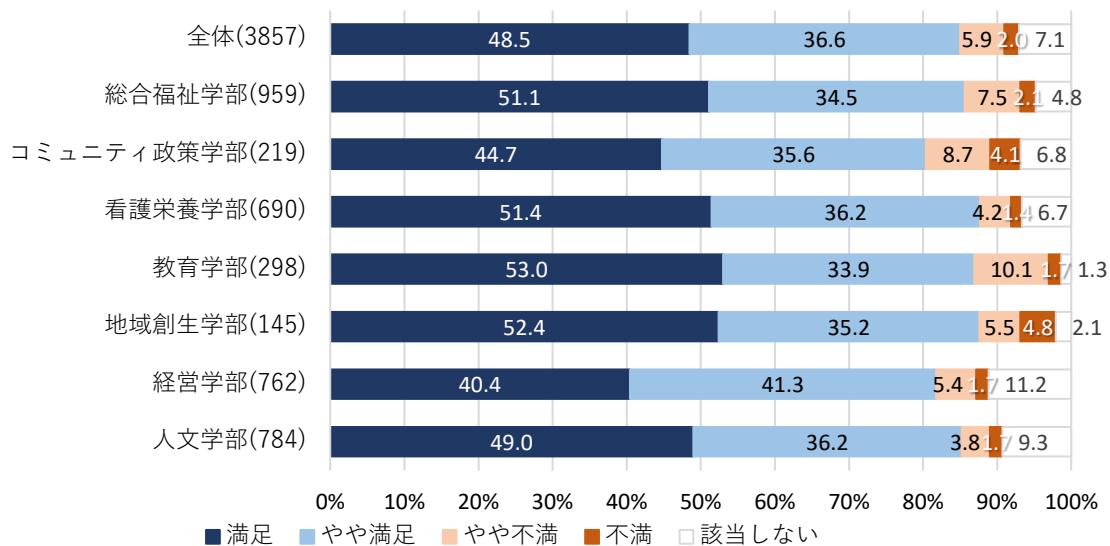


図 7-20 利用できるパソコンの台数（学部別）

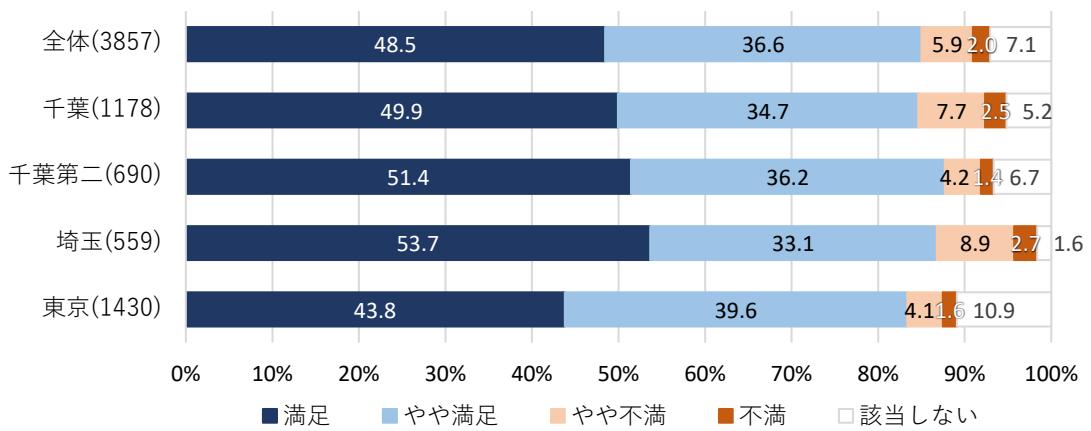


図 7-21 利用できるパソコンの台数（キャンパス別）

(7)-3. 売店・食堂・自由スペース等

食堂の快適さは、7割弱が満足（前回調査より増加）
スクールバスの不満は約5割（千葉第二キャンパスは9割）

11) 「食堂の快適さ」

「食堂の快適さ」について、「満足」もしくは「やや満足」と回答した学生の割合は、大学全体では67.3%であった。前回調査では64.3%であり、3.0%増加している。

学部別にみると、「満足」「やや満足」と回答した割合は、総合福祉学部は前回調査の66.7%から53.0%に減少、コミュニティ政策学部は62.4%から68.9%に増加、看護栄養学部は70.9%から70.8%に横ばい、教育学部54.8%から77.8%に大幅増、地域創生学部66.9%、経営学部は56.4%から72.1%に大幅増、人文学部は69.3%から72.6%にわずかに増加であった。

キャンパス別にみると、千葉キャンパス56.0%、千葉第二キャンパス70.8%、埼玉キャンパス73.1%、東京キャンパス72.6%であった。千葉キャンパスの満足度の低さが目立つ結果となった。

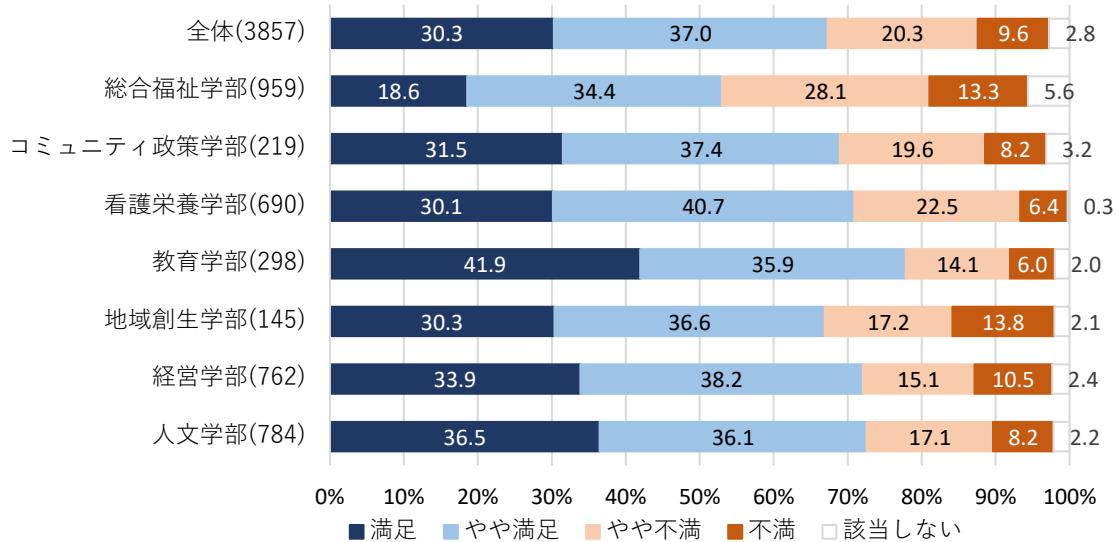


図 7-22 食堂の快適さ（学部別）

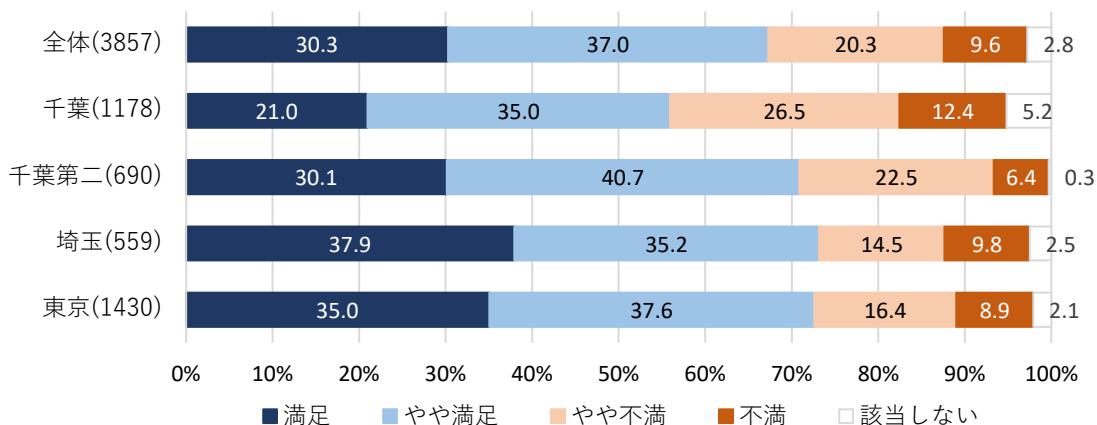


図 7-23 食堂の快適さ（キャンパス別）

12) 「学生が自由に使えるスペース」

「学生が自由に使えるスペース」について、「満足」もしくは「やや満足」と回答した学生の割合は、大学全体では 73.3% であった。前回調査の 68.6% から 4.7% 増加した。

学部別にみると、「満足」「やや満足」と回答した割合は、総合福祉学部は 64.1%、コミュニティ政策学部は 66.7%、看護栄養学部は 76.4%、教育学部は前回の 65.4% から大きく増加して 86.5%、地域創生学部は 75.1%、経営学部は 74.8%、人文学部は 77.3% であった。

キャンパス別にみると、千葉キャンパス 64.5%、千葉第二キャンパス 76.4%、埼玉キャンパス 80.1%、東京キャンパス 76.6% で、「食堂の快適さ」と同様に千葉キャンパスの満足度の低さが目立つ結果となった。

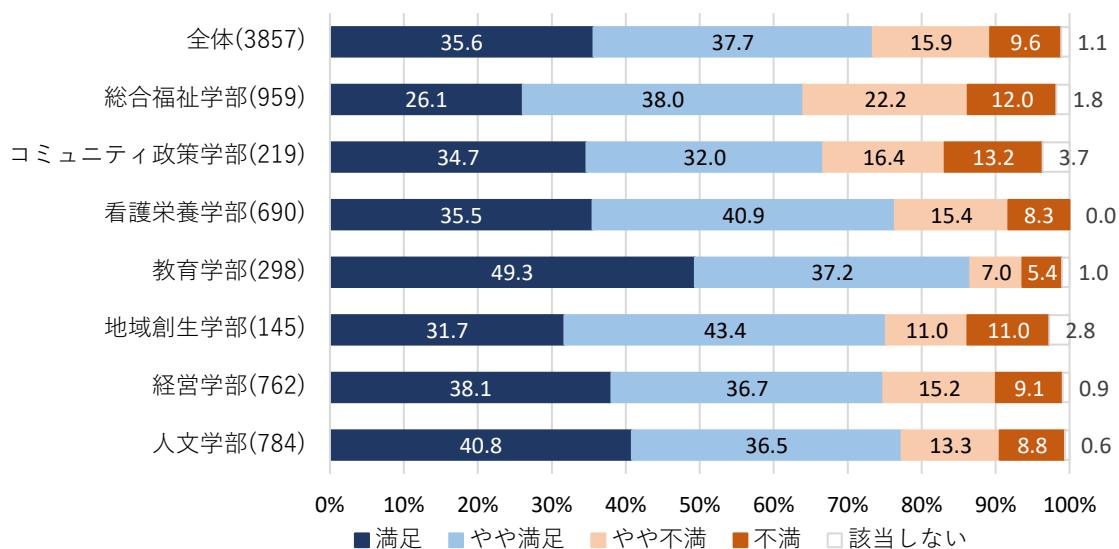


図 7-24 学生が自由に使えるスペース（学部別）

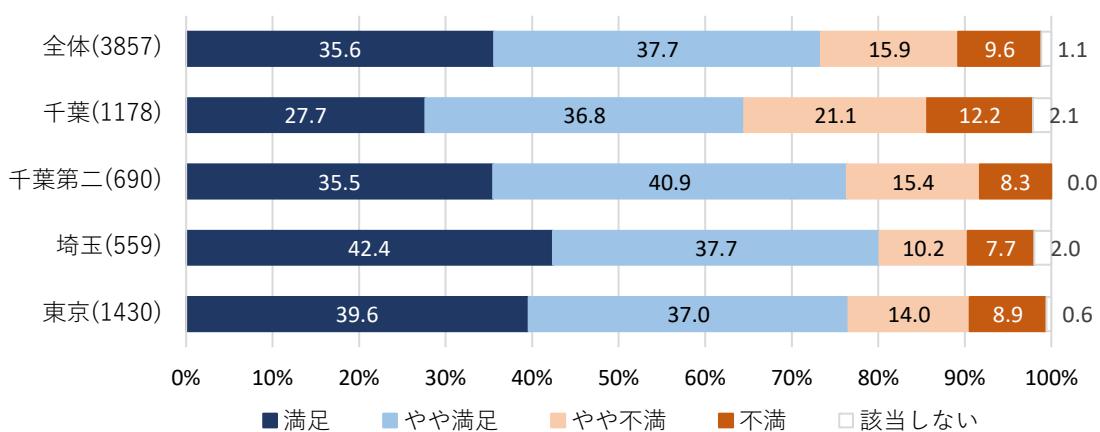


図 7-25 学生が自由に使えるスペース（キャンパス別）

13) 「購買・売店の使いやすさ」

「購買・売店の使いやすさ」について、「満足」もしくは「やや満足」と回答した学生の割合は、全体で71.4%であった。前回調査も71.4%で、変動はなかった。

「満足」「やや満足」の割合を学部別にみると、総合福祉学部は70.3%(前回調査70.8%)、コミュニティ政策学部は74.0%(同63.4%)、看護栄養学部は66.4%(同71.0%)、教育学部は61.4%(同74.6%)、地域創生学部は62.0%、経営学部は74.3%(同71.0%)、人文学部は79.4%(同75.9%)であった。

キャンパス別にみると、千葉キャンパス71.0%、千葉第二キャンパス66.4%、埼玉キャンパス62.3%、東京キャンパス77.9%で、東京キャンパスの満足度が高い。

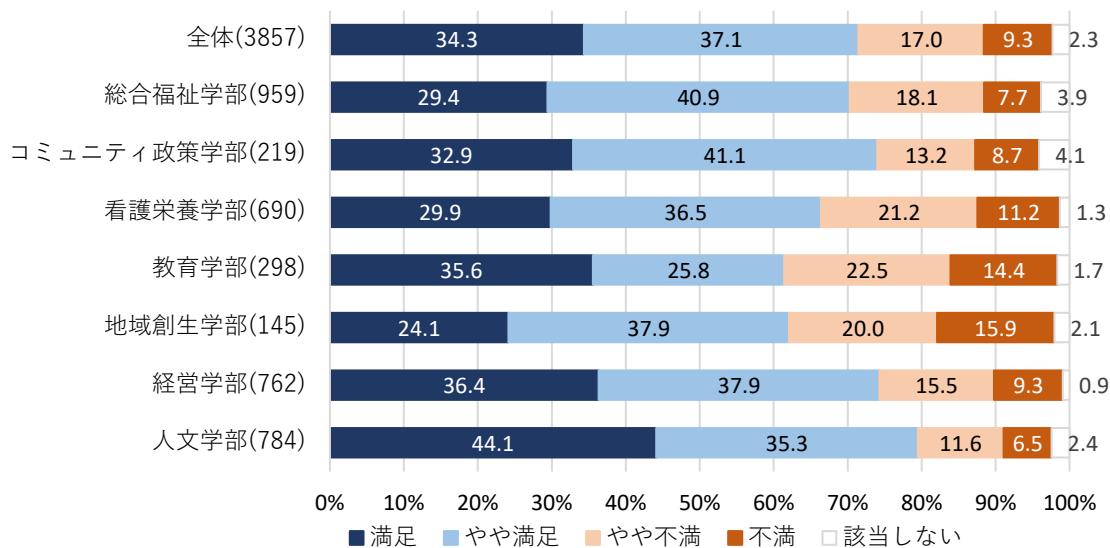


図 7-26 購買・売店の使いやすさ（学部別）

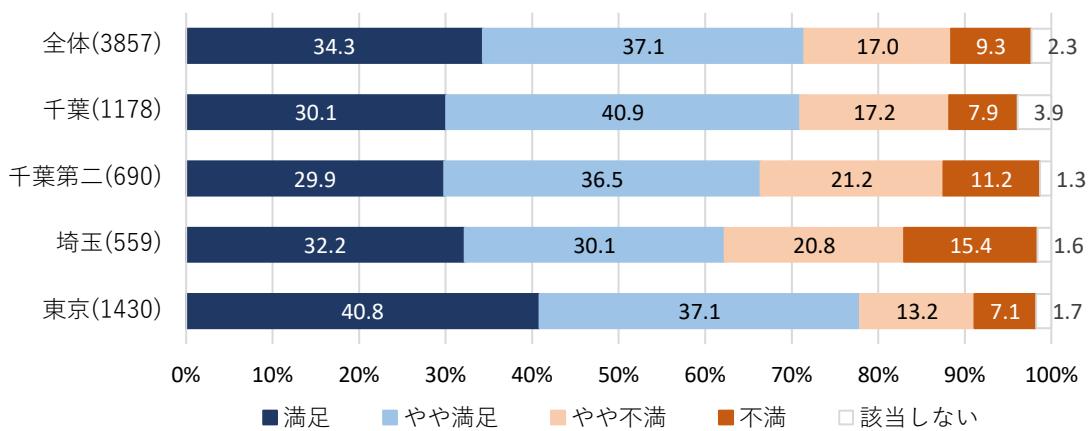


図 7-27 購買・売店の使いやすさ（キャンパス別）

14) 「サークル部室（千葉・千葉第二・埼玉）の使いやすさ」

「サークルの部室の使いやすさ」では前回調査同様に「該当しない」と回答した割合が多かった。大学全体では 57.3% であり、前回調査の 56.4% より若干増えている。

「満足」もしくは「やや満足」と回答した学生の割合は、大学全体で 30.2% であった。「該当しない」を除外した場合の「満足」「やや満足」の回答割合は 70.7% である。

キャンパス別にみると、千葉キャンパス 40.4%、千葉第二キャンパス 22.9%、埼玉キャンパス 44.7%、東京キャンパス 19.6% である。「該当しない」を除外した場合の「満足」「やや満足」の回答割合は千葉キャンパス 72.0%、千葉第二キャンパス 57.6%、埼玉キャンパス 75.8%、東京キャンパス 73.3% で、千葉第二キャンパス以外は 7 割を超える。

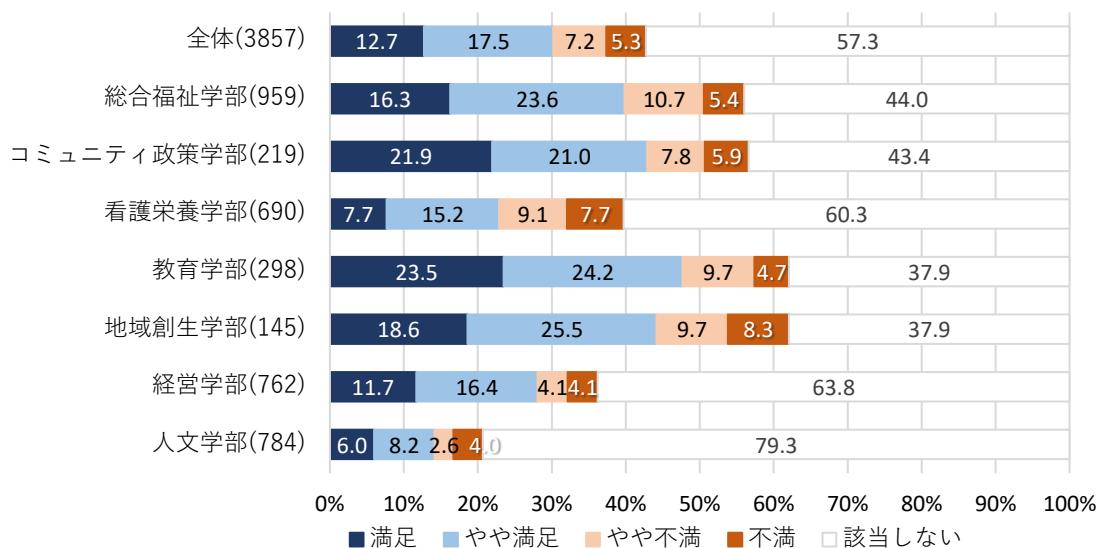


図 7-28 サークル部室（千葉・千葉第二・埼玉）の使いやすさ（学部別）

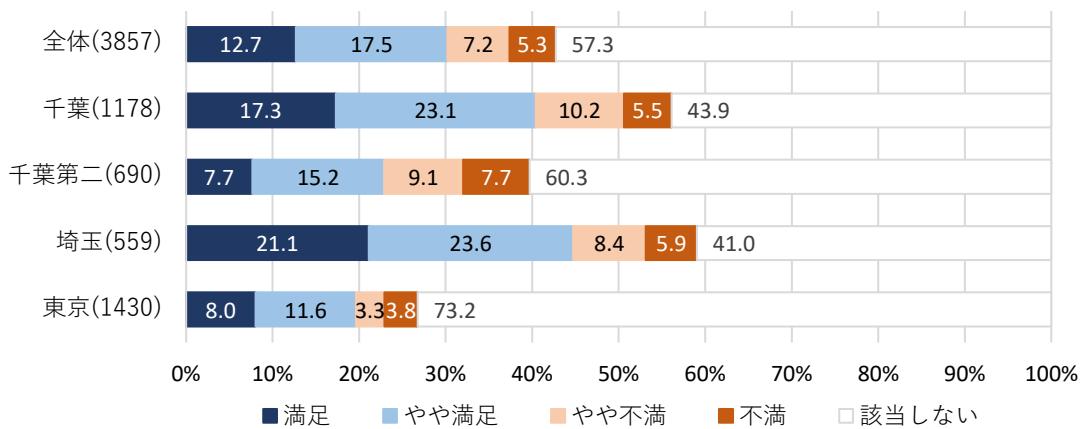


図 7-29 サークル部室（千葉・千葉第二・埼玉）の使いやすさ（キャンパス別）

15) 「グラウンド（更科・生実町・埼玉・坂戸）の使いやすさ」

「グラウンドの使いやすさ」でも「該当しない」と回答した割合が非常に多かった。大学全体では69.1%であり前回調査の74.5%よりは減少した。同割合がとくに多いのは、看護栄養学部（80.3%）と人文学部（80.1%）である。

「満足」もしくは「やや満足」と回答した学生の割合は、大学全体で22.0%であった。「該当しない」を除外すると「満足」「やや満足」の回答割合は約7割から8割となり、グラウンドを利用している学生の多くが満足しているといえる。

キャンパス別にみると、埼玉キャンパスでは「該当しない」と回答した割合が他のキャンパスに比べると少ない。「該当しない」を除外した「満足」「やや満足」の回答割合は、千葉キャンパス68.6%、千葉第二キャンパス59.5%、埼玉キャンパス80.2%、東京キャンパス72.0%で、埼玉キャンパスでグラウンドを利用している学生の満足度がとくに高いことが分かる。

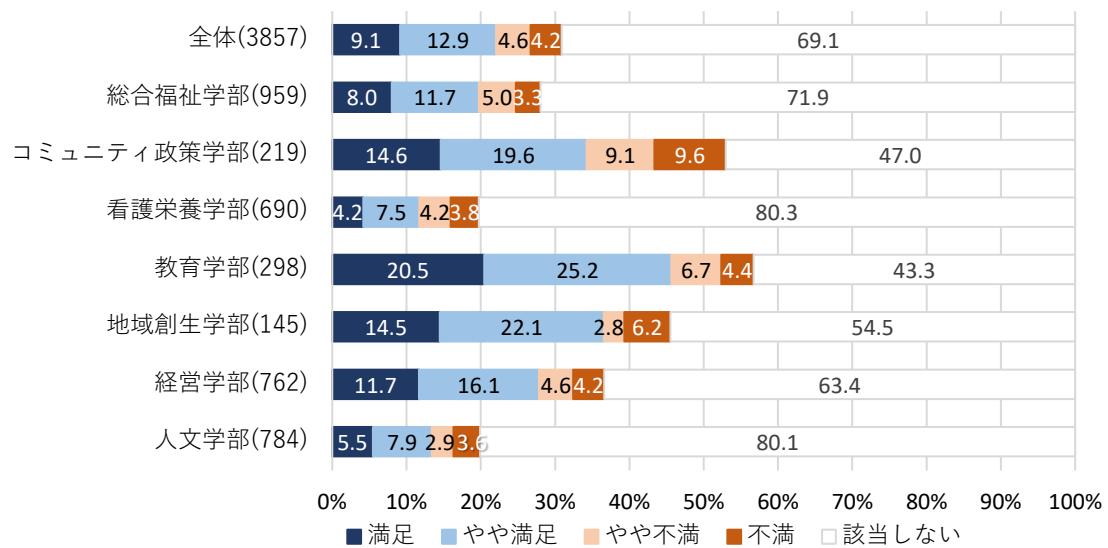


図7-30 グラウンド（更科・生実町・埼玉・坂戸）の使いやすさ（学部別）

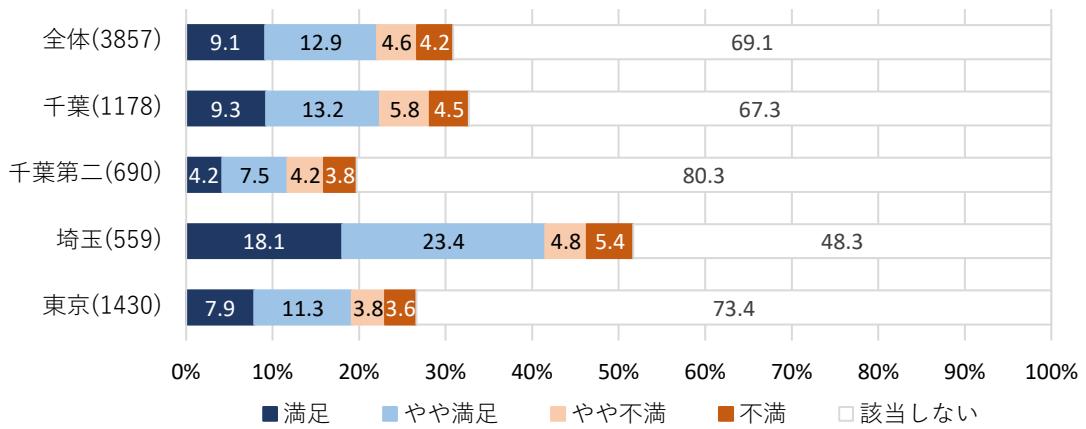


図7-31 グラウンド（更科・生実町・埼玉・坂戸）の使いやすさ（キャンパス別）

16) 「スクールバス（千葉・千葉第二・埼玉）の使いやすさ」

「スクールバスの使いやすさ」について、「満足」もしくは「やや満足」と回答した学生の割合は、大学全体で32.3%であった。前回調査の42.0%から9.7%減少した。

学部によって大きな差がみられた。「満足」「やや満足」と回答した割合が5割を超えたのは、コミュニティ政策学部（57.5%）と総合福祉学部（55.9%）のみである。

看護栄養学部は「不満」の割合が前回調査の61.7%からさらに増加し69.0%と非常に高く、「やや不満」を合わせると83.8%が不満側の回答であった。

「該当しない」を除外した「満足」「やや満足」の回答割合を見てみると、大学全体で48.6%、キャンパス別では、千葉キャンパス62.4%、千葉第二キャンパス9.0%、埼玉キャンパス53.4%、東京キャンパス70.3%となる。前回調査に引き続き、千葉第二キャンパスに通う学生のスクールバスに対する不満はかなり大きく、未だ解消されていないことが分かる。

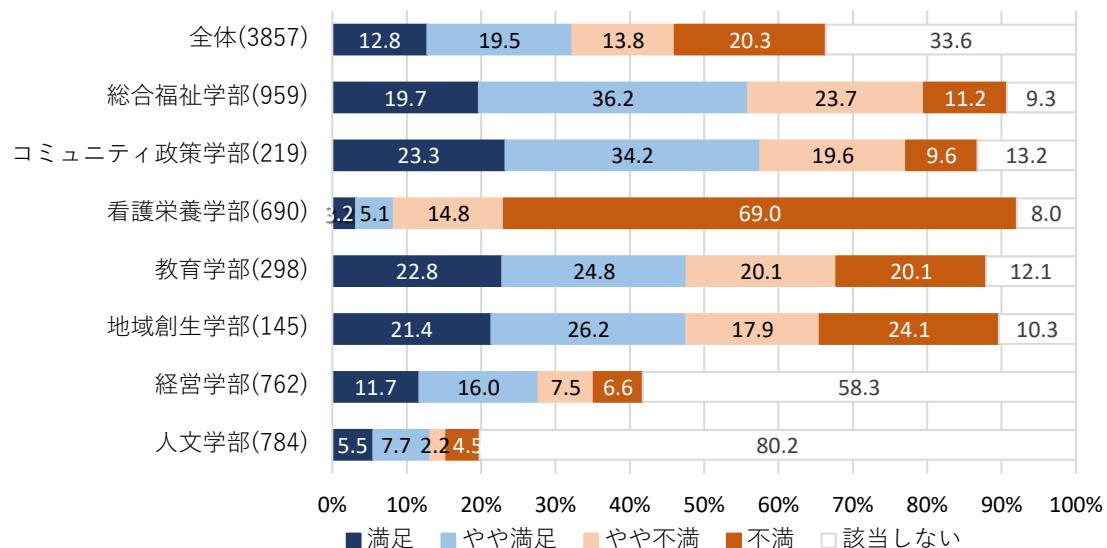


図7-32 スクールバス（千葉・千葉第二・埼玉）の使いやすさ（学部別）

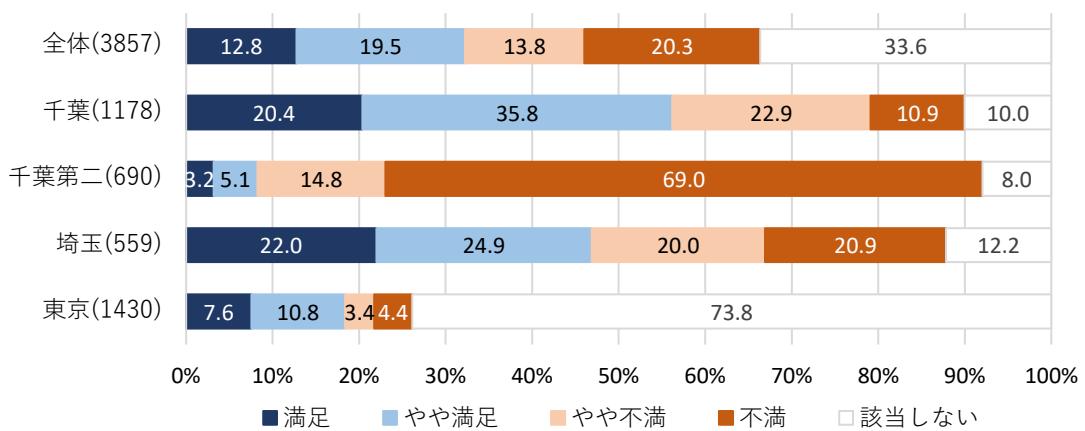


図7-33 スクールバス（千葉・千葉第二・埼玉）の使いやすさ（キャンパス別）

(7)-4. 保健室・キャリア支援・学生相談室等

キャリア相談等 利用者の大部分は満足

17) 「保健相談室（千葉・埼玉・東京）・保健室（千葉第二）の利用のしやすさ」

「保健相談室・保健室の利用のしやすさ」について、「該当しない」という回答の割合は、大学全体では37.9%であった。学部による差があり、看護栄養学部以外でこの割合が高かった。

「満足」もしくは「やや満足」という回答の割合は、大学全体では51.6%であった。もっとも利用者が多いと考えられる看護栄養学部では、「該当しない」を除く69.9%のうち57.5%が「満足」もしくは「やや満足」と回答している。「満足」「やや満足」という回答の割合は、「該当しない」を除外した場合は大学全体で83.0%、各学部では地域創生学部（79.8%）が僅かに足りないを除き、8割台であった。

キャンパス別にみると「満足」「やや満足」の回答割合は、千葉キャンパス42.8%、千葉第二キャンパス57.5%、埼玉キャンパス51.8%、東京キャンパス55.7%で千葉キャンパス以外は5割を超える。

「該当しない」を除外した「満足」「やや満足」の回答割合では、各キャンパスで8割台となる。

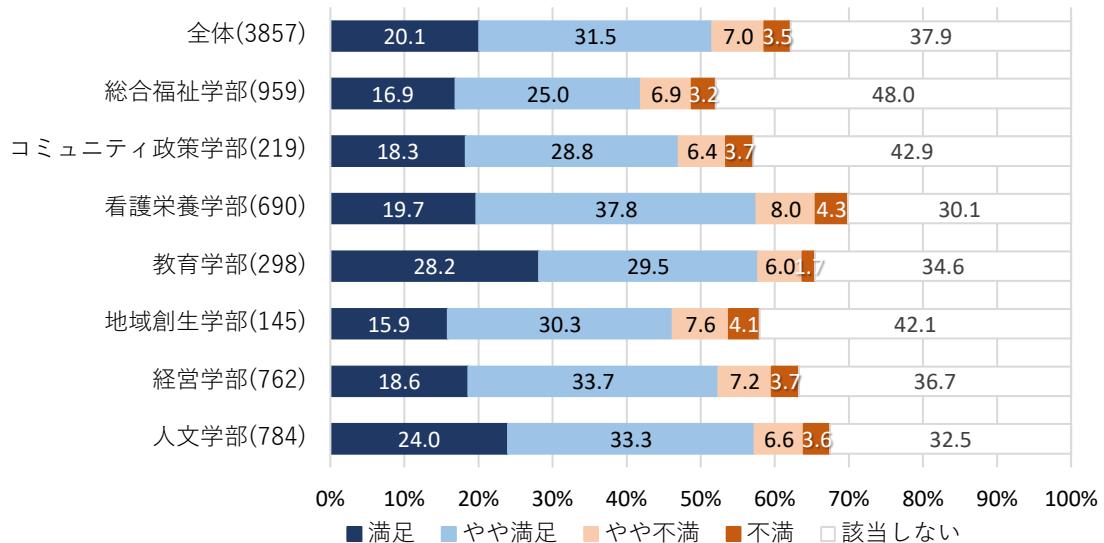


図 7-34 保健相談室（千葉・埼玉・東京）・保健室（千葉第二）の利用のしやすさ（学部別）

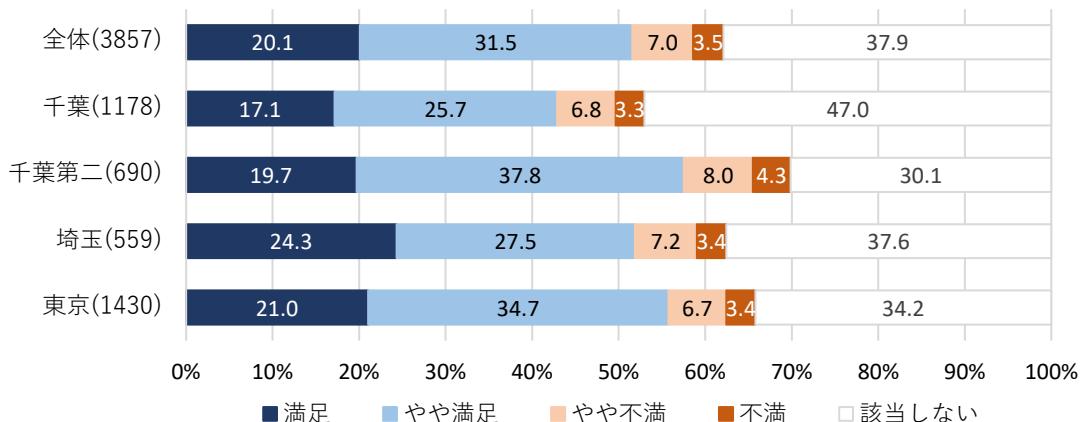


図 7-35 保健相談室（千葉・埼玉・東京）・保健室（千葉第二）の利用のしやすさ（キャンパス別）

18) 「学生相談室（千葉・千葉第二・東京）・学生総合相談支援室（埼玉）の利用のしやすさ」

学生相談室と学生総合相談支援室は仕組みが異なるが、前回と同様に、一つの項目として調査対象とした。

大学全体で、「満足」「やや満足」という回答の割合は 50.6%、「やや不満」「不満」という回答の割合は 10.8%であった。38.6%の「該当しない」を除くと、学生相談室・学生総合相談支援室を利用した学生のおよそ 8 割が「満足」「やや満足」となる。

学部別にみても、どの学部も「満足」「やや満足」の割合が多い。最も多かったのは、人文学部で 59.6%、最も少なかったのは総合福祉学部で 39.9%であった。「該当しない」除くと、どの学部でも 8 割前後の学生が「満足」「やや満足」となる。

キャンパス別にみると、「満足」「やや満足」の回答割合は、千葉キャンパス 41.2%、千葉第二キャンパス 49.1%、埼玉キャンパス 53.9%、東京キャンパス 57.9%で千葉キャンパスの満足度が若干低い。「該当しない」を除外した「満足」「やや満足」の回答割合では、各キャンパスで 8 割前後となる。

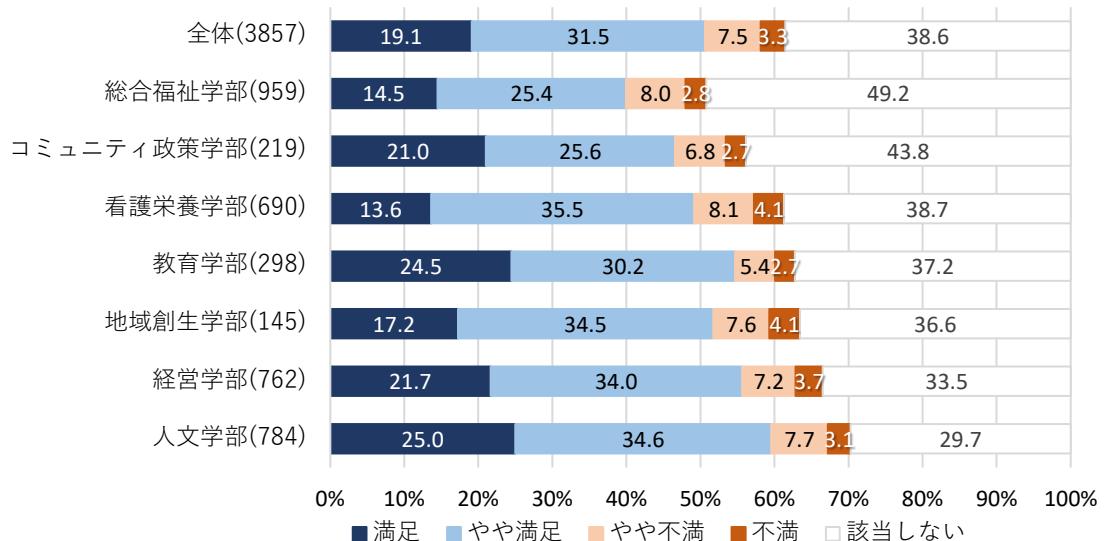


図 7-36 学生相談室(千葉・千葉第二・東京)・学生総合相談支援室(埼玉)の利用のしやすさ (学部別)

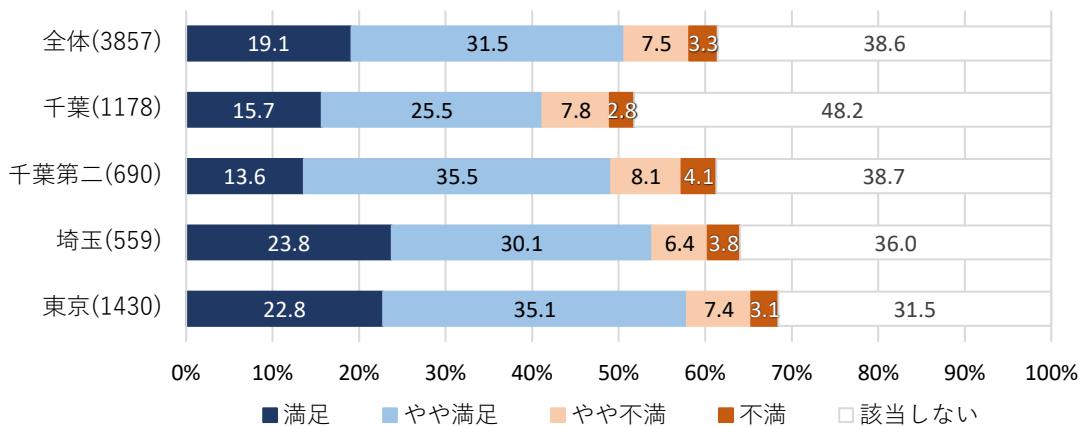


図 7-37 学生相談室(千葉・千葉第二・東京)・学生総合相談支援室(埼玉)の利用のしやすさ (キャンパス別)

19) 「キャリア支援センター(千葉)・総合キャリア支援室(埼玉)・キャリア支援室(千葉第二・東京)の利用のしやすさ」

「キャリア支援センター・キャリア支援室の利用のしやすさ」について、「該当しない」という回答の割合は、大学全体で30.3%であった。「満足」もしくは「やや満足」という回答の割合は58.4%、「やや不満」「不満」の割合は11.3%である。「該当しない」という回答を除くと、83.8%の学生が「満足」「やや満足」となる。

学部別にみると、「満足」「やや満足」という回答割合が最も高かったのは教育学部で69.1%、最も低かったのは総合福祉学部で53.5%である。「該当しない」という回答を除くと、各学部で8割~9割が「満足」「やや満足」となる。

キャンパス別にみると、「満足」「やや満足」の回答割合は、千葉キャンパス54.4%、千葉第二キャンパス56.5%、埼玉キャンパス70.0%、東京キャンパス58.1%で、埼玉キャンパスの満足度が他のキャンパスより高い。「該当しない」を除外した「満足」「やや満足」の回答割合では、埼玉キャンパスで約9割、他のキャンパスで約8割となる。

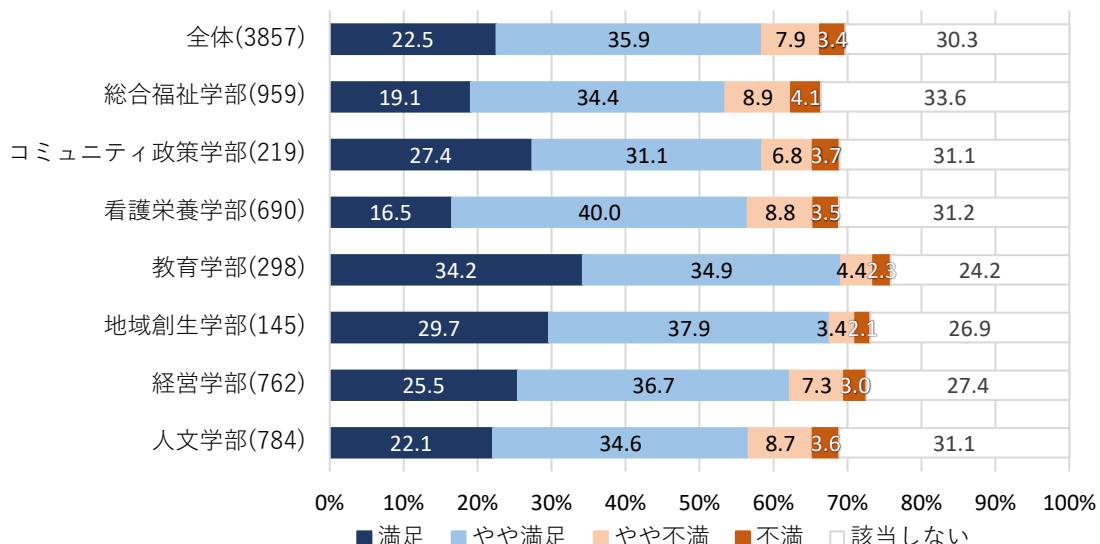


図7-38 キャリア支援センター(千葉)・総合キャリア支援室(埼玉)・キャリア支援室(千葉第二・東京)の利用のしやすさ(学部別)

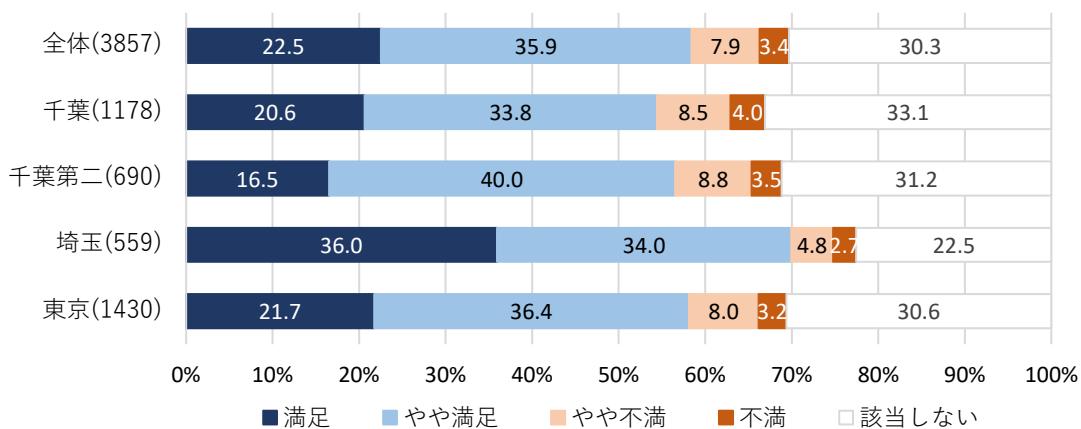


図7-39 キャリア支援センター(千葉)・総合キャリア支援室(埼玉)・キャリア支援室(千葉第二・東京)の利用のしやすさ(キャンパス別)

20) 「キャリア支援センター(千葉)・総合キャリア支援室(埼玉)・キャリア支援室(千葉第二・東京)の支援プログラムや就職イベント」

「キャリア支援センター・キャリア支援室の支援プログラム・就職イベント」について、「該当しない」と回答した学生が、大学全体では34.8%であった。

大学全体では、「満足」もしくは「やや満足」という回答の割合は54.7%、「やや不満」もしくは「不満」は10.5%であった。「該当しない」という回答を除くと、「満足」「やや満足」の割合は83.8%となる。大学全体および学部別の傾向は、「キャリア支援センター・室の利用しやすさ」とほぼ同様であるといえる。

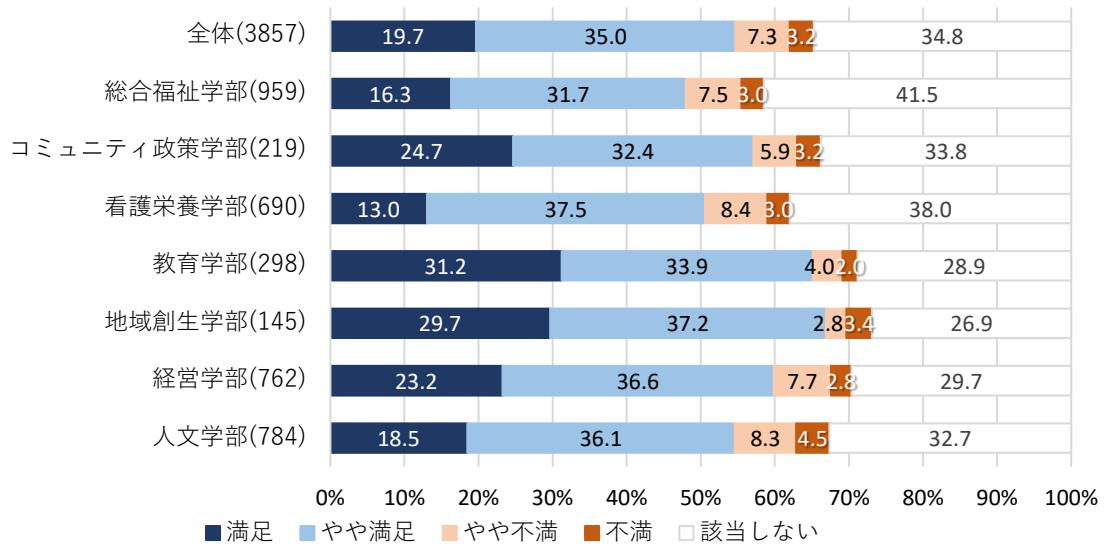


図 7-40 キャリア支援センター(千葉)・総合キャリア支援室(埼玉)・キャリア支援室(千葉第二・東京)の支援プログラムや就職イベント(学部別)

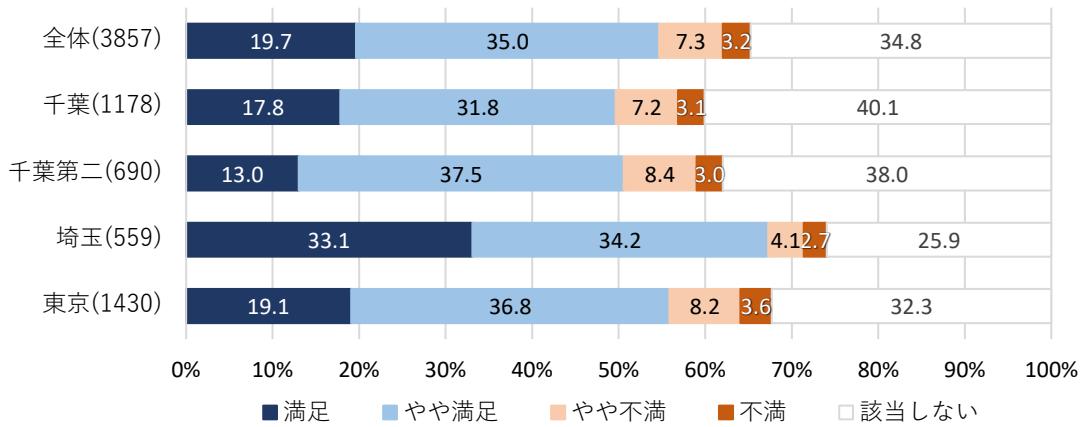


図 7-41 キャリア支援センター(千葉)・総合キャリア支援室(埼玉)・キャリア支援室(千葉第二・東京)の支援プログラムや就職イベント(キャンパス別)

(8) 淑徳大学の強みや良い点、高校生等に薦めたい点

図8-1は、「淑徳大学の強みや良い点、高校生等に薦めたい点」として「あてはまる」～「あてはまらない」の4水準で尋ねた23項目について、内容別に「教職員」「学習内容・学習環境」「学生・友人・サークル」「キャンパス・雰囲気・建学の精神」の4グループに分類し、「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した割合の高い順に並べ替えて示した。いずれの項目も「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合が高く、さまざまな点が評価されていることがわかる。

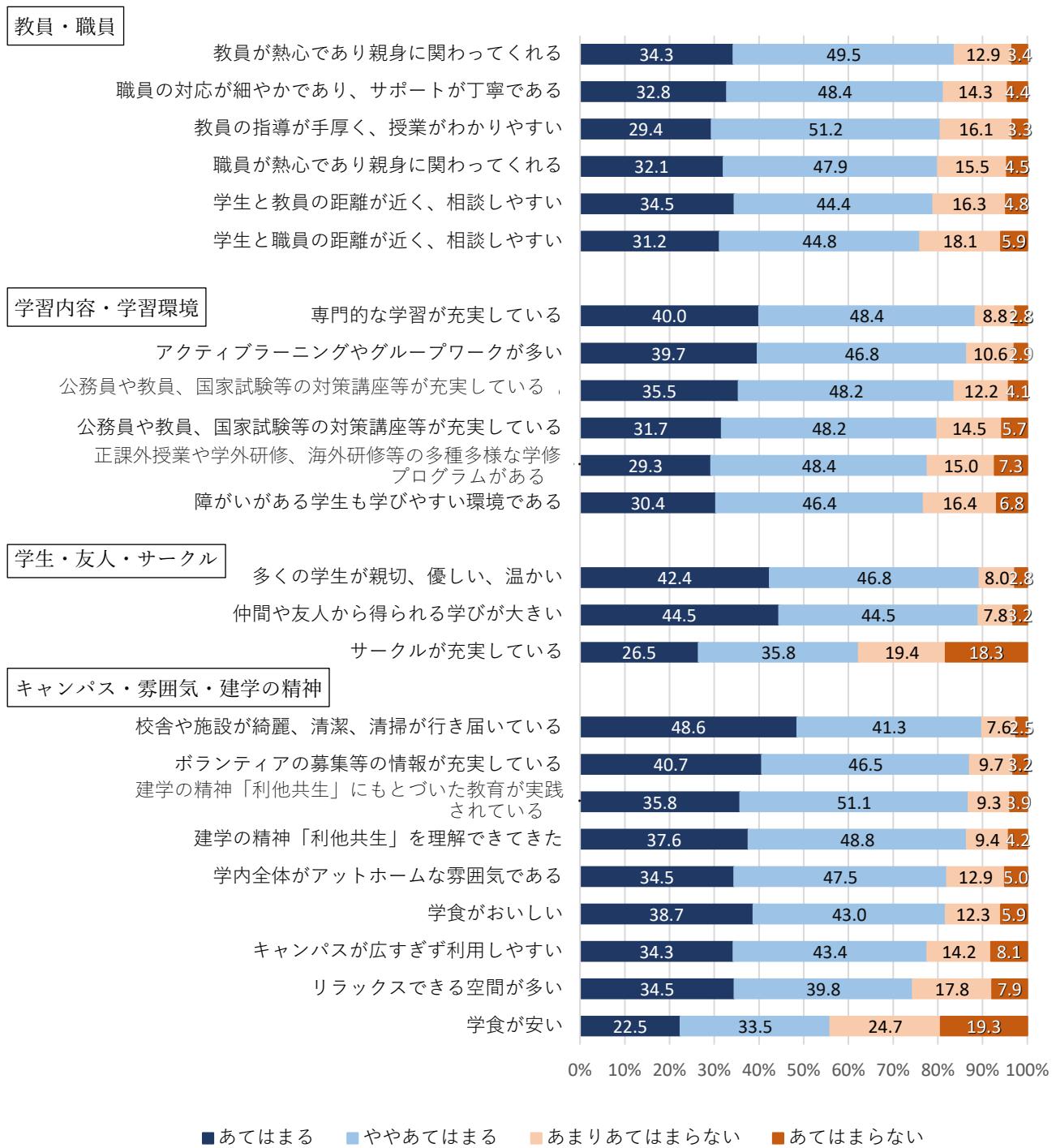


図8-1 淑徳大学の強み、薦めたい点（大学全体）

(8)-1. 教員・職員

「教員が熱心であり親身に関わってくれる」が強みと感じる学生 83.8%

1) 「教員が熱心であり親身に関わってくれる」

強みや良い点、高校生等に薦めたい点として、「教員が熱心であり親身に関わってくれる」を「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した学生の割合は、大学全体で 83.8% であった。

学部別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、教育学部 91.3%、人文学部 89.3%、経営学部 83.8%、看護栄養学部 81.7%、地域創生学部 81.4%、総合福祉学部 80.1%、コミュニティ政策学部 77.1% であった。

キャンパス別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、東京キャンパス 87.0%、埼玉キャンパス 86.6%、千葉第二キャンパス 81.7%、千葉キャンパス 79.5% であった。

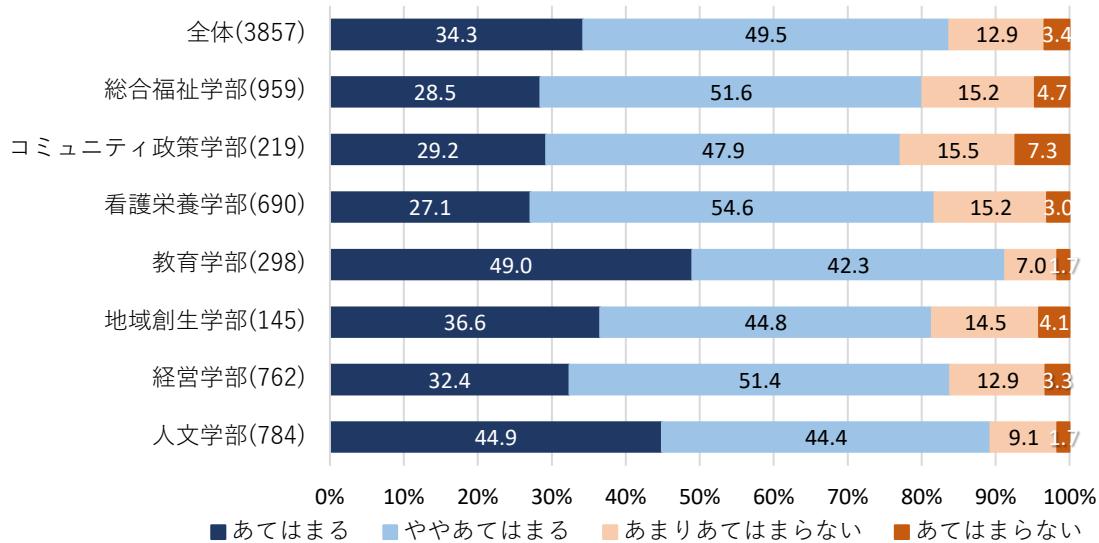


図 8-2 教員が熱心であり親身に関わってくれる（学部別）

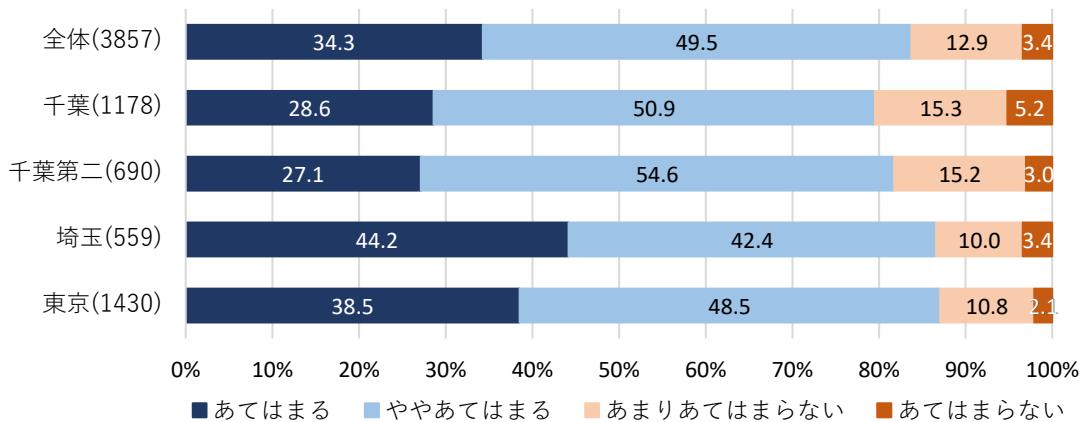


図 8-3 教員が熱心であり親身に関わってくれる（キャンパス別）

2) 「教員の指導が手厚く、授業がわかりやすい」

強みや良い点、高校生等に薦めたい点として、「教員の指導が手厚く、授業がわかりやすい」を「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した学生の割合は、大学全体で 80.6% であった。

学部別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、教育学部 88.6%、人文学部 87.4%、経営学部 82.2%、総合福祉学部 77.6%、看護栄養学部 75.5%、コミュニティ政策学部 74.4%、地域創生学部 72.4% であった。

キャンパス別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、東京キャンパス 85.8%、埼玉キャンパス 81.1%、千葉キャンパス 77.0%、千葉第二キャンパス 75.5% であった。

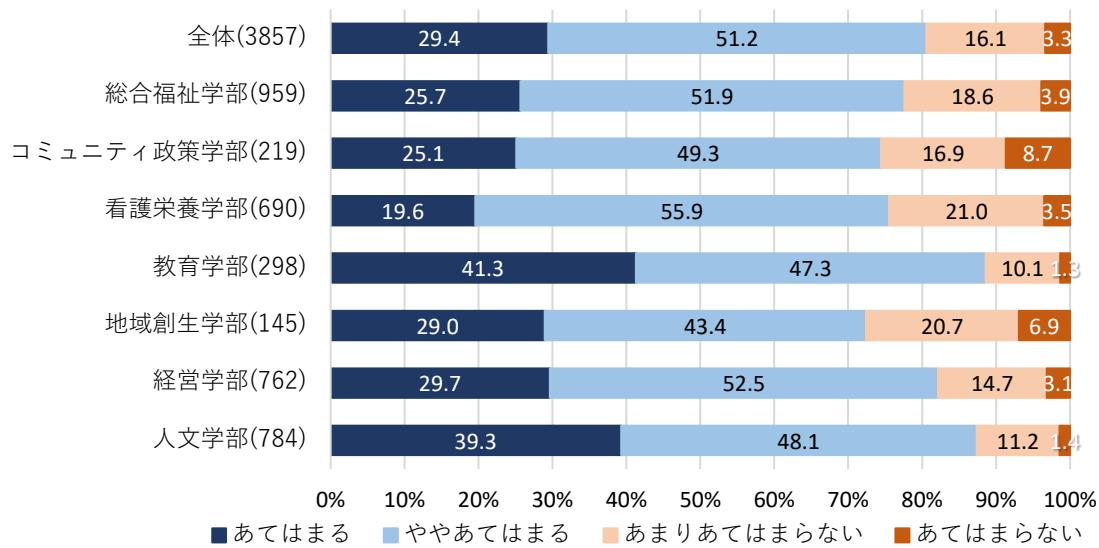


図 8-4 教員の指導が手厚く、授業がわかりやすい（学部別）

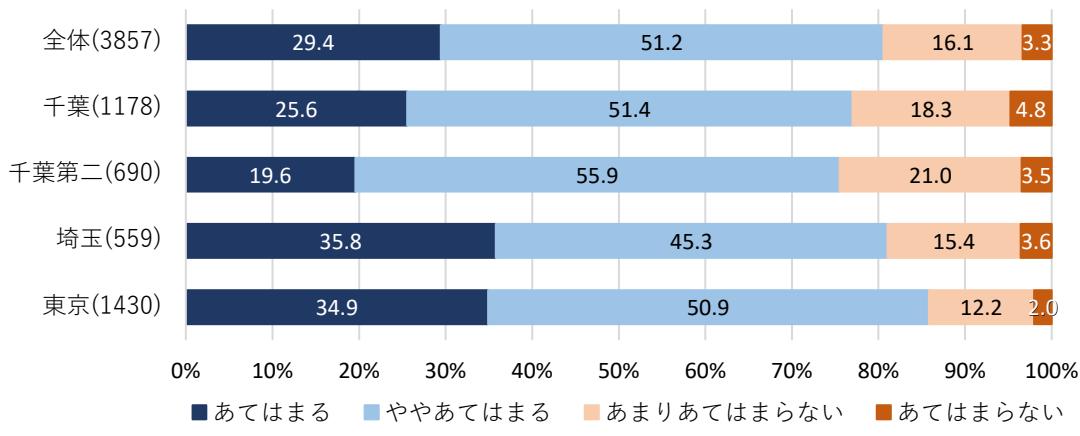


図 8-5 教員の指導が手厚く、授業がわかりやすい（キャンパス別）

3) 「学生と教員の距離が近く、相談しやすい」

強みや良い点、高校生等に薦めたい点として、「学生と教員の距離が近く、相談しやすい」を「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した学生の割合は、大学全体で78.9%であった。前回調査の71.8%から7.1%増加した。

学部別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、教育学部90.9%、人文学部88.6%、経営学部82.2%、コミュニティ政策学部78.0%、地域創生学部76.5%、看護栄養学部76.5%、総合福祉学部67.1%であった。教育学部は前回調査の77.5%から13.4%の大幅増となった。

キャンパス別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、東京キャンパス85.9%、埼玉キャンパス84.8%、千葉第二キャンパス76.5%、千葉キャンパス69.1%であった。

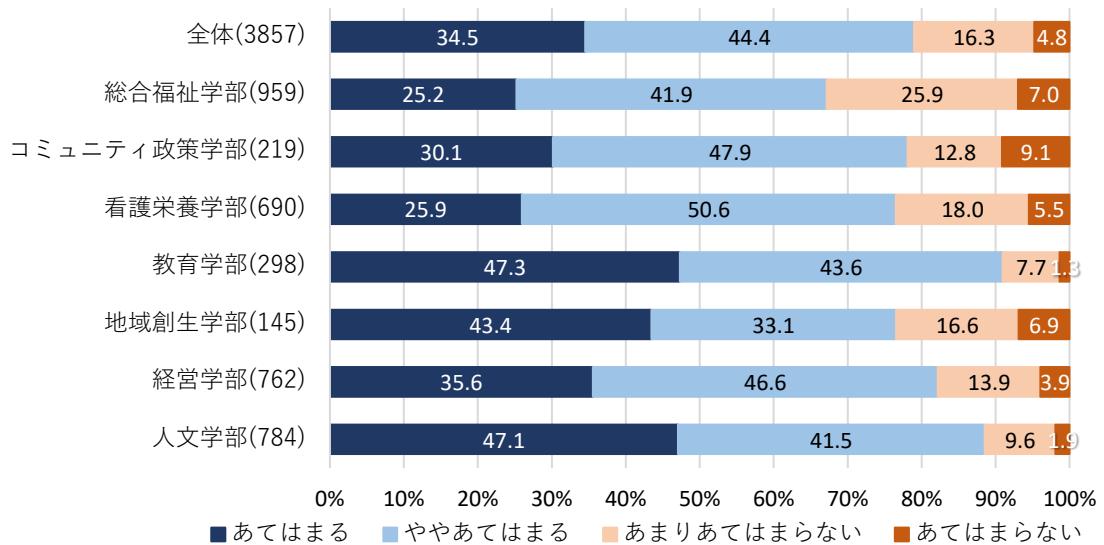


図8-6 学生と教員の距離が近く、相談しやすい（学部別）

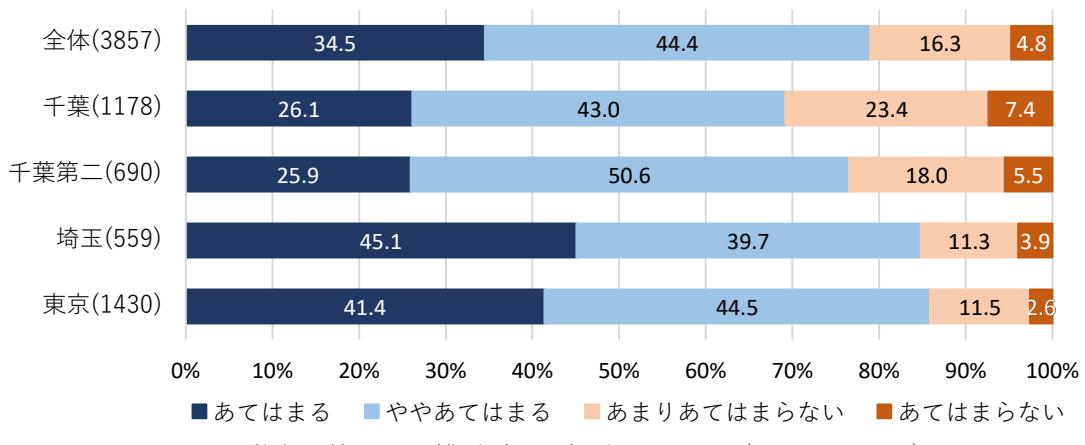


図8-7 学生と教員の距離が近く、相談しやすい（キャンパス別）

4) 「職員が熱心であり親身に関わってくれる」

強みや良い点、高校生等に薦めたい点として、「職員が熱心であり親身に関わってくれる」を「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した学生の割合は、大学全体で 80.0%であった。前回調査の 74.1%から 5.9%増加した。

学部別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、教育学部 91.6%、人文学部 86.0%、経営学部 82.3%、看護栄養学部 77.7%、コミュニティ政策学部 74.9%、地域創生学部 74.5%、総合福祉学部 73.3%であった。どの学部も前回調査より増加したが、とくに教育学部は前回調査の 80.6%から大幅に増加した。

キャンパス別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、埼玉キャンパス 85.0%、東京キャンパス 84.4%、千葉第二キャンパス 77.7%、千葉キャンパス 73.6%であった。

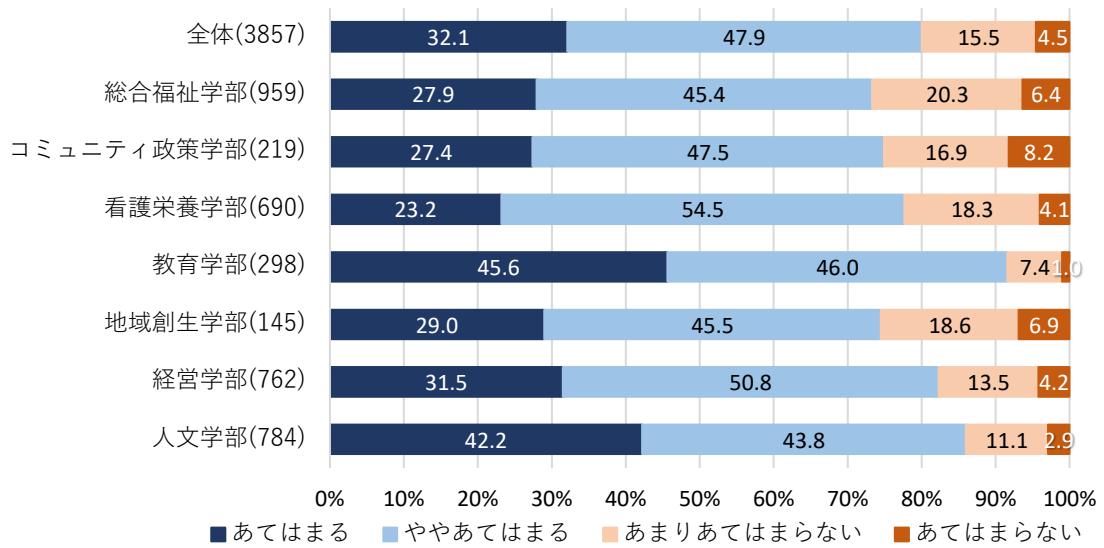


図 8-8 職員が熱心であり親身に関わってくれる (学部別)

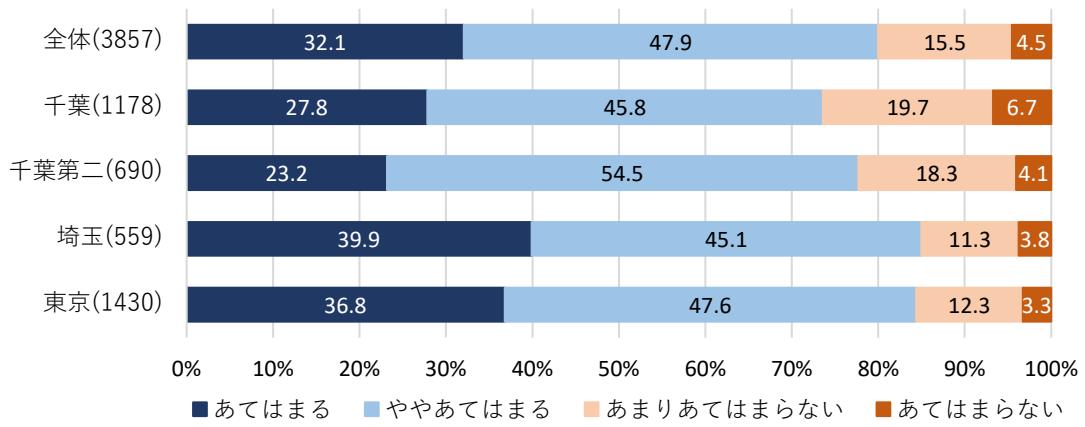


図 8-9 職員が熱心であり親身に関わってくれる (キャンパス別)

5) 「職員の対応が細やかであり、サポートが丁寧である」

強みや良い点、高校生等に薦めたい点として、「職員の対応が細やかであり、サポートが丁寧である」を「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した学生の割合は、大学全体で 81.2% であった。

学部別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、教育学部 93.7%、人文学部 85.6%、経営学部 85.1%、看護栄養学部 77.5%、コミュニティ政策学部 77.1%、総合福祉学部 75.9%、地域創生学部 71.8% であった。どの学部も前回調査より増加した。

キャンパス別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、埼玉キャンパス 86.0%、東京キャンパス 85.4%、千葉第二キャンパス 77.5%、千葉キャンパス 76.2% であった。

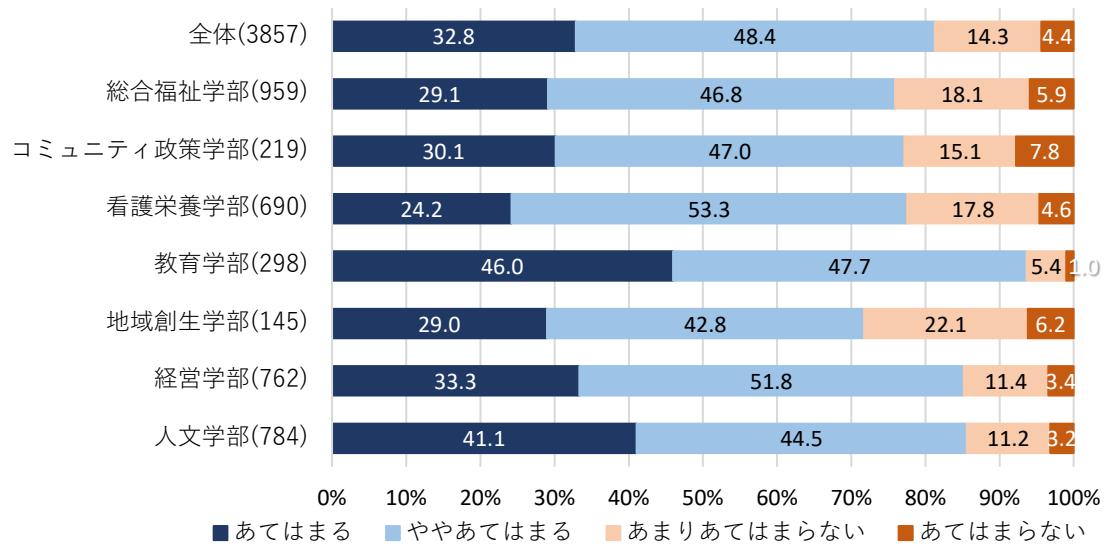


図 8-10 職員の対応が細やかであり、サポートが丁寧である（学部別）

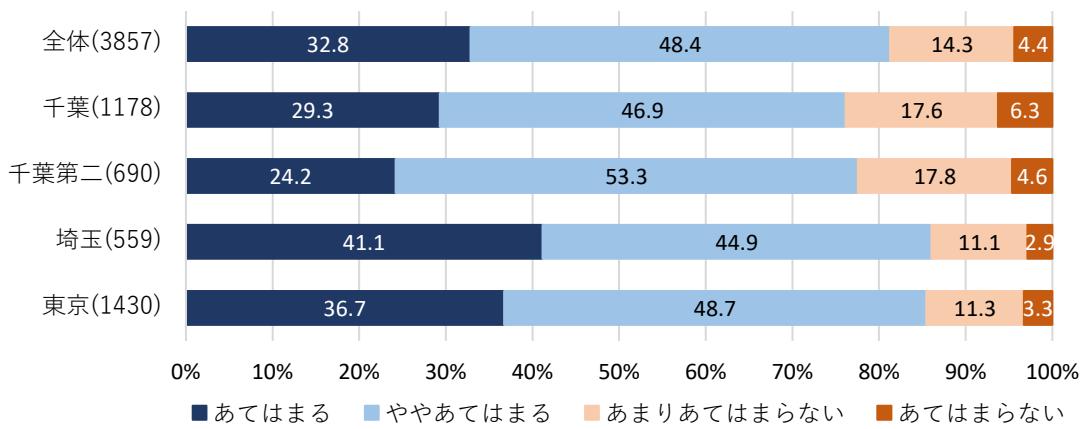


図 8-11 職員の対応が細やかであり、サポートが丁寧である（キャンパス別）

6) 「学生と職員の距離が近く、相談しやすい」

強みや良い点、高校生等に薦めたい点として、「学生と職員の距離が近く、相談しやすい」を「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した学生の割合は、大学全体で 76.0% であった。

学部別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、教育学部 89.2%、人文学部 83.0%、経営学部 81.1%、地域創生学部 75.9%、コミュニティ政策学部 74.9%、看護栄養学部 73.3%、総合福祉学部 64.5% であった。

キャンパス別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、埼玉キャンパス 83.0%、東京キャンパス 82.6%、千葉第二キャンパス 73.3%、千葉キャンパス 66.4% であった。

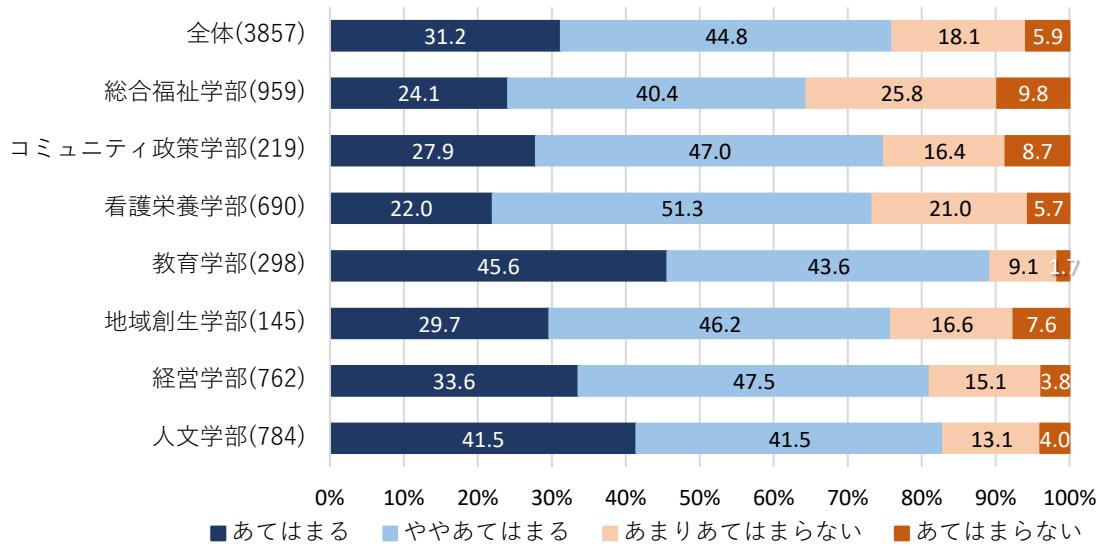


図 8-12 学生と職員の距離が近く、相談しやすい（学部別）

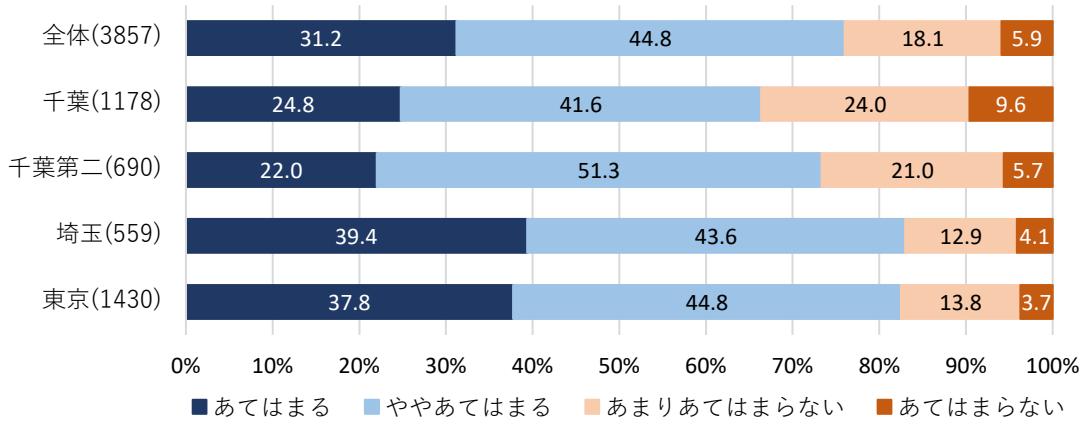


図 8-13 学生と職員の距離が近く、相談しやすい（キャンパス別）

(8)-2. 学習内容・学習環境

「専門的な学習が充実している」が強みと感じる学生 88.4%

7) 「公務員や教員、国家試験等の対策講座等が充実している」

強みや良い点、高校生等に薦めたい点として、「公務員や教員、国家試験等の対策講座等が充実している」を「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した学生の割合は、大学全体で 79.9% であった。

学部別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、教育学部 86.3%、総合福祉学部 84.0%、コミュニティ政策学部 84.0%、看護栄養学部 83.1%、地域創生学部 77.2%、経営学部 76.1%、人文学部 72.3% であった。

キャンパス別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、千葉キャンパス 84.0%、千葉第二キャンパス 83.1%、埼玉キャンパス 80.7%、東京キャンパス 74.5% であった。

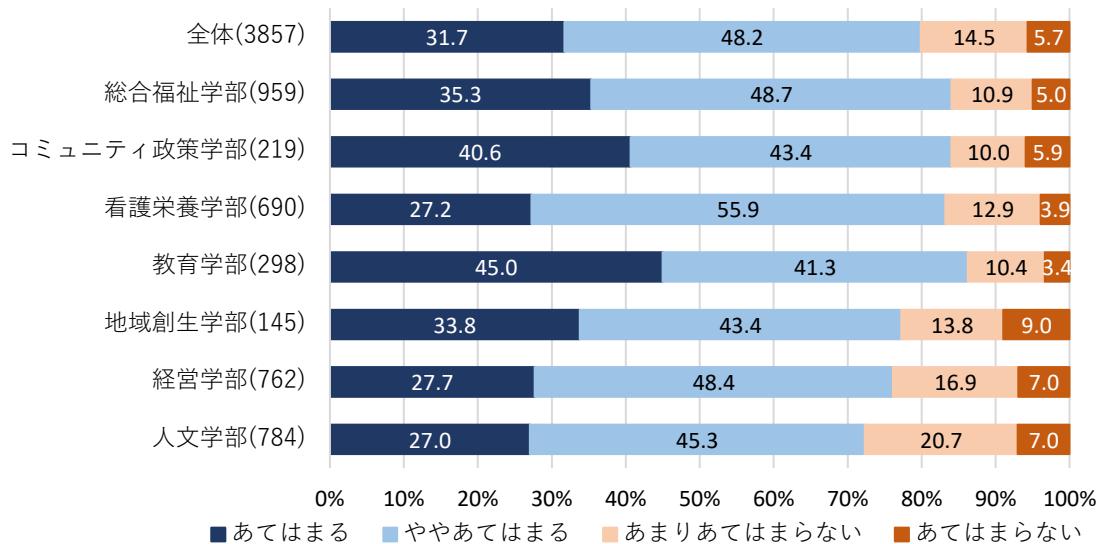


図 8-14 公務員や教員、国家試験等の対策講座等が充実している（学部別）

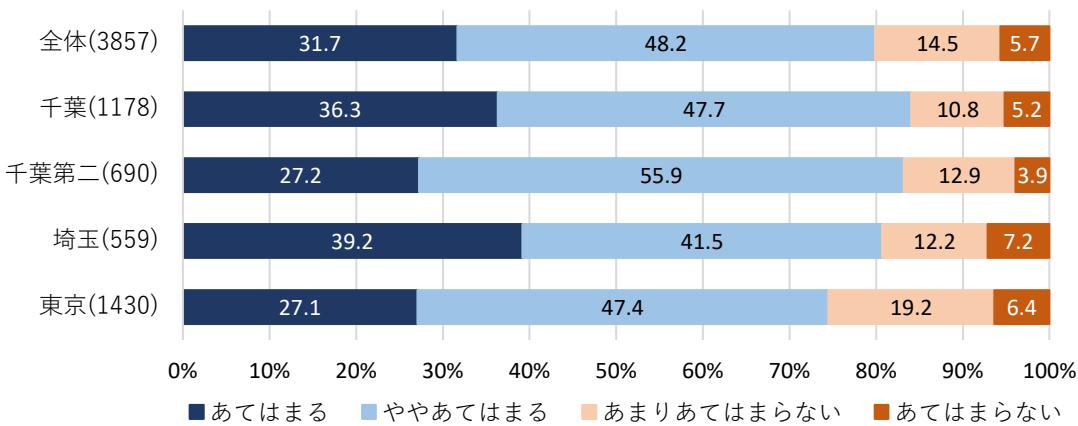


図 8-15 公務員や教員、国家試験等の対策講座等が充実している（キャンパス別）

8) 「教室内での講義だけでなく、実践的な学びができる」

強みや良い点、高校生等に薦めたい点として、「教室内での講義だけでなく、実践的な学びができる」を「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した学生の割合は、大学全体で83.7%であった。

学部別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、教育学部92.3%、地域創生学部86.2%、看護栄養学部84.8%、経営学部83.9%、人文学部83.0%、コミュニティ政策学部80.9%、総合福祉学部80.8%であった。経営学部は前回調査の71.0%から大幅に増加した。

キャンパス別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、埼玉キャンパス87.5%、千葉第二キャンパス84.8%、東京キャンパス84.0%、千葉キャンパス80.8%であった。

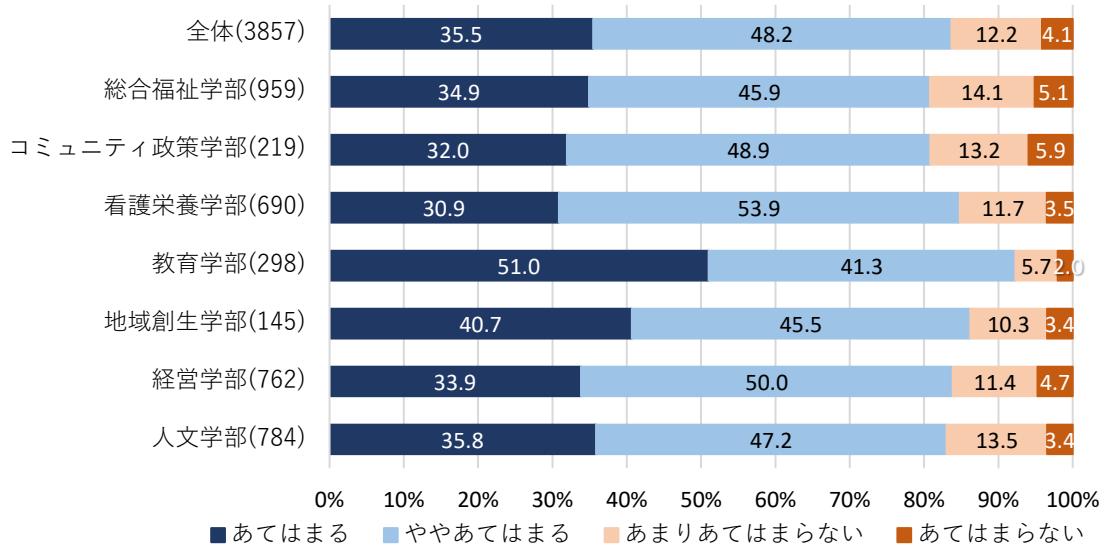


図8-16 教室内での講義だけでなく、実践的な学びができる（学部別）

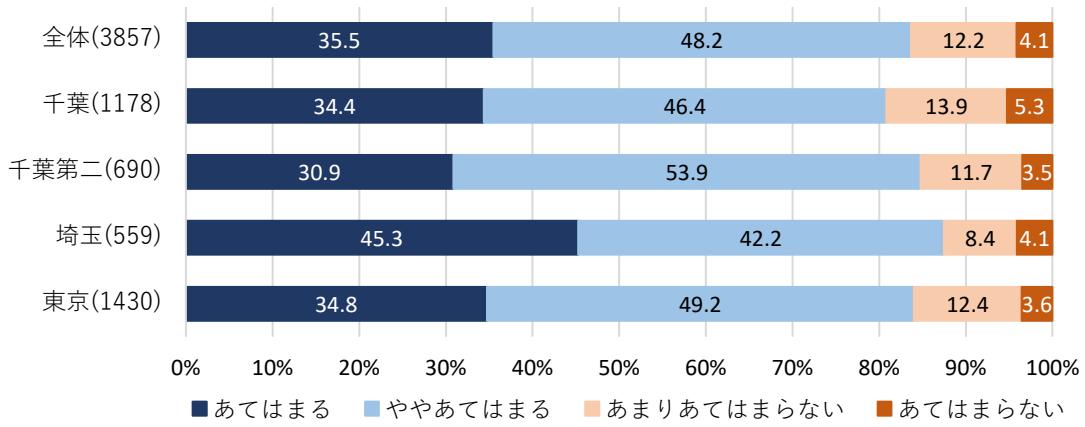


図8-17 教室内での講義だけでなく、実践的な学びができる（キャンパス別）

9) 「専門的な学習が充実している」

強みや良い点、高校生等に薦めたい点として、「専門的な学習が充実している」を「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した学生の割合は、大学全体で88.4%であった。

学部別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、教育学部93.3%、総合福祉学部90.2%、看護栄養学部89.7%、人文学部89.7%、経営学部86.5%、地域創生学部78.6%、コミュニティ政策学部78.5%であった。

キャンパス別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、千葉第二キャンパス89.7%、東京キャンパス88.8%、千葉キャンパス88.1%、埼玉キャンパス86.7%であった。

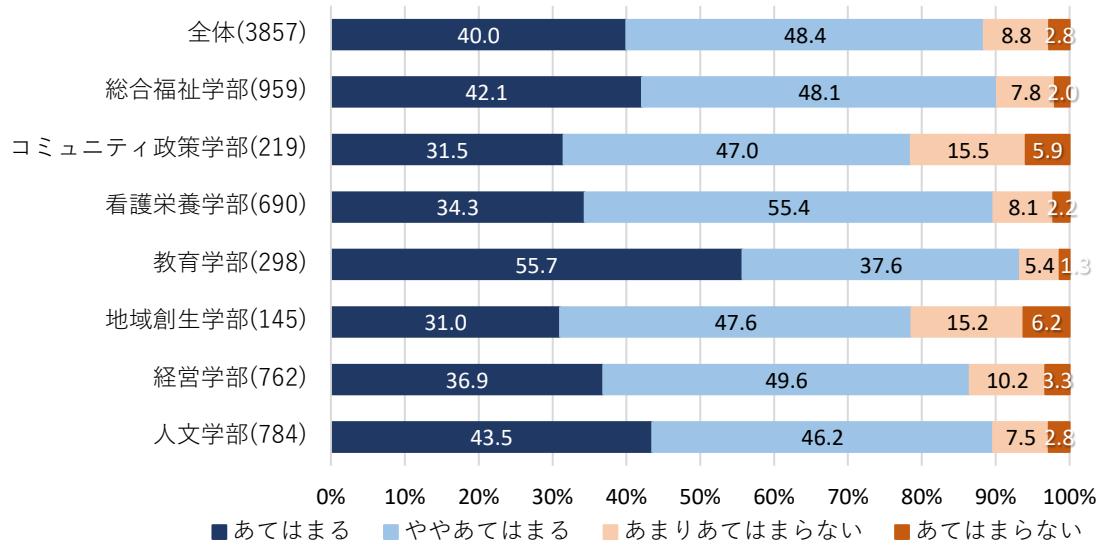


図 8-18 専門的な学習が充実している（学部別）

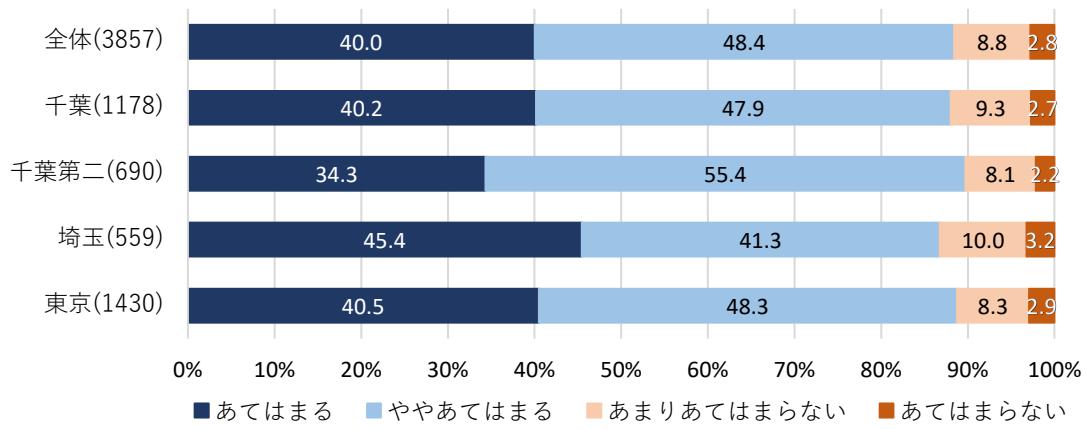


図 8-19 専門的な学習が充実している（キャンパス別）

10) 「アクティブラーニングやグループワークが多い」

強みや良い点、高校生等に薦めたい点として、「アクティブラーニングやグループワークが多い」を「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した学生の割合は、大学全体で 86.5% であった。前回調査の 77.5% から 9.0% 増加した。

学部別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、人文学部 90.8%、経営学部 89.0%、看護栄養学部 88.5%、教育学部 88.2%、地域創生学部 83.4%、総合福祉学部 81.6%、コミュニティ政策学部 77.7% であった。人文学部は前回調査の 79.0% から 11.8% の大幅増となり 9 割に達した。

キャンパス別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、東京キャンパス 90.7%、千葉第二キャンパス 88.5%、埼玉キャンパス 85.5%、千葉キャンパス 80.8% であった。

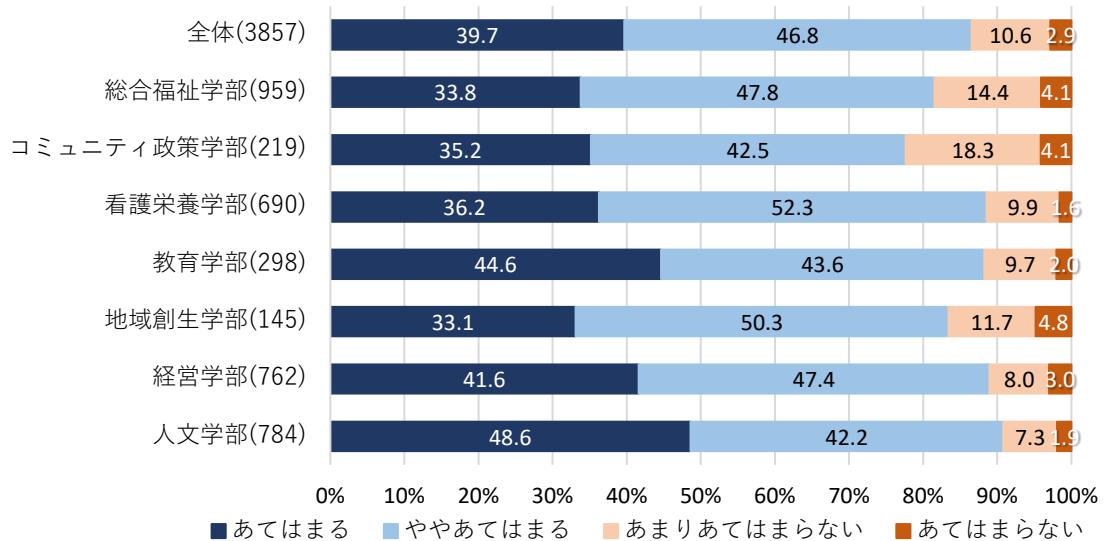


図 8-20 アクティブラーニングやグループワークが多い（学部別）

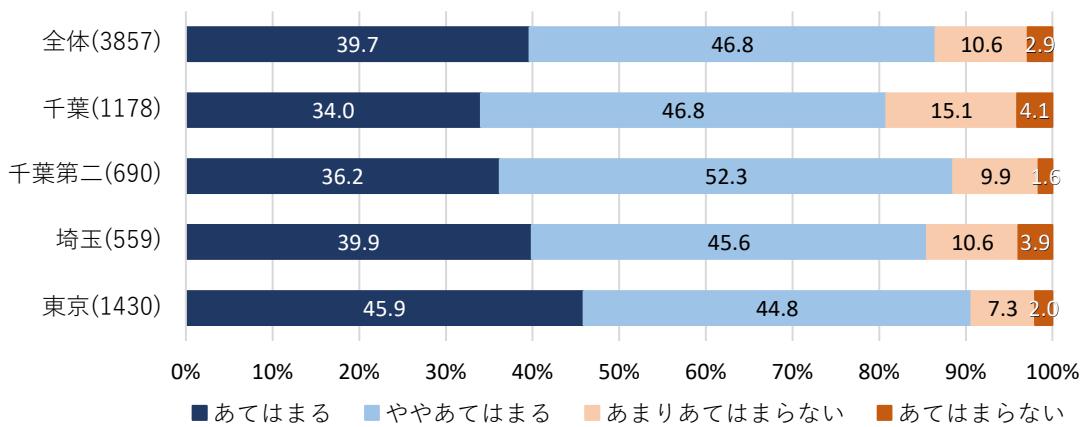


図 8-21 アクティブラーニングやグループワークが多い（キャンパス別）

11) 「正課外授業や学外研修、海外研修等の多種多様な学修プログラムがある」

強みや良い点、高校生等に薦めたい点として、「正課外授業や学外研修、海外研修等の多種多様な学修プログラムがある」を「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した学生の割合は、大学全体で 77.7% であった。

学部別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、教育学部 90.2%、経営学部 85.9%、コミュニティ政策学部 80.0%、総合福祉学部 76.8%、人文学部 74.9%、地域創生学部 73.8%、看護栄養学部 67.8% であった。

キャンパス別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、埼玉キャンパス 84.8%、東京キャンパス 80.0%、千葉キャンパス 77.4%、千葉第二キャンパス 67.8% であった。

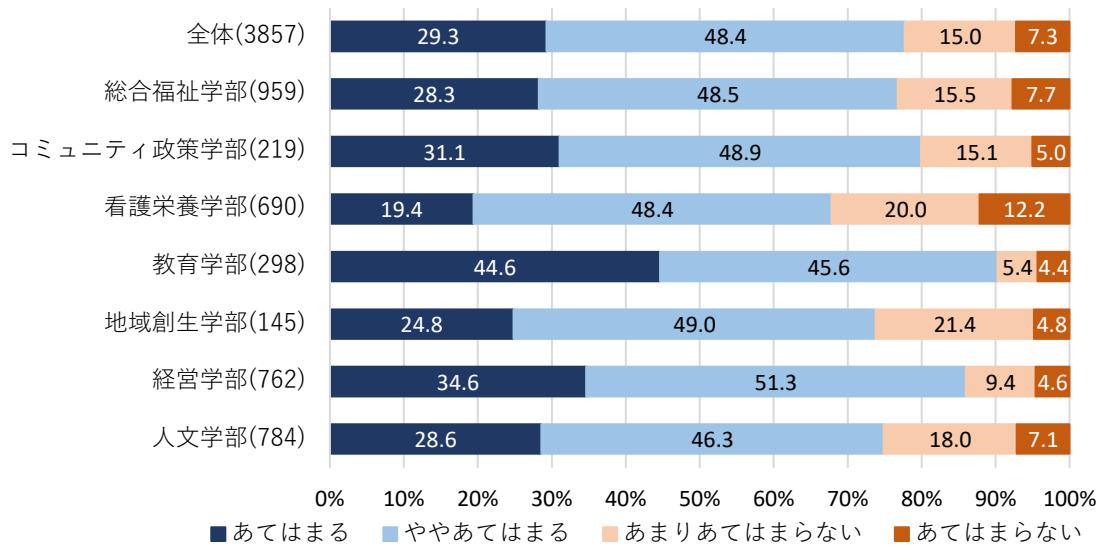


図 8-22 正課外授業や学外研修、海外研修等の多種多様な学修プログラムがある（学部別）

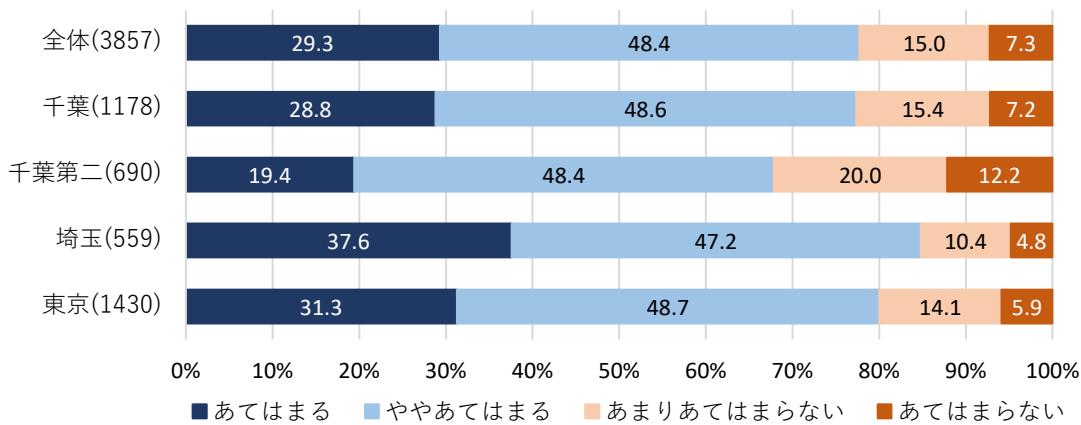


図 8-23 正課外授業や学外研修、海外研修等の多種多様な学修プログラムがある（キャンパス別）

12) 「障がいがある学生も学びやすい環境である」

強みや良い点、高校生等に薦めたい点として、「障がいがある学生も学びやすい環境である」を「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した学生の割合は、大学全体で 76.8% であった。

学部別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、総合福祉学部 87.9%、コミュニティ政策学部 83.1%、経営学部 76.1%、人文学部 74.7%、教育学部 71.8%、看護栄養学部 69.5%、地域創生学部 53.8% であった。地域創生学部では「あてはまる」側の回答と「あてはまらない」側の回答がほぼ半々となった。

キャンパス別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、千葉キャンパス 87.0%、東京キャンパス 76.2%、千葉第二キャンパス 69.5%、埼玉キャンパス 66.0% であった。

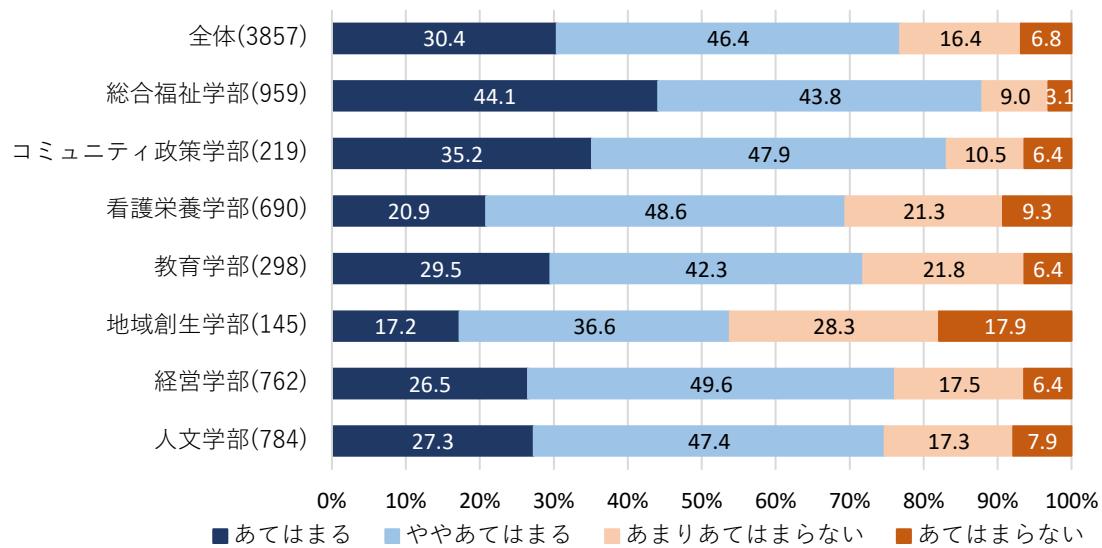


図 8-24 障がいがある学生も学びやすい環境である（学部別）

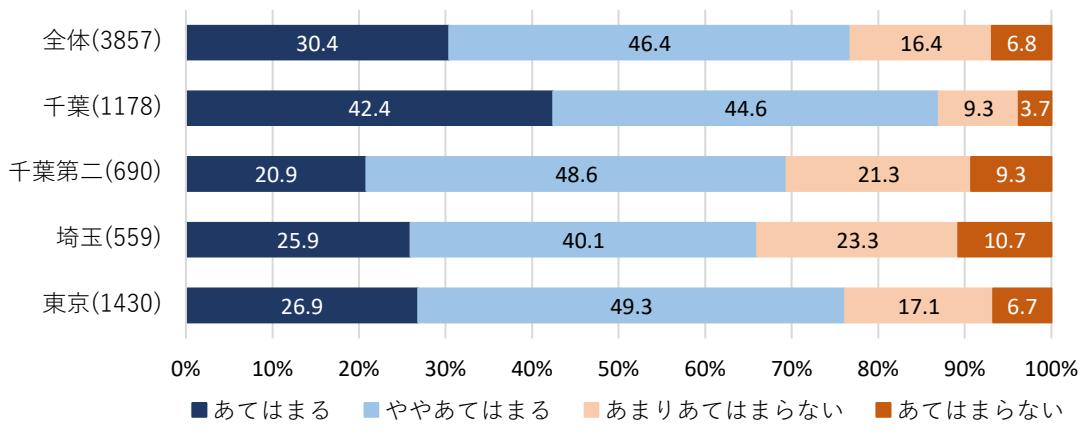


図 8-25 障がいがある学生も学びやすい環境である（キャンパス別）

(8)-3. 学生・友人・サークル

「多くの学生が親切、優しい、温かい」が強みと感じる学生 89.2%

13) 「多くの学生が親切、優しい、温かい」

強みや良い点、高校生等に薦めたい点として、「多くの学生が親切、優しい、温かい」を「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した学生の割合は、大学全体で 89.2% であった。

学部別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、教育学部 95.3%、看護栄養学部 90.3%、人文学部 89.6%、経営学部 89.1%、総合福祉学部 88.7%、地域創生学部 85.5%、コミュニティ政策学部 82.1% であった。

キャンパス別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、埼玉キャンパス 90.5%、千葉第二キャンパス 90.3%、東京キャンパス 89.7%、千葉キャンパス 87.5% であった。

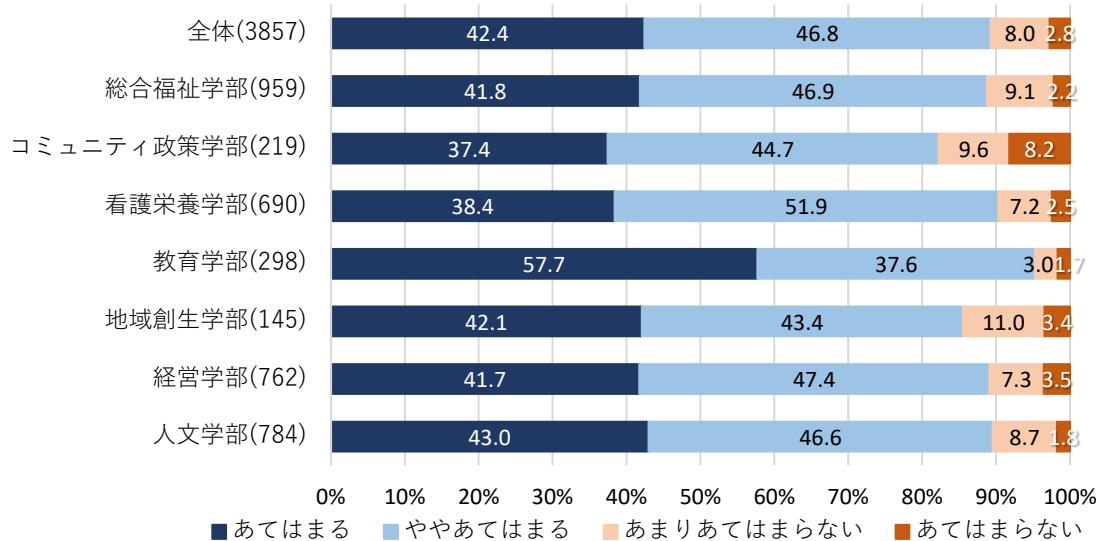


図 8-26 多くの学生が親切、優しい、温かい（学部別）

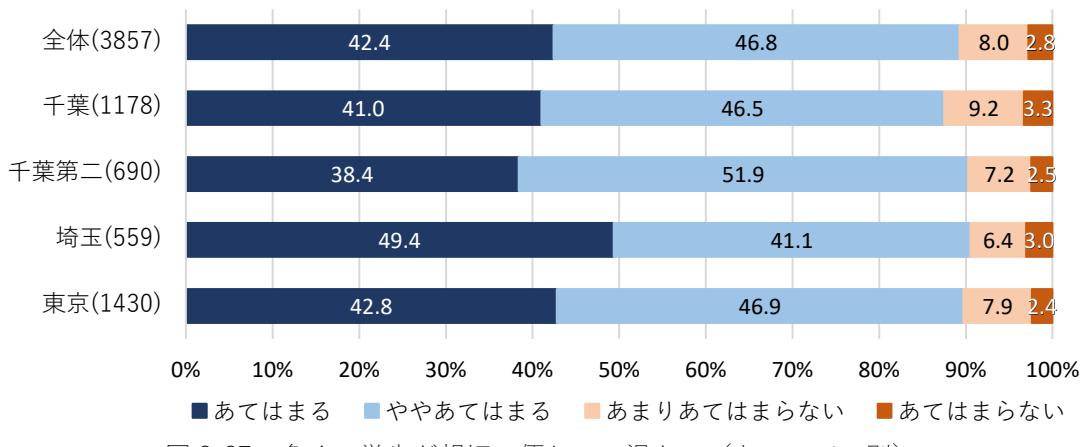


図 8-27 多くの学生が親切、優しい、温かい（キャンパス別）

14) 「仲間や友人から得られる学びが大きい」

強みや良い点、高校生等に薦めたい点として、「仲間や友人から得られる学びが大きい」を「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した学生の割合は、大学全体で89.0%であった。

学部別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、教育学部93.6%、人文学部90.5%、地域創生学部90.3%、看護栄養学部89.4%、経営学部88.3%、総合福祉学部87.5%、コミュニティ政策学部84.4%であった。教育学部は「あてはまる」だけで56.4%に達した。

キャンパス別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、埼玉キャンパス91.2%、東京キャンパス89.7%、千葉第二キャンパス89.4%、千葉キャンパス87.0%であった。

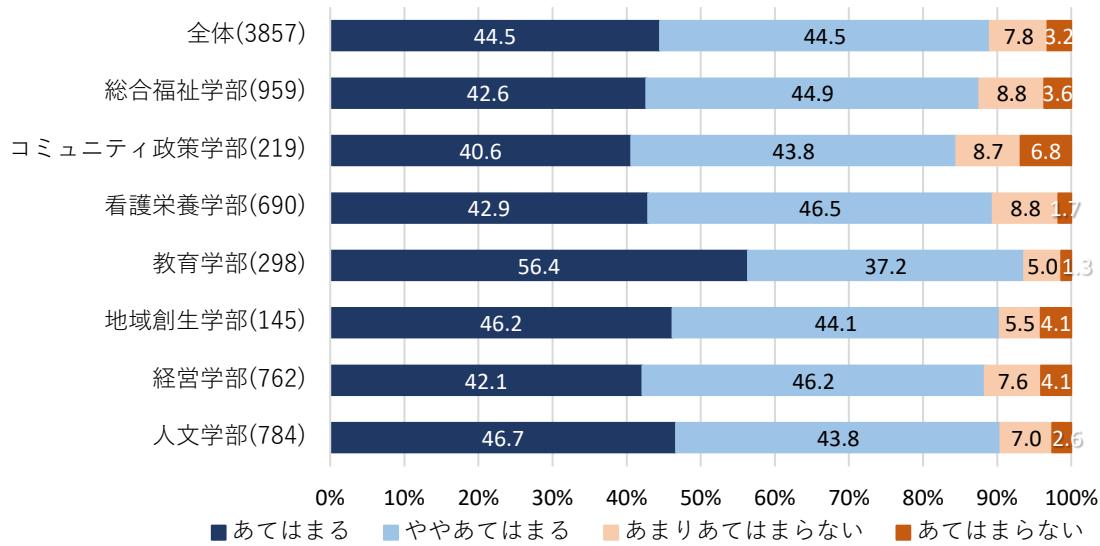


図8-28 仲間や友人から得られる学びが大きい（学部別）

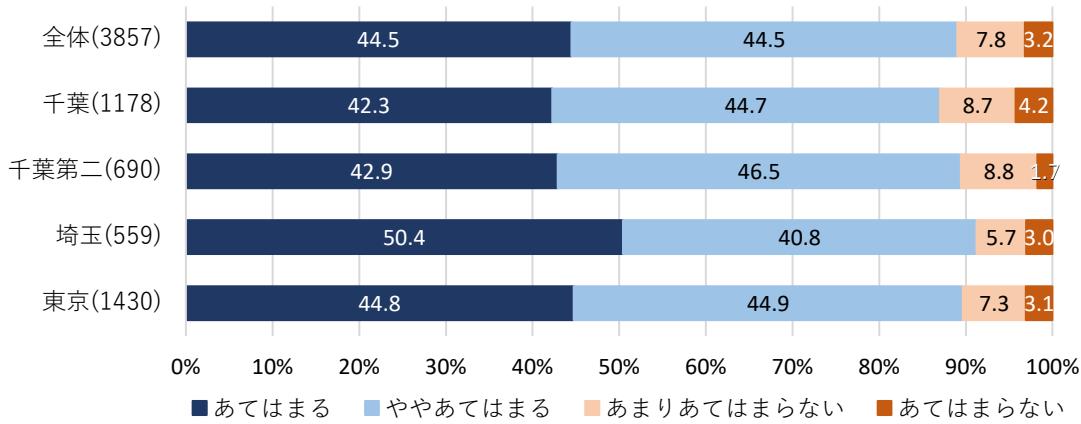


図8-29 仲間や友人から得られる学びが大きい（キャンパス別）

15) 「サークルが充実している」

強みや良い点、高校生等に薦めたい点として、「サークルが充実している」を「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した学生の割合は、大学全体で62.3%であった。

学部別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、教育学部76.5%、コミュニティ政策学部71.7%、人文学部70.6%、総合福祉学部69.8%、地域創生学部64.1%、経営学部55.2%、看護栄養学部41.0%であった。学部の差が大きく現れた。

キャンパス別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、千葉キャンパス70.1%、埼玉キャンパス68.5%、東京キャンパス63.8%、千葉第二キャンパス41.0%であった。

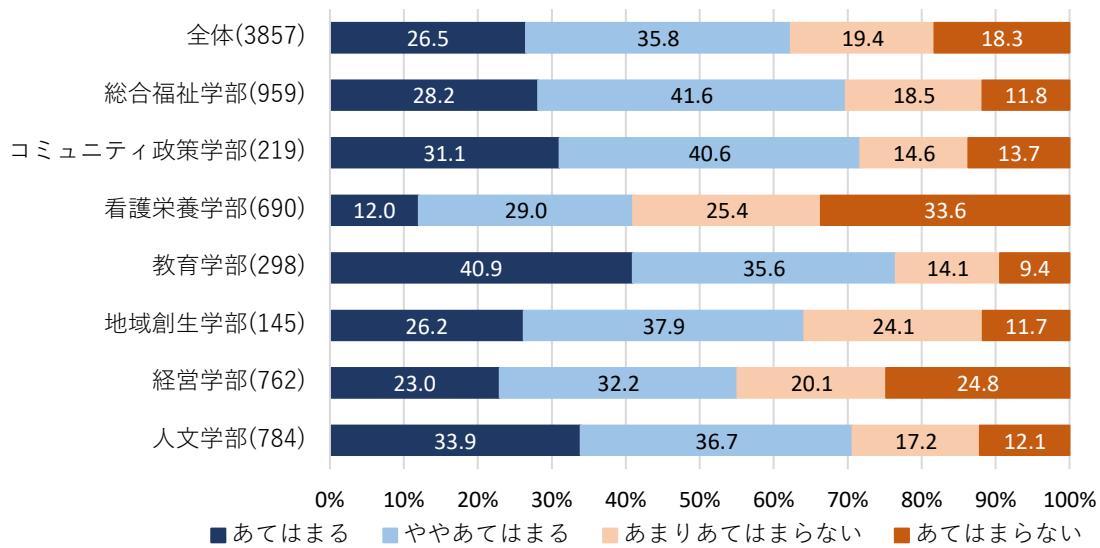


図8-30 サークルが充実している（学部別）

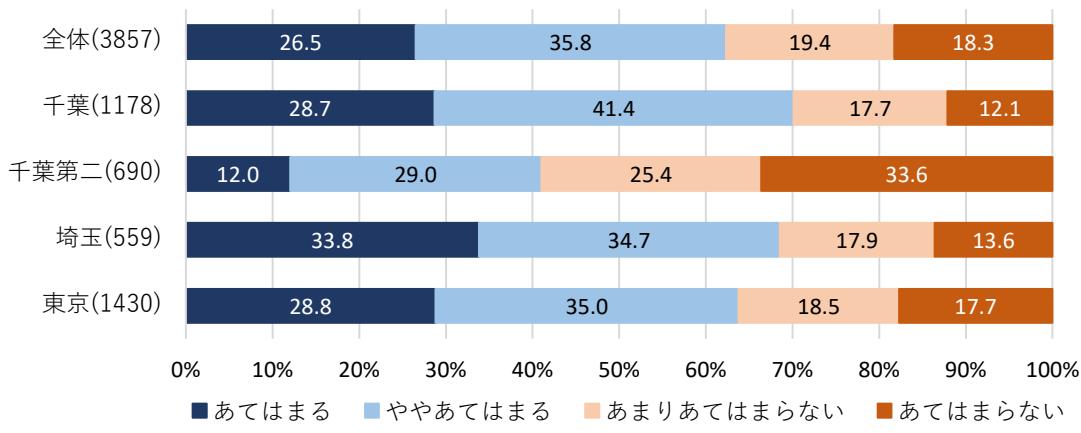


図8-31 サークルが充実している（キャンパス別）

(8)-4. キャンパス・雰囲気・建学の精神

「学食がおいしい」は 81.7%

16) 「キャンパスが広すぎず利用しやすい」

強みや良い点、高校生等に薦めたい点として、「キャンパスが広すぎず利用しやすい」を「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した学生の割合は、大学全体で 77.7% であった。

学部別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、総合福祉学部 86.4%、コミュニティ政策学部 85.4%、教育学部 84.6%、看護栄養学部 79.9%、地域創生学部 75.9%、経営学部 73.1%、人文学部 64.9% であった。

キャンパス別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、千葉キャンパス 86.2%、埼玉キャンパス 81.0%、千葉第二キャンパス 79.9%、東京キャンパス 68.2% であった。東京キャンパスでは 31.8% の学生が「あてはまらない」側を回答した。

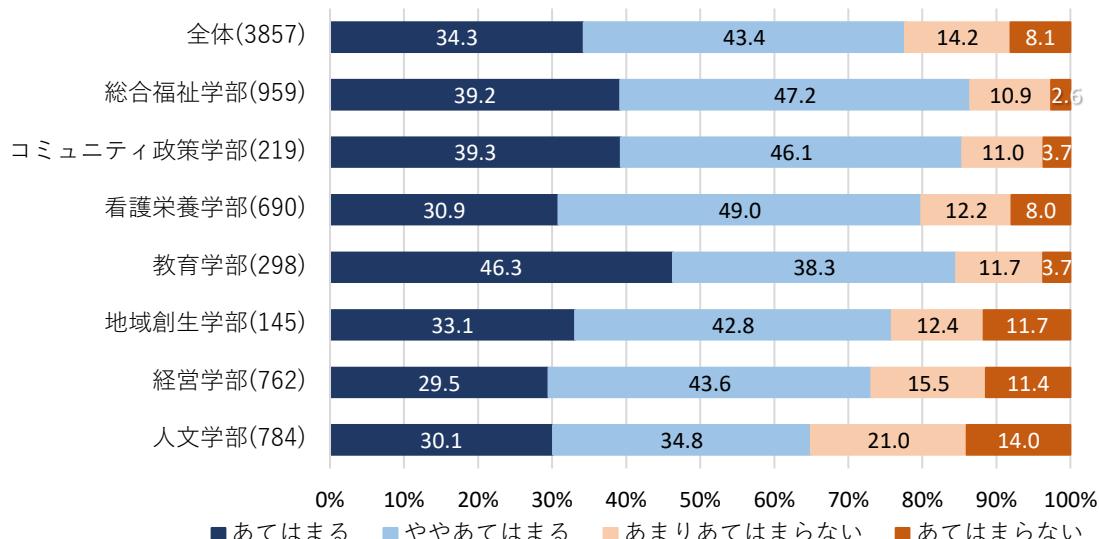


図 8-32 キャンパスが広すぎず利用しやすい（学部別）

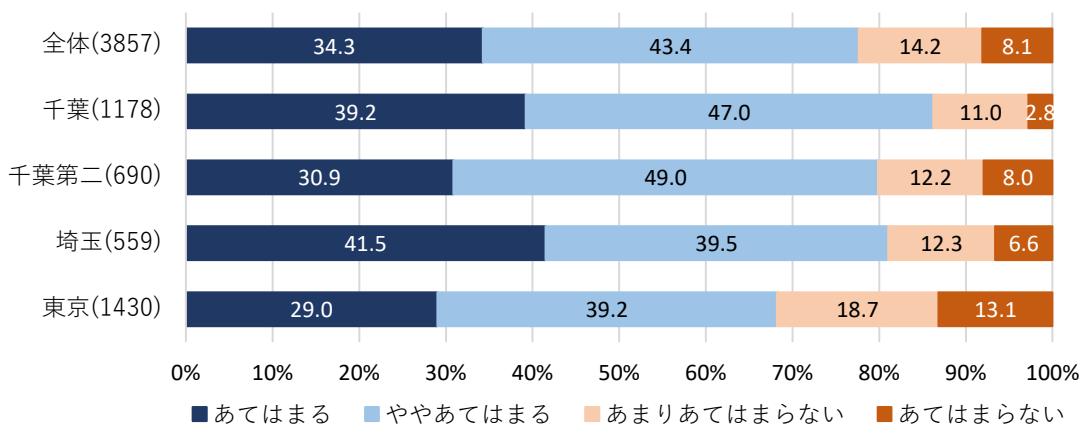


図 8-33 キャンパスが広すぎず利用しやすい（キャンパス別）

17) 「学食が安い」

強みや良い点、高校生等に薦めたい点として、「学食が安い」を「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した学生の割合は、大学全体で 56.0% であった。

前回調査では「学食が安くおいしい」という設問であったが、今回調査では「安い」と「おいしい」を分割した。

学部別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、コミュニティ政策学部 65.3%、総合福祉学部 63.3%、人文学部 61.1%、経営学部 60.5%、看護栄養学部 43.8%、地域創生学部 40.7%、教育学部 35.5% であった。

キャンパス別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、千葉キャンパス 63.7%、東京キャンパス 61.9%、千葉第二キャンパス 43.8%、埼玉キャンパス 39.3% であった。千葉第二キャンパスと埼玉キャンパスでは安いと思わない側の回答が優勢であった。

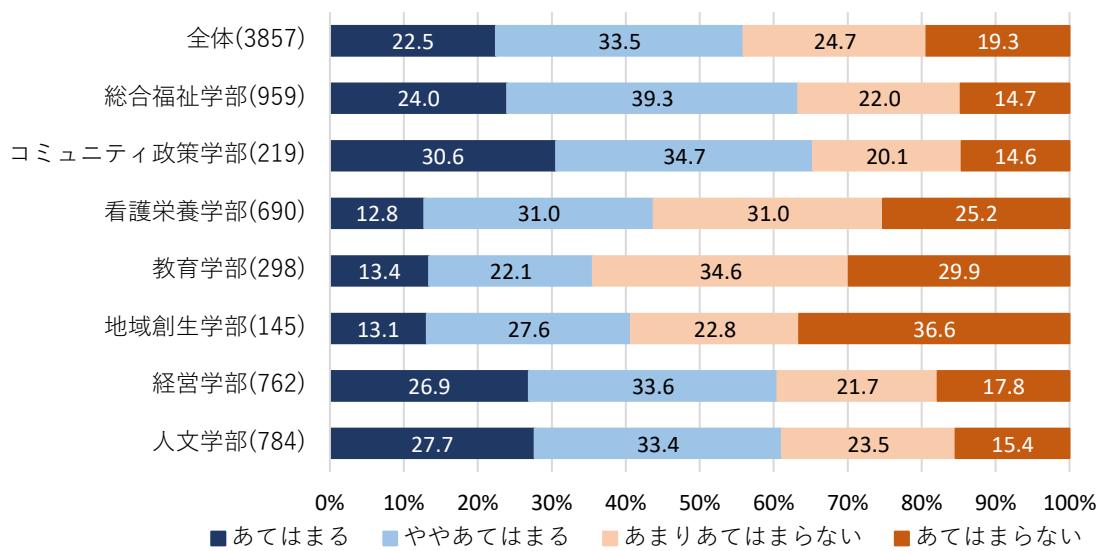


図 8-34 学食が安い（学部別）

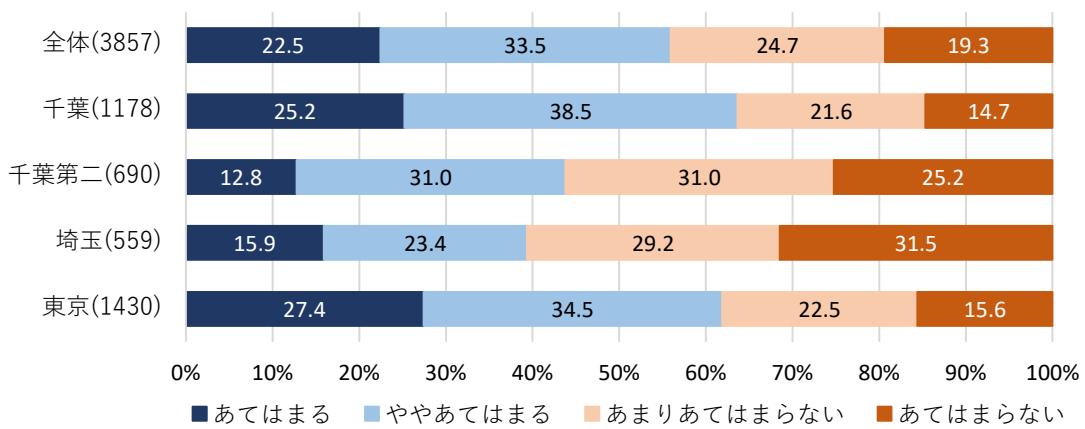


図 8-35 学食が安い（キャンパス別）

18) 「学食がおいしい」

強みや良い点、高校生等に薦めたい点として、「学食がおいしい」を「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した学生の割合は、大学全体で81.7%であった。

学部別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、人文学部84.2%、総合福祉学部83.4%、コミュニティ政策学部82.6%、経営学部82.1%、看護栄養学部81.2%、教育学部80.5%、地域創生学部60.7%であった。地域創生学部のみ他の学部と回答傾向が大きく異なった。

キャンパス別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、東京キャンパス84.5%、千葉キャンパス83.2%、千葉第二キャンパス81.2%、埼玉キャンパス72.4%であった。

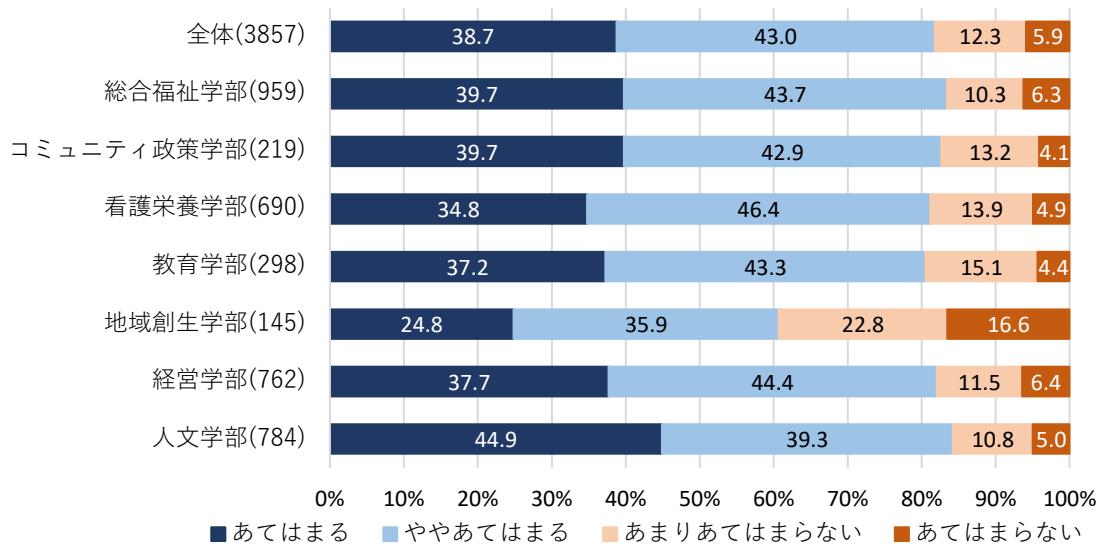


図 8-36 学食がおいしい（学部別）

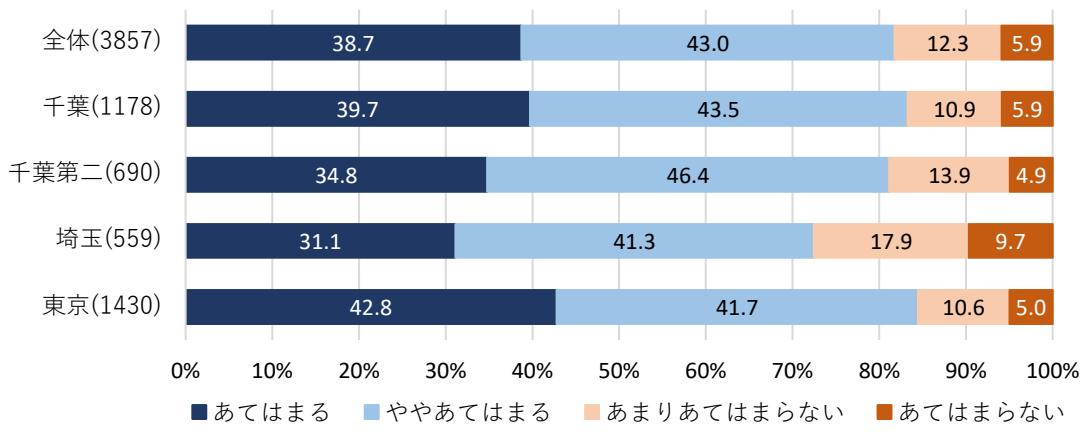


図 8-37 学食がおいしい（キャンパス別）

19) 「校舎や施設が綺麗、清潔、清掃が行き届いている」

強みや良い点、高校生等に薦めたい点として、「校舎や施設が綺麗、清潔、清掃が行き届いている」を「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した学生の割合は、大学全体で 89.9% であった。

学部別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、看護栄養学部 93.9%、人文学部 93.5%、経営学部 89.9%、総合福祉学部 87.8%、コミュニティ政策学部 87.7%、教育学部 84.6%、地域創生学部 78.6% であった。

キャンパス別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、千葉第二キャンパス 93.9%、東京キャンパス 92.7%、千葉キャンパス 87.8%、埼玉キャンパス 81.9% であった。

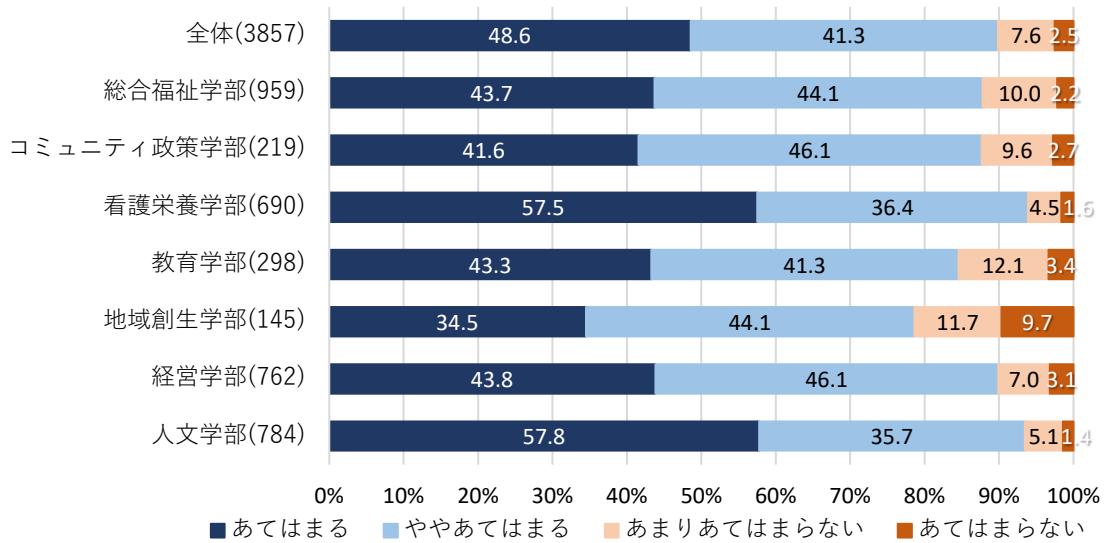


図 8-38 校舎や施設が綺麗、清潔、清掃が行き届いている（学部別）

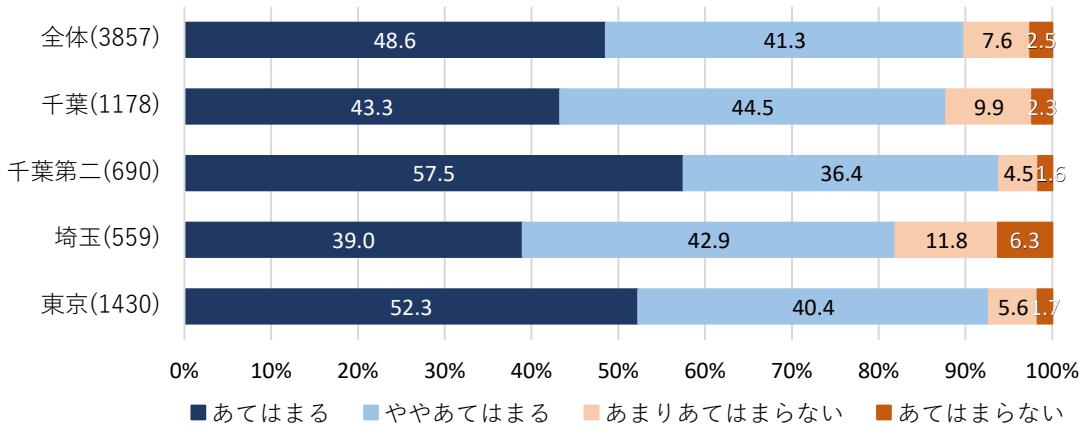


図 8-39 校舎や施設が綺麗、清潔、清掃が行き届いている（キャンパス別）

20) 「リラックスできる空間が多い」

強みや良い点、高校生等に薦めたい点として、「リラックスできる空間が多い」を「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した学生の割合は、大学全体で 74.3% であった。

学部別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、人文学部 78.5%、経営学部 78.1%、看護栄養学部 76.1%、教育学部 75.1%、コミュニティ政策学部 69.5%、総合福祉学部 68.6%、地域創生学部 67.6% であった。

キャンパス別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、東京キャンパス 78.9%、千葉第二キャンパス 76.1%、埼玉キャンパス 72.5%、千葉キャンパス 68.7% であった。

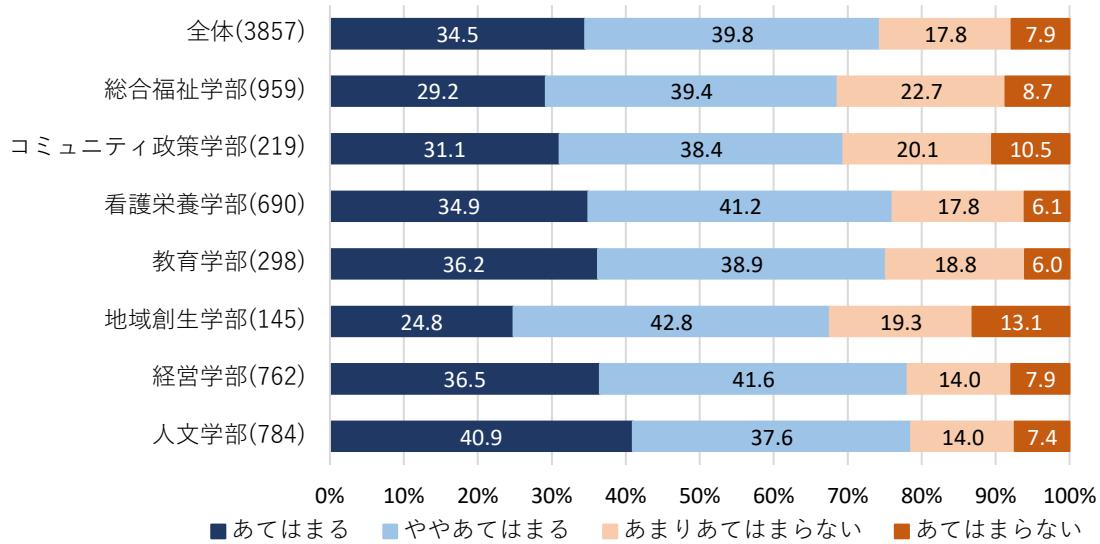


図 8-40 リラックスできる空間が多い（学部別）

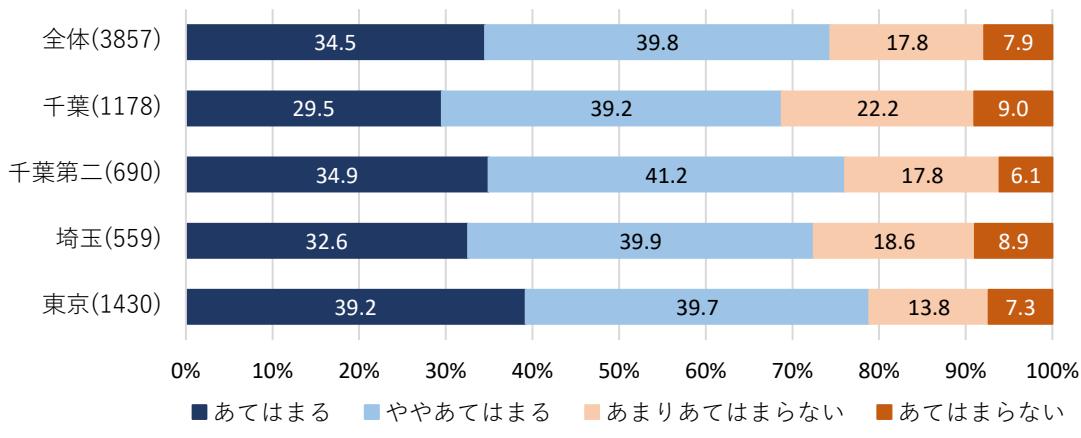


図 8-41 リラックスできる空間が多い（キャンパス別）

21) 「建学の精神「利他共生」にもとづいた教育が実践されている」

強みや良い点、高校生等に薦めたい点として、「建学の精神『利他共生』にもとづいた教育が実践されている」を「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した学生の割合は、大学全体で86.9%であった。

学部別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、教育学部90.7%、看護栄養学部89.0%、経営学部87.8%、総合福祉学部87.0%、人文学部86.5%、コミュニティ政策学部83.1%、地域創生学部71.0%であった。

キャンパス別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、千葉第二キャンパス89.0%、東京キャンパス87.6%、千葉キャンパス86.3%、埼玉キャンパス83.5%であった。

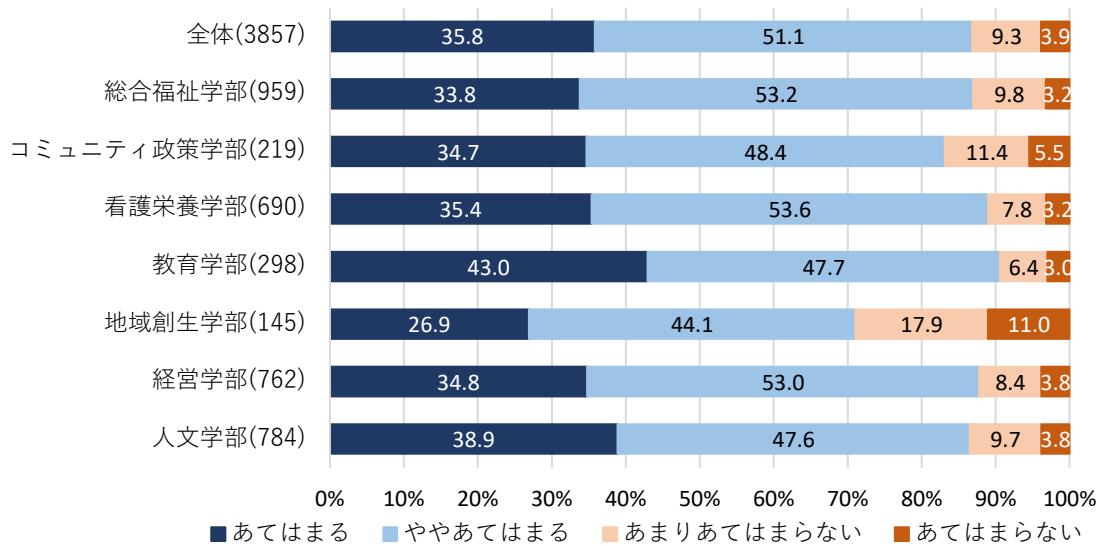


図 8-42 建学の精神「利他共生」にもとづいた教育が実践されている（学部別）

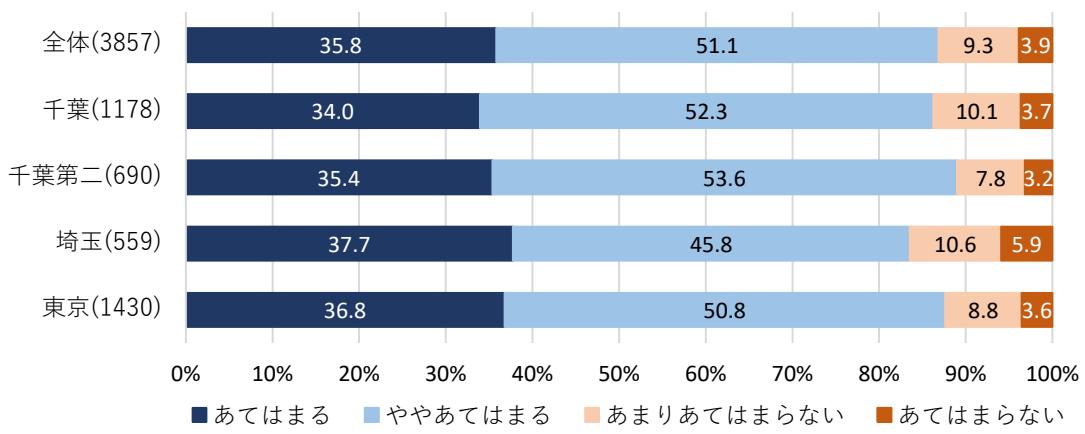


図 8-43 建学の精神「利他共生」にもとづいた教育が実践されている（キャンパス別）

22) 「建学の精神「利他共生」を理解できた」

強みや良い点、高校生等に薦めたい点として、「建学の精神『利他共生』を理解できた」を「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した学生の割合は、大学全体で 86.4% であった。

学部別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、看護栄養学部 88.4%、教育学部 87.9%、総合福祉学部 86.8%、経営学部 86.7%、人文学部 86.4%、コミュニティ政策学部 84.5%、地域創生学部 73.7% であった。

キャンパス別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、千葉第二キャンパス 88.4%、東京キャンパス 86.9%、千葉キャンパス 86.4%、埼玉キャンパス 83.0% であった。

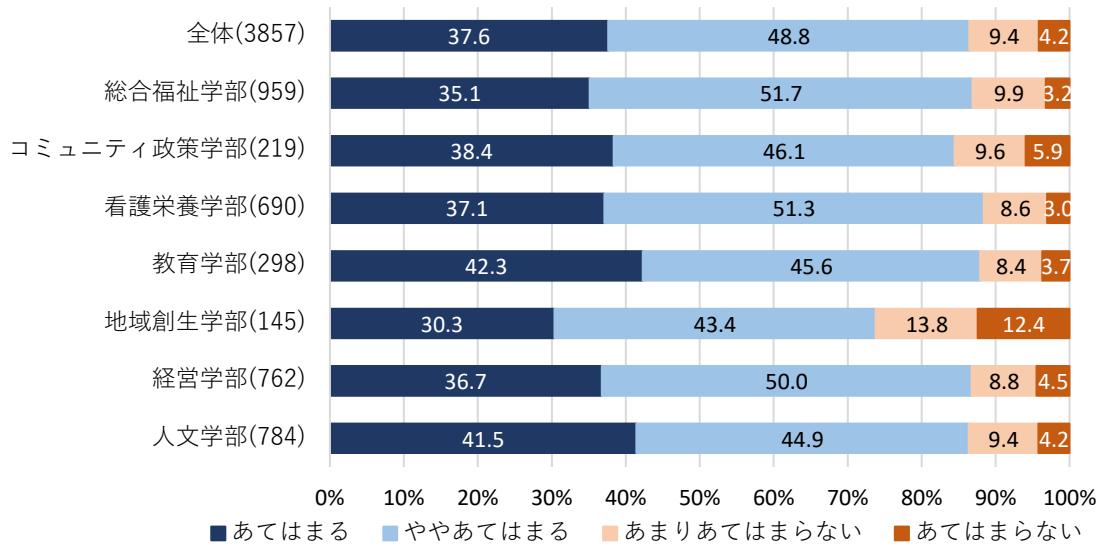


図 8-44 建学の精神「利他共生」を理解できた（学部別）

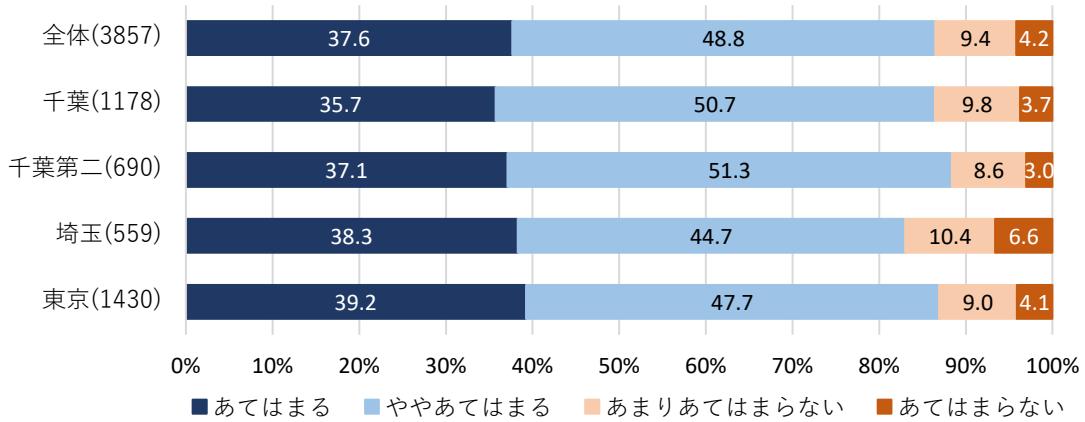


図 8-45 建学の精神「利他共生」を理解できた（キャンパス別）

23) 「学内全体がアットホームな雰囲気である」

強みや良い点、高校生等に薦めたい点として、「学内全体がアットホームな雰囲気である」を「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した学生の割合は、大学全体で82.0%であった。

学部別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、人文学部86.7%、教育学部86.6%、経営学部83.0%、看護栄養学部82.0%、コミュニティ政策学部80.8%、総合福祉学部77.1%、地域創生学部76.6%であった。学部による差は小さい。

キャンパス別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、東京キャンパス85.7%、千葉第二キャンパス82.0%、埼玉キャンパス81.7%、千葉キャンパス77.8%であった。

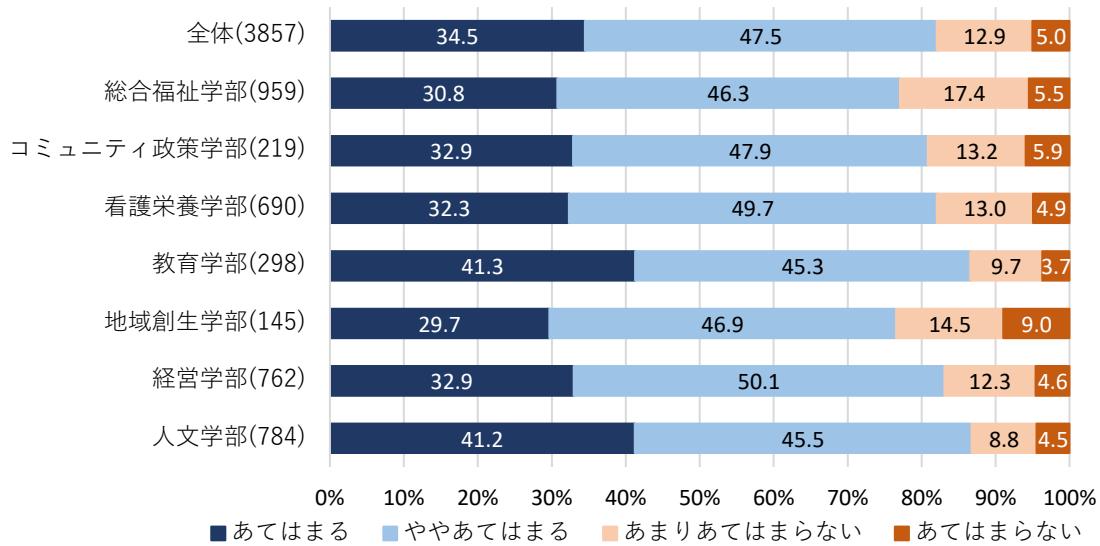


図8-46 学内全体がアットホームな雰囲気である（学部別）

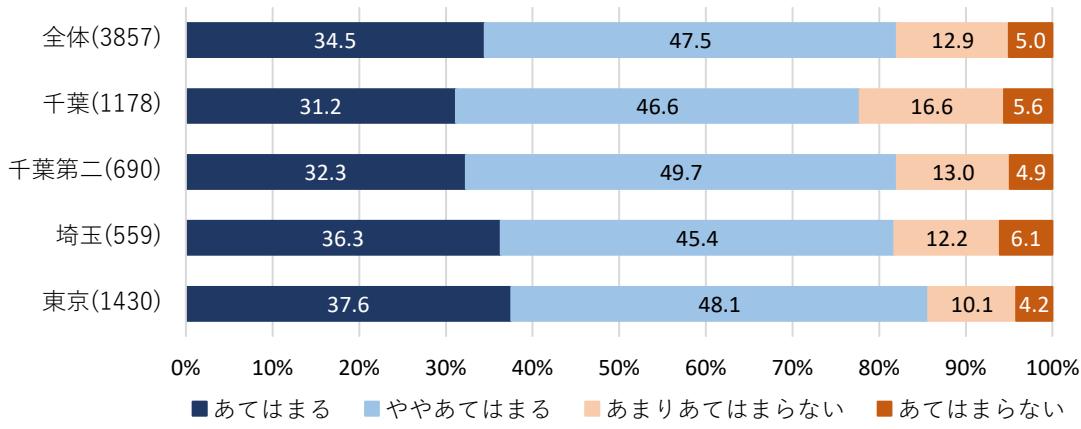


図8-47 学内全体がアットホームな雰囲気である（キャンパス別）

24) 「ボランティアの募集等の情報が充実している」

強みや良い点、高校生等に薦めたい点として、「ボランティアの募集等の情報が充実している」を「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した学生の割合は、大学全体で 87.2% であった。

学部別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、総合福祉学部 92.2%、教育学部 92.0%、人文学部 88.1%、看護栄養学部 87.4%、コミュニティ政策学部 87.3%、経営学部 81.3%、地域創生学部 69.0% であった。

キャンパス別にみると、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答の割合は、高い順に、千葉キャンパス 91.3%、千葉第二キャンパス 87.4%、東京キャンパス 85.7%、埼玉キャンパス 82.1% であった。

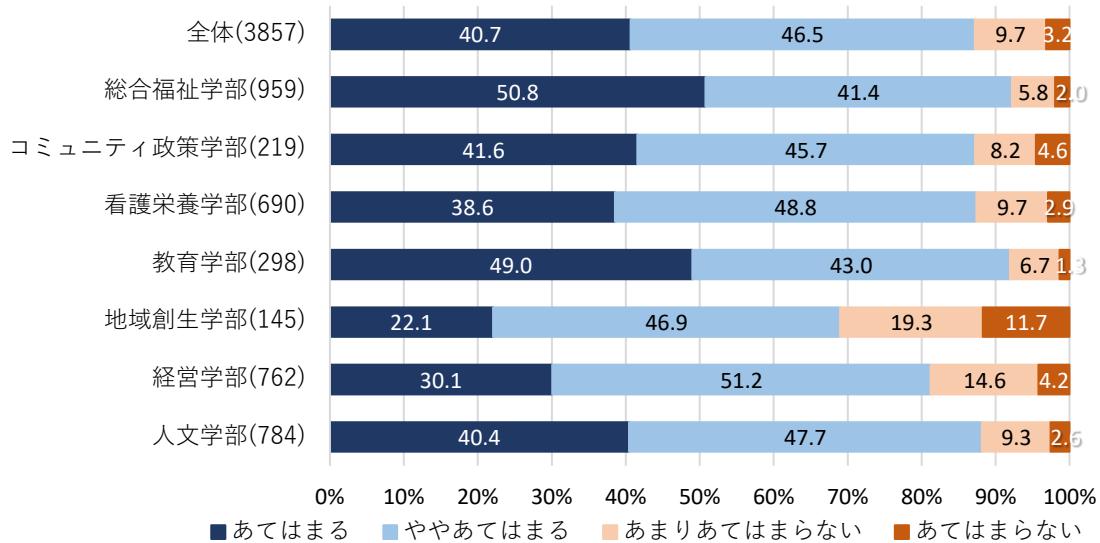


図 8-48 ボランティアの募集等の情報が充実している（学部別）

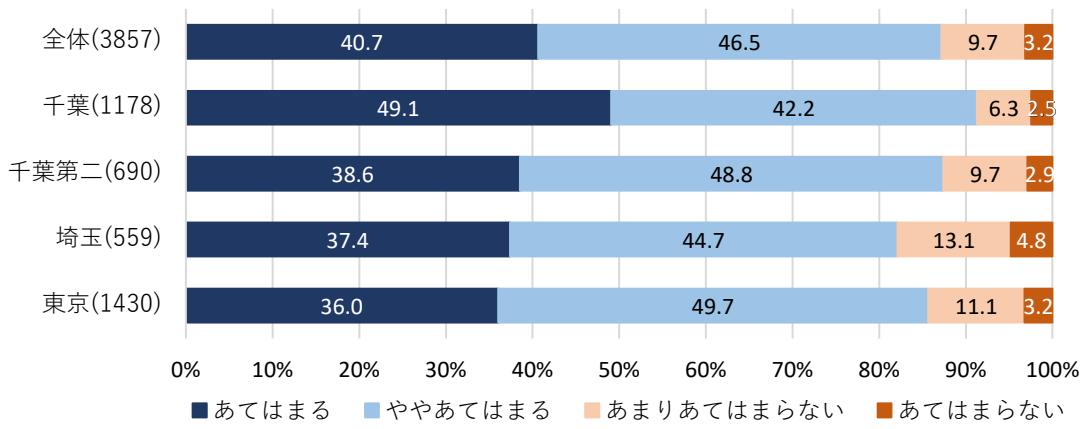


図 8-49 ボランティアの募集等の情報が充実している（キャンパス別）

(9) 淑徳大学、学生生活の総合満足度

淑徳大学の総合満足度は 81.6%

1) 淑徳大学満足度

「あなたは全体的に、淑徳大学をどう評価していますか」という問い合わせに対し、「満足」もしくは「やや満足」と回答した学生の割合は、大学全体では 81.6% であった。

学部別では、教育学部 91.3%、総合福祉学部 85.4%、人文学部 83.8%、経営学部 81.6%、コミュニティ政策学部 80.8%、看護栄養学部 73.5%、地域創生学部 63.4% であった。

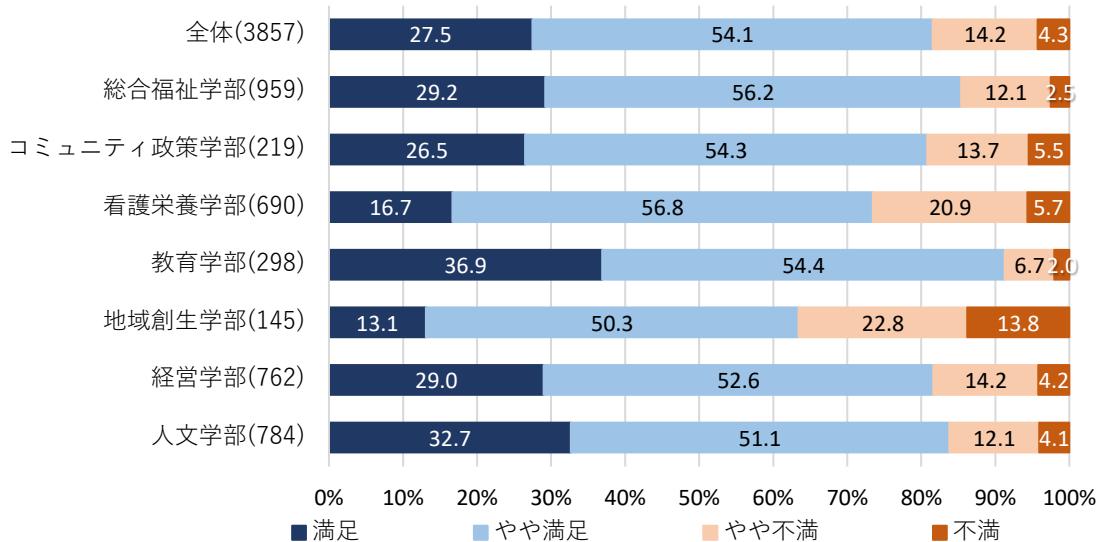


図 9-1 淑徳大学満足度（学部別）

キャンパス別では、千葉キャンパス 84.6%、千葉第二キャンパス 73.5%、埼玉キャンパス 81.4%、東京キャンパス 83.0% であった。

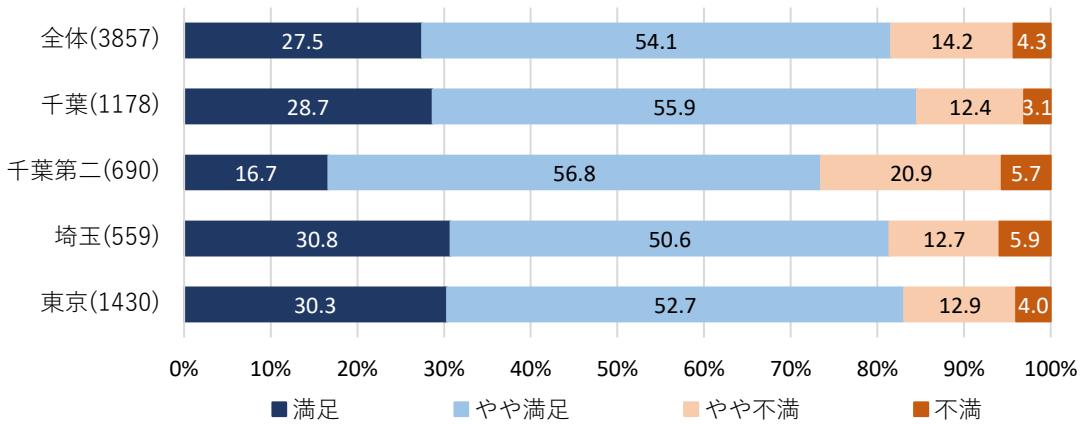


図 9-2 淑徳大学満足度（キャンパス別）

なお、「やや不満」もしくは「不満」と回答した学生の割合は、大学全体では 18.4%、学部では、総合福祉学部 14.6%、コミュニティ政策学部 19.2%、看護栄養学部 26.5%、教育学部 8.7%、地域創生学部 36.6%、経営学部 18.4%、人文学部 16.2%、キャンパスでは、千葉キャンパス 15.4%、千葉第二キャンパス 26.5%、埼玉キャンパス 18.6%、東京キャンパス 17.0% である。

年次別の満足度割合をみると、「満足」もしくは「やや満足」と回答した学生の割合は、1年次88.5%、2年次79.7%、3年次74.9%、4年次82.7%である。満足度評価は、1年次でもっとも高く、2年次、3年次と徐々に下がるが、4年次になるとまた高くなる。

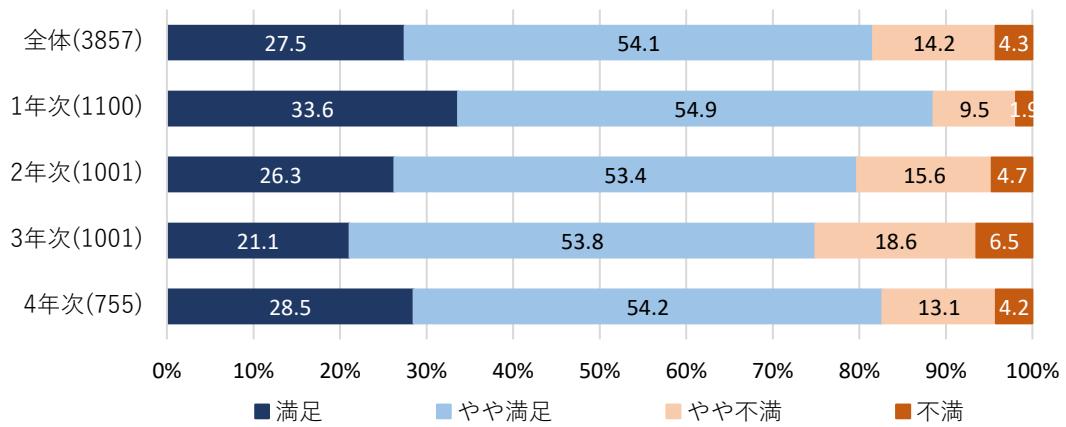


図 9-3 淑徳大学満足度（年次別）

前回調査と比較すると、「満足」「やや満足」という回答の割合は、大学全体で前回調査81.3%、今回調査81.6%で0.3%の微増であった。学部ごとにみると、総合福祉学部1.2%減、コミュニティ政策学部2.2%増、看護栄養学部3.2%減、教育学部5.8%増、地域創生学部は前回調査時未開設、経営学部7.2%増、人文学部2.0%増であった。教育学部、経営学部、人文学部では「満足」の回答割合が増加した。

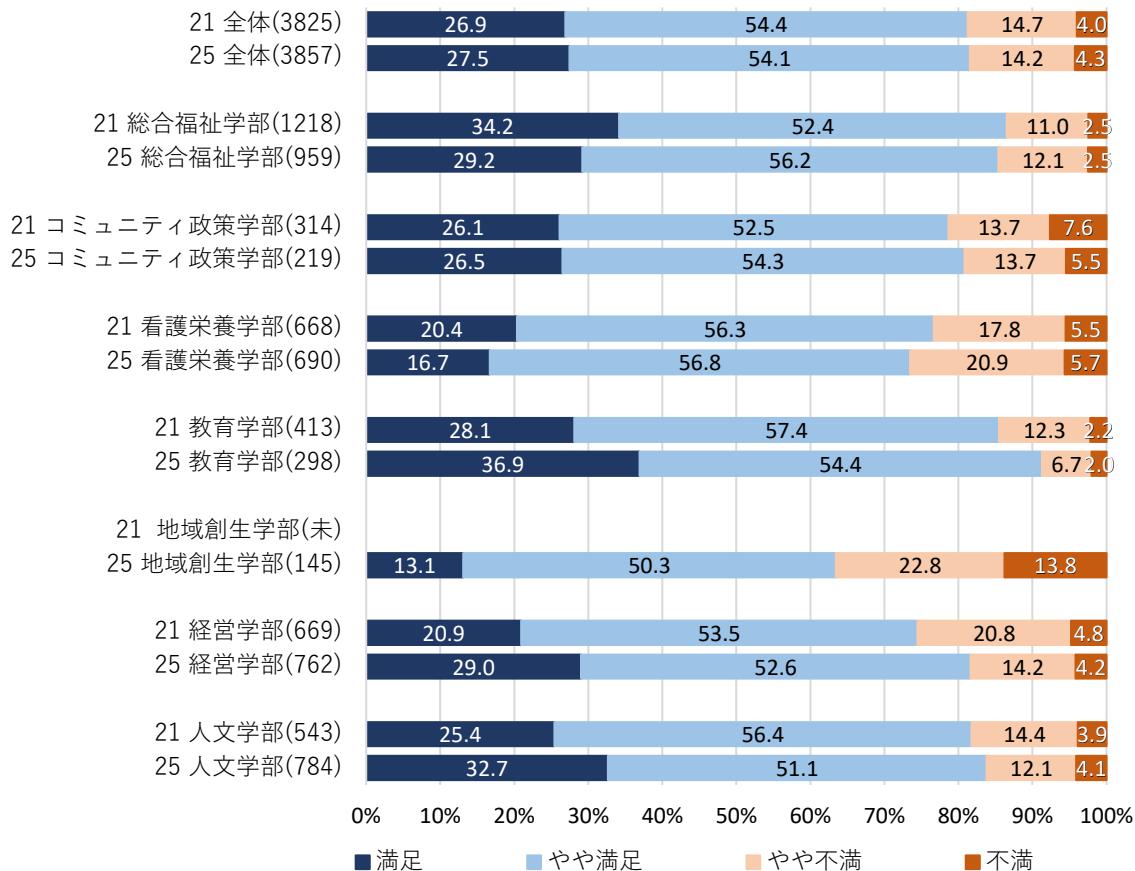


図 9-4 淑徳大学満足度（学部別・前回調査との比較）

2) 学生生活満足度

「あなたは全体的に、自分の学生生活をどう評価していますか」という問い合わせに対し、「満足」もしくは「やや満足」と回答した学生の割合は、大学全体では78.8%である。

学部別にみると、「満足」「やや満足」という回答は、割合が高い順に、教育学部87.9%、人文学部79.7%、経営学部79.3%、総合福祉学部79.2%、コミュニティ政策学部76.7%、看護栄養学部75.5%、地域創生学部67.6%である。地域創生学部以外の学部では7割を超える学生が「満足」「やや満足」と回答している。

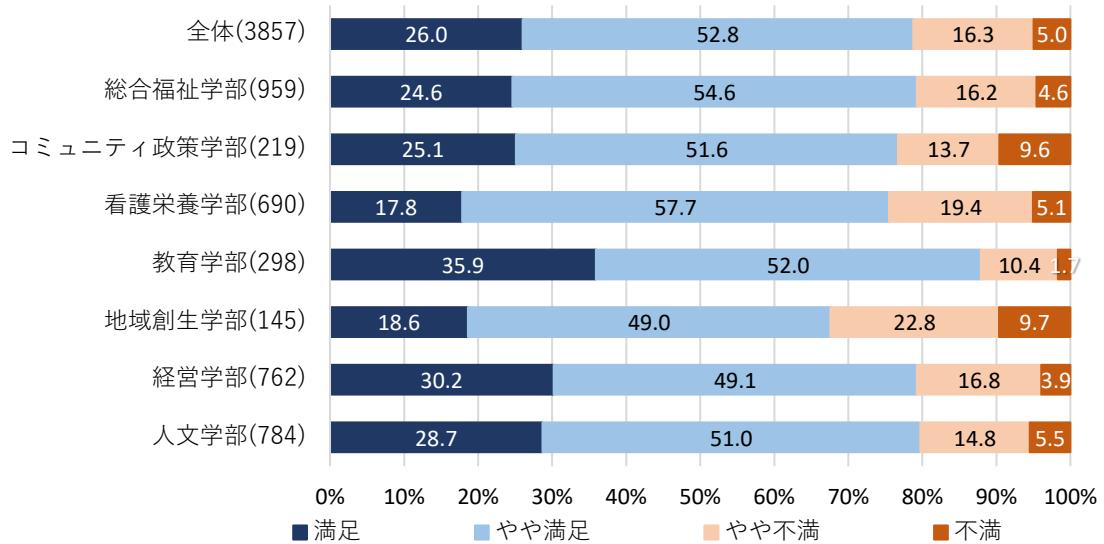


図9-5 学生生活満足度（学部別）

キャンパス別では、千葉キャンパス78.8%、千葉第二キャンパス75.5%、埼玉キャンパス80.8%、東京キャンパス79.5%であった。

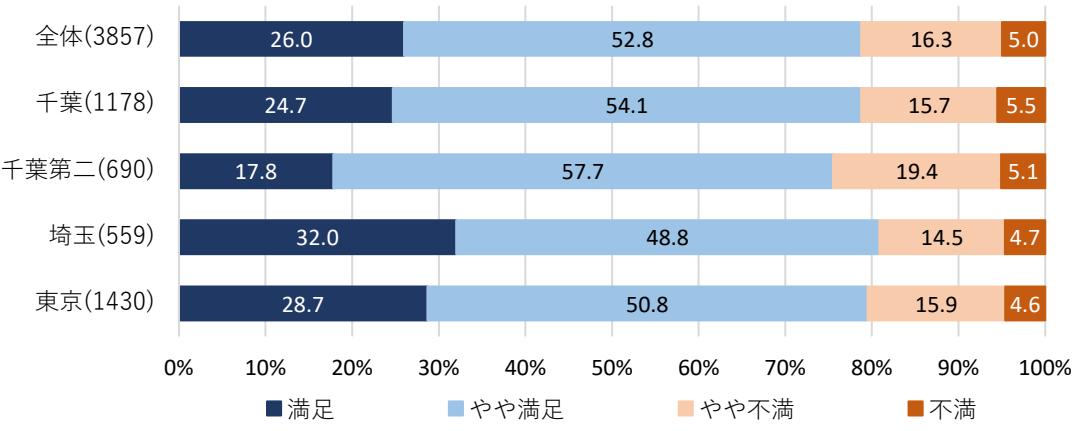


図9-6 学生生活満足度（キャンパス別）

なお、「やや不満」もしくは「不満」と回答した学生の割合は、大学全体では21.2%、学部では、総合福祉学部20.8%、コミュニティ政策学部23.3%、看護栄養学部24.5%、教育学部12.1%、地域創生学部32.4%、経営学部20.7%、人文学部20.3%、キャンパスでは、千葉キャンパス21.2%、千葉第二キャンパス24.5%、埼玉キャンパス19.2%、東京キャンパス20.5%である。

年次別の満足度割合をみると、「満足」もしくは「やや満足」と回答した学生の割合は、1年次81.8%、2年次76.7%、3年次74.1%、4年次83.1%であり、4年次がもっと高い。1年次、2年次、3年次と徐々に評価が下がり、4年次になると評価が高くなるという傾向は、大学に対する満足度と同様である。

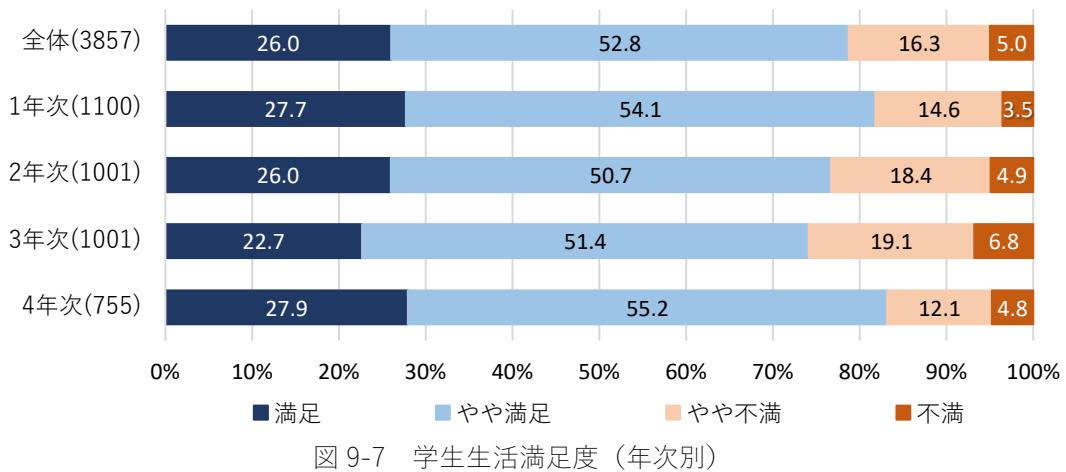


図9-7 学生生活満足度(年次別)

前回調査と比較すると、「満足」「やや満足」という回答の割合は、大学全体で前回調査72.0%、今回調査78.8%で6.8%の増加であった。学部ごとにみると、総合福祉学部5.1%増、コミュニティ政策学部11.1%増、看護栄養学部2.3%増、教育学部12.1%増、地域創生学部は前回調査時未開設、経営学部11.9%増、人文学部7.3%増であった。すべての学部で生活満足度は増加した。

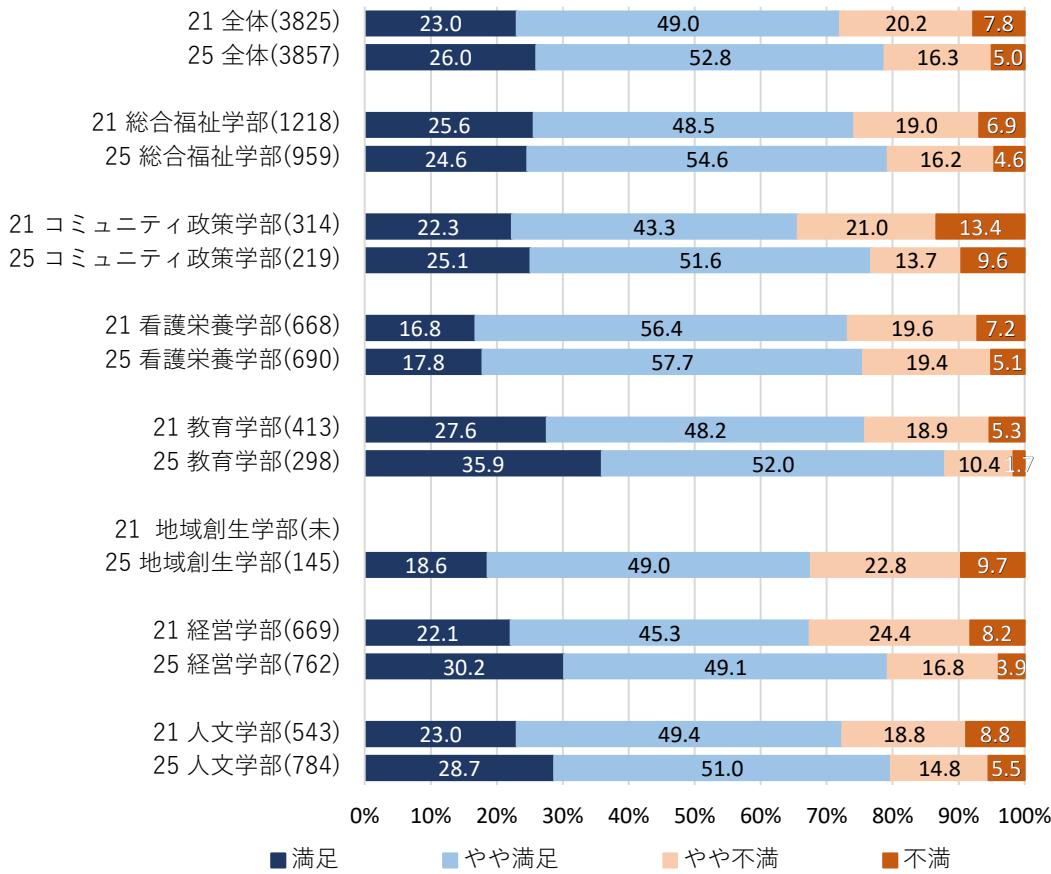


図9-8 学生生活満足度(学部別・前回調査との比較)

(10) 淑徳大学への要望や意見（自由記述回答より）

大学への要望、意見について自由回答の設問を設けた。有効回答者 3,857 人のうち「要望、意見」の自由回答数は 1,489 人（38.6%）であった。

回答者数の学部別内訳は、総合福祉学部 359 人（24.1%）、コミュニティ政策学部 84 人（5.6%）、看護栄養学部 350 人（23.5%）、教育学部 120 人（8.1%）、地域創生学部 69 人（4.6%）、経営学部 213 人（14.3%）、人文学部 294 人（19.0%）で、総合福祉学部と看護栄養学部の割合が高かった。

記述された内容は、次の 4 点に集約される。

1 点目は「施設（施設管理を含む）、設備、備品に関すること」である。

もっとも多く記載されていたのは、前回調査に引き続きスクールバスに関する要望・意見で、バスの運行本数、運行時間や運行間隔、バス停留所の場所に関する意見である。スクールバスの新規ルートを求める意見も多くみられた。

次に多いのは食堂・学食に関するもので、席が足りない、値段が高い、メニューを見直してもらいたいなどの意見があった。学食での感染予防対策や感染リスクに関する意見もみられた。

また、キャンパス内の建物間距離に関する意見、購買の品揃えや価格に対する意見、教室の備品に関する意見、自習スペースやフリースペースや仮眠スペースを望む意見、図書館運営に関する意見、インターネット環境に関する意見、喫煙所に関する意見、エアコン設置要望や空調設定温度に関する意見、グラウンドに関する意見などがあった。

2 点目は「教育全般に関すること」である。授業の内容・方法に関すること、カリキュラムや時間割に関すること、オンライン授業に関する意見、課題の質・量に関する意見、その他の事務手続きや事務連絡に関すること、学生の授業中の態度に関することなどであった。

3 点目は「教員、職員に関すること」であり、教職員の学生への対応や関わり方、学生サポートや就活支援などについての記載があった。

4 点目は「その他」の意見である。学費が高いとする意見、サークルに関する意見、学生のマナーに関する意見、学園祭に関する意見、学校からの連絡についての意見などがあった。

また、本学への要望や意見という設問の意図からは外れるが、本学に入学して良かったという意見や感謝の言葉も寄せられた。

III. 要望・意見に対する「各キャンパスの回答」

学生生活実態調査の自由記述への対応について

(千葉キャンパス)

総合福祉学部長 千葉 浩彦
コミュニケーション政策学部長 芹澤 高齊
千葉事務部長 櫻井 一雄

「第9回学生生活実態調査」の結果のうち、自由記述で記載していただいた「大学への要望や意見」に対しての回答は以下の通りです。学生のみなさんが記載していただいたご要望やご意見の全てについて対応することは難しいのですが、千葉キャンパスとしては可能な限り、できるところから改善を図っていきたいと考えております。

今回は、自由記述を大きく以下の4つに分類し、各項目に意見を集約して対応策を記載いたしました。

なお、大学への様々な要望や意見を頂いておりますが、「入学して良かった」、「楽しい学生生活を送ることができている」、「教員や学生サポートセンターの職員が親身になって相談に乗ってくれる」などの好意的な意見も数多く頂いておりりますことも、お伝えさせていただきます。

1. 学食・設備施設などへの意見

① 学食など

学食に対して、「メニューを増やして欲しい」、「席数を増やしてほしい」、「価格を下げてほしい」というご意見を多く頂きました。

現在、次年度へ向けて、学食のリニューアル工事を予定しており、「席数を増やす」などのハード面での対応を検討しております。

また、「メニューを増やして欲しい」、「価格を下げて欲しい」については、学生の皆さんの要望を実現できるように、委託先企業と大学側で調整を行わせていただきます。

なお、「アレルギー表示をして欲しい」や、「キッチンカーの来訪日を増やしてほしい」などについては、早急に対応を検討します。

② 施設・設備など

施設・設備については、「学内にコンビニを配置して欲しい」、「食事や会話が可能な学習スペースを設置して欲しい」、「学食以外に休憩できるスペースが欲しい」というご意見を頂きました。

コンビニの設置については、学生のみなさんの利便性を高めるため、なるべく早い時期に設置できるように進める予定です。

また、「食事や会話が可能な学習スペース」と、「学食以外に休憩ができるスペース」については、新たなスペースを設置する必要があり、学内の施設の関係上、難しい状況ではありますが、検討させていただきます。

上記以外に、「Wi-Fi が繋がりにくい場所がある」とのご意見を頂いております。

こちらについては、遠隔授業の本格的な実施に伴い、Wi-Fi の環境整備を実施済みで、授業教室において、Wi-Fi が繋がりにくい状況はほぼありませんが、授業教室以外では Wi-Fi が繋がりにくい場所があり、そのような場所についても、Wi-Fi の環境整備の改善を検討させていただきます。

また、喫煙所について、「食堂近くの喫煙所を他の場所へ移動して欲しい」や、「学内を全面禁煙にして欲しい」などの意見を頂いております。こちらについては、喫煙者のご意見も尊重しつつ、受動喫煙の対策を進め、環境整備を図っていきたいと考えております。

なお、学生の皆さんには、大学の施設・設備は公共の財産または公共の共有物であることを再認識頂き、大切に取り扱うようご協力をお願いします。

エアコンについても、温度設定が適切ではないとのご意見を頂いておりますが、人それぞれ快適な温度に違いがあり、全ての方が快適と思える温度を設定することができません。

大学としては、多くの方が快適と思われる温度である、夏 26 度、冬 22 度で設定させていただいておりますので、ご了承ください。(各教室において、エアコンの温度は変更できます)

③図書館の環境・設備などについて

図書館内で湿気がこもってカビが発生し、図書館の所蔵資料にもカビが付着したりして、利用者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。今年度、エアコンの吹き出し口やロールカーテンの清掃を行い、湿度の高い時期には除湿器を設置する等の環境整備に努めた結果、かなり改善されました。

「図書館内に飲食スペースが欲しい」とのご要望につきましては、まず図書館内での飲食が認められていないため、残念ながら設置はできないことをご理解ください。

また、「個人ブースを増やしてほしい」とのご要望につきましては、図書館の座席数や建物の配置等の事情で個人ブースの増設は難しいですが、テーブル席を利用する方に向けて、仕切り用パーテーションの貸し出し等を検討しております。設置することになりましたら、図書館よりご案内したいと考えております。

なお、調べている内容に関する図書や雑誌等が図書館に見当たらない場合は、図書館のスタッフに相談していただければ、文献コピーの取り寄せ(文献複写)、資料そのものの借用(現物貸借)ならびに所蔵している図書館・資料室の利用の紹介(紹介状の発行を含む)等のお手伝いをしますので、是非ご活用ください。

④スクールバスなど

今回ご意見が一番多かったのはスクールバスについてでした。バスの本数や運行方法、また、バスの乗車待ちに関する意見が多く見受けられました。コロナ禍が落ち着いた 2023 年度より対面授業を全面的に再開し、併せて全学共通科目の開講がなされる等、学生の乗車人数もコロナ禍明けから一気に増加しました。

さらに、学外への実習や課外活動、学生団体の活動等も盛んに行われるようになり、多方面でスクールバス運行の需要が高まっている状況下にあります。バスダイヤについてはバス運行会社の協力のもと、乗車人数のカウントデータや授業時間割を加味しながら策定し、コロナ禍前よりも運行本数を可能な限り増便して運行しています。

しかしながら、バスの台数には限りがあり、朝の時間帯特に雨の日などは大学と駅間の道路状況が混雑することから 2 巡目以降のバスが予定通り到着できない場合があることもご理解ください。

また、バス待ちの問題についてはハイブリッド授業の充実などにより、利用状況の改善がなされるような方策を図ります。

他方、乗車マナーに関して不快に思っている学生からの意見も数多くございました。中でも最も多かったの

が乗車列への割り込みです。乗車時は後から来た友達を列に入れることはせず最後尾に並んでもらう等、引き続きマナーを守りながら乗車のご協力をお願いいたします。

2. 授業他、教務関係等への意見

「履修登録の自由度を高めてほしい」、「空きコマが生じる曜日がある」、「1 時限や 6 時限以降の授業が負担である」など多岐に渡る意見を頂きました。本キャンパスには、免許・資格の取得を目指すカリキュラムを中心とした学科や地域貢献・地域活性化に係る学びを中心とした学科があり、学生一人一人に沿った専門的な学びの提供や免許・資格を取得し、卒業できるよう履修モデルの提示と時間割編成を行っています。

特に、文部科学省や厚生労働省管轄の免許・資格の取得に要する法令指定科目を開設し、時間割上の重複が生じ得ないよう科目を配置していることへのご理解願います。

また、教室数、教室サイズ、学部・学科ごとに異なるカリキュラムを同一期間内に実施する関係上、時間割上で空きコマが生じる場合がありますが、空き時間には図書館、学修支援室やラーニングコモンズなどの学修スペースを有効にご活用いただき、大学4年間で学びを深められるように役立ててください。

なお、「紙のレジュメが多い」、「データでレジュメを配布してほしい」等の意見がありました。科目の特性や教育効果の観点を勘案し、紙のレジュメを配布している科目もあることをご理解願います。同時に、2025年度入学生からの個人の PC 等の持ち込みの導入に伴い、各科目をご担当いただいている先生方と協働の上、科目の特性や教育効果の観点を勘案しつつ、電子教科書への移行やレジュメのデータ配布といった対応を教務委員会にて検討を進めさせていただきます。

3. 教職員、事務局などへの意見

教職員の指導や対応へ好意的な意見を多くいただいております。ただし、少数ではありますが、「高压的な態度をとられた」、「モチベーションが下がるような言動があった」などのご意見もいただいております。

少数とはいっても、上記のご意見があったことを大学として重く受け止め、教職員間で共有して、授業環境の改善および職員の窓口での対応改善を図ってまいります。

また、事務職員について、情報共有がされていなかったり、回答が明確でなかったりするとの意見を受けております。この点については、職員の研修を強化するなどして、改善を図らせていただきます。

4. その他の意見

その他の意見として、「フリースペースが欲しい」、「リラックスできる場所が欲しい」、「昼寝ができる場所が欲しい」などのご意見をいただいております。こちらについては、大学施設の関係上、難しい状況ですが、既存施設の用途を変更するなどして、対応を検討させていただきます。

また、「キャンパスを超えた、教職員および学生交流をして欲しい」とのご意見をいただき、千葉、東京、埼玉に、4 キャンパスを展開しているながら、大学側がそのスケールメリットを十分に生かすことができていないことを改めて知ることができました。

なお、「決められた場所以外で喫煙をしている」、「ゴミ箱以外の場所に、ポイ捨てする人がいる」、「蘇我駅の学バス乗り場で列に割り込みされた」、「授業まじめに受けていない人がいる」など、学生の皆さんご自身のマナーに関するご意見も寄せられております。

学生の皆さんのが、より良い学生生活を送ることができるよう、皆さん一人一人の心がけを大切にしてほしいと思います。

おわりに

学生生活実態調査へのご協力ありがとうございました。

多くのご意見・ご要望を頂き、その中には、大変厳しいご意見もありましたが、学生生活について、多くの好意的な意見を頂きました。

今後とも多くの学生の皆さんから、好意的なご意見が増えていくように、大学として様々な取り組みを進めています。

前回の調査から4年が経ちますが、「遠隔授業の本格的な導入」、「生成AI技術の進歩」など、大学生の学修・生活環境が急速に変化しているため、従来と同様の対応では、学生の皆さんのご意見、ご要望にお応えすることは出来ないと感じております。

教職学協働のもと、スピード感を感じられる対応を心がけてまいります。

なお、教職員だけでは、改善することが難しい点もありますので、その点については、学生の皆さんにも、広くご意見やご協力いただく場面があると思いますので、よりよい大学生活が実現できるように、よろしくお願ひいたします。

学生生活実態調査の自由記述欄への対応について (千葉第二キャンパス)

看護栄養学部長 林 雅晴
事務室長 神子澤 幹子

「2025（令和7）年度 学生生活実態調査」の結果のうち、自由記述で記載していただいた「大学への要望や意見」に対しての回答は以下の通りです。学生みなさんが記載してくれた要望や希望の全てについて対応することは難しいのですが、千葉第二キャンパスとしては可能な限り、できるところから改善を図っていきたいと考えております。

今後、皆さんからの意見や要望をもとに、以下のとおり、対応を検討してまいりたいと思います。学生の皆さんにおいては、引き続きご自身の夢や進路実現のため、これからも日々の学修に励んでいただきたいと思います。

今回は、自由記述を大きく以下の6つに分類し、各項目に意見を集約して対応策を記載いたしました。

千葉第二キャンパスとして集計した結果、今回の自由記述には456件のご意見がございました。意見内容は複数の項目で意見があった為、内容を精査し、以下の項目毎に分類（分類毎の集計は以下の通り）しました。

	項目	意見件数	備考
1.	スクールバス関係への意見	288	
2	学食関係への意見	47	
3.	施設関係への意見	56	
4.	授業、教務関係への意見	38	
5.	教職員関係への意見	18	
6.	学生生活への意見	9	
	計	456	

1. スクールバス関係への意見

今回、1番多かった記述がスクールバス運行への意見でした。主にバスの運行本数や混雑などに対する意見が寄せられており、スクールバス問題については第二キャンパスの長年の課題となっている事は大学側も認識しております。ただ、JR蘇我駅↔第二キャンパス間については近隣の渋滞等もあり日々の運行時間に大きな差がある為、どうしても往復の運行時間を長めに設定する必要があります。また、近隣の道路事情により大型バスの運行が難しく、中型での運行にならざるを得ないという外的要因もあります。

様々な問題があり、学生の皆様にはご迷惑をおかけしておりますが、運行形態やダイヤの変更など、改善に

向けた検討を進め、可能な限り利便性を高めてまいりたいと思います。その一環として、鎌取駅発または大森台駅発のスクールバス運行についても現在検討を進めております。今後、実際の利用希望者数を把握するためのアンケートを実施する予定です。

なお、一部の学生が列に割り込んでいる、混雑している状況でも自撮りをしている学生がいる等、マナーに関する記述もございました。学生の皆さんには引き続きマナーを守って利用いただきなど、ご協力をお願ひいたします。

2. 学食関係への意見

「学食の値段が高い」「量を増やしてほしい」「メニューを充実してほしい」といった声を多く頂きました。加えて、「食堂が混雑して座れない」「スペースが狭い」とのご意見や、「購買の商品を増やしてほしい」「営業時間を延ばしてほしい」「学内にコンビニのような店舗を設けてほしい」といった要望も寄せられました。

すべてのご要望にすぐに応えることは難しい状況ではありますが、頂いたご意見は今後の環境改善を考えるうえで大変参考になります。学食については業者と相談を継続し、価格や量、メニューの工夫など可能な範囲で改善を検討してまいります。混雑やスペースについても、座席配置の工夫など、できる部分から対応を進めます。購買に関しても、商品の充実や営業時間について、引き続き業者と検討いたします。

また、コンビニや無人販売機の設置につきましては、過去に業者と協議を行いましたが、千葉第二キャンパスの規模や利用人数の関係から導入は難しいとの回答を頂いております。そのため現時点では実現が困難ですが、学生の利便性向上に向けて、購買の商品充実など、できる部分から改善を進めてまいります。

3. 施設関係への意見

施設、設備関係への意見として教室が寒いやパソコンのキーボードが打ちづらい、外の石畳が滑る等を頂いております。教室の空調については、各教室にて個別の温度設定が可能な為、寒い場合は授業担当教員までお声がけください。また、キーボードについては2025年夏に学内のPCをリプレイスしております。これまで故障していたPCもありご迷惑をおかけしておりましたが、新規更新いたしましたので、ぜひご利用ください。エントランスの石畳については雨が降ると滑りやすい為、2024年の冬に高压洗浄機による洗浄を行っており、滑りにくくなっているかと思います。

施設、設備については大規模な工事等が必要な案件もあり、すぐに対応するのが難しい事もございますが、今後も学生の皆さんのが過ごしやすいよう整備を整えてまいります。

4. 授業、教務関係への意見

「課題が多い」「夏休みに実習をしないでほしい」「時間割の調整」などの意見がありました。教員間において今回の意見や要望等について共有し、課題における実態の把握を行います。夏休みの実習については、大学で定められたCAP制度（セメスター期間内に履修できる単位数の上限設定制度）が背景にございますので、いただいたご意見を大学内にて共有し、制度の見直しと、セメスター期間内での実施について検討してまいります。また、時間割の調整については、非常勤教員の調整や、教室規模、千葉キャンパス開講科目との調整、スクールバスを考慮すると、調整が困難な部分もございますが、点検を行い、工夫をしてまいりたいと存じます。

5. 教職員関係への意見

「先生方のサポートが手厚い」「優しい教職員が多い」「表現技法Ⅲの授業が素晴らしい」など、前向きなご意見をいただき、大変励みになっております。今後も、こうした良い取り組みを学内全体に広げてまいります。

一方で、「授業の質に差がある」「高圧的な態度や失言」「事務手続きの遅れや対応のマナー」などのご指摘について、真摯に受け止め、改善に向けて対応を進めてまいります。

なお、「意見箱の設置」のご提案がございましたが、1号館1階遺失物展示ケースの上に常時設置しておりますので、ご活用ください。

6. 学生生活関係への意見

「奨学金制度、学内設備・サービス、サークル・部活動について十分に周知されていない」との意見がありました。

大学では、奨学金や多子世帯給付金、学内設備・サービスの活用について、より分かりやすく情報を提供できるよう改善を進めてまいります。また、第二キャンパスの学生にもサークルや部活動の情報が届くよう、案内方法を工夫してまいります。

おわりに

今回の学生生活実態調査を通じて、さまざまな状況を確認することができるとともに、多くのご意見・ご要望を頂きました。私たち教職員も、可能なことから順次取り組みを進めてまいります。その際には、学生の皆さんのご協力や積極的な参画が欠かせません。無理のない範囲で構いませんので、今後ともご協力くださいますようお願い申し上げます。

学生生活実態調査の自由記述欄への対応について

(埼玉キャンパス)

教育学部長	松原 健司
地域創生学部長	矢尾板 俊平
埼玉事務部長	新井 仁志

「第9回学生生活実態調査」の結果のうち、自由記述で記載していただいた「大学への要望や意見」に対する回答は以下の通りです。学生のみなさんに記載していただいた要望や希望の全てに対応することは難しいのですが、埼玉キャンパスとしては可能な限り、できるところから改善を図っていきたいと考えています。

今回は、自由記述を大きく以下の4つに分類し、各項目に意見を集約して対応策を記載しました。

1. スクールバス（本数・停留所等）について

スクールバスの運行数は、現在、過去の学生生活実態調査の声を反映して、週末を除いてみずほ台線4台・東所沢線4台で運行しております。各種行事等の際には特別ダイヤを増加し、時程に即した利便性の高い運行が出来る対応を今後も進めてまいります。

また、いくつかの時間帯の増便についてもご意見をいただきましたが、令和6年度より、働き方改革関連法の一環で「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」が施行され、バス乗務員の連続乗務時間に制限が設けられ、乗務員はこまめな休息を取る事が義務となりました。

その結果、発着数の多い時間帯の前後に休憩時間を設ける必要があり、ご意見を頂いている東所沢線の増便も現状維持が限界となっております。

本年度後期より、授業時間に合わせた発着便になるようさらに修正を実施しておりますので、みなさんには、時差による登校にご協力を願うとともに、授業開始時刻間に到着する便については、混み合う傾向にありますので、ゆとりを持った対応をお願いします。

現在のみずほ台バス停は、2018年度にみずほ台病院横からの移動となり、渋滞を避ける運行ルートが可能となり、以前よりも若干ですが短い時間で大学に到着できるようになっております。しかし、駅からバス停が遠くなったりとも事実です。

スクールバスの停留場は公共機関のバス停留所とは異なり、私有車を一時的に停車させ、乗降をする場所をお借りして設置しています。現在のみずほ台線の停留所は駅周辺の「西みずほ台商店会」から、公道での停留使用の許可をいただき利用させていただいているところです。

これらの事情から、みずほ台バス停の移転については難しい状況です。今後も安心・安全で快適なスクールバスの運行について研究してまいります。

2. 食堂・購買・売店等について

食堂・購買・売店はみなさんからの要望が多い項目でした。2023年度にシルクロードの全面リニューアルを

実施し、新しく、清潔感のある学生食堂として改善致しました。

また、4号館学生ラウンジも埼玉協賛会様のご支援により、机椅子の入替えを実施し、喫食及び自習スペースの座席数は、シルクロード約240席、学生ホール約100席、2号館学生ホール約110席、4号館学生ラウンジ45席、合計約495席となりました。(埼玉キャンパス学生数816人/2025.11現在)

決まった時間帯で同時に食事をとる環境としては十分とはいえない状況かもしれません、限られたキャンパス環境の中でもより有効に利用できるよう今後も整備に向け検討してまいります。

食事の内容・メニュー・生協の食品については、安全、健康に配慮したものを重視して提供しております。

その他の商品、メニュー開発、値段他についても、今後生協とともに検討してまいります。

3. キャンパスの施設・設備について

1) 3号館トイレについて

全面リニューアルを実施した3号館トイレですが、3号館自体の配管の劣化により使用が難しくなっておりました。

本年度夏期に埋没配管の改修工事を実施して使用制限を撤廃しました。

2) ネットワーク環境について

無線LANの接続環境についてご意見を頂きました、アクセスポイントの更新や追加を2022年度より順次進めています。今後は回線速度の向上のため、中継器や光ケーブルの更新を進めていく計画となっております。

また、接続機器数の制限についても、今後改善できるよう学園情報センターと計画を進めていく予定となっています。

「繋がりにくい」、「途中で切れる」は教育環境下にあってはならないことだと認識しております。建物内に限りますが、快適に無線LANが使用できるよう今後も整備を進めてまいります。

3) キャンパス内の照度について

キャンパス内の明るさについて、いくつかご意見を頂きました。埼玉キャンパスは非常に大きなキャンパスであり、SDGsの観点からも照明機器の増設により隅々まで明るくすることは非常に難しいですが、安全、安心の確保のため、LED化による照度の向上と、外灯の増設や照明機器の更新を計画しております。

4. 学生の学習及び学生生活について

1) 時間割について

【教育学部長】

時間割については、学年別コース別の配置や先生方の担当科目など様々な要素を重ねて考えなければいけないため、全ての皆さんの要望に応えることは難しい面がありますが、今後も皆さんからの声も参考に、改善に努めていきたいと考えています。

授業の内容についても、授業アンケートの結果も交えてわかりやすく、学びを深めてもらえるようにしていきたいと考えています。

【地域創生学部長】

ご意見を頂きありがとうございました。

2023年度に学部が開設され、学年進行に基づき、毎年度、新たな講義科目や実習科目が開講されています。

学生の皆さんのがんばりを深めるため、充実した実習にするべく努めておりますが、実際に講義や実習が開講されることで新たに見えてくる課題等もあります。こうした課題を把握し、より良い教育内容とするべく改善を図っているところです。この点については、学生の皆さんにもご理解を頂ければ幸いです。

今後も、お気づきの点について、ぜひご意見を頂ければと思います。よろしくお願ひいたします。

2) 履修登録や時間割について

時間割について、「必修科目的時間割をもう少し考えてほしい」というご意見が寄せられました。

時間割は、年度、学年、学科、必修/選択科目など、さまざまな条件を考慮して決定しております。

学生の皆さまの状況によりご要望は異なるかと思いますが、ご理解のほどよろしくお願ひいたします。

3) 授業形態について（遠隔授業・グループワーク）

授業内容について、「実践的な授業を実施してほしい」「グループワークやアクティブラーニングが多くなる」「グループワークの作法を学ぶ機会として研修を導入してほしい」などのご意見が寄せられました。

大学では、教職員同士の研修（FD）の開催や教員間の授業参観などを通じて、教育力の向上や魅力ある講義づくりに取り組んでおります。

学生の皆さまにより深い学びを提供できるよう、これらの取り組みを引き続き継続してまいります。また、授業形態については、到達目標を達成するために、より効果的な学習方法を選択しておりますので、シラバスをご確認いただき、授業内容への理解を深めていただければ幸いです。

教科書について、「教科書をほとんど使わずに講義を進めるのはいかがなものかと思う」というご意見を頂きました。こちらのご意見は学内で共有し、改善に努めてまいります。

遠隔授業について、「オンライン授業ではS-Naviの出欠がつかず不安になる」「オンライン上での課題の提出方法やフィードバック方法を統一してほしい」というご意見を頂きました。

これらのご意見も学内で共有し、学生の皆さまの学習環境の向上を目指して、運用方法の工夫について検討を進めてまいります。

4) 実習に関する伝達事項について

「実習などの情報公開が遅い」とのご意見がありました。おそらく特に今年度から始まった「地域創生実習」に関してだと思われますが、学部・学科として「初」の「長期」実習であり、また全体の実習地や回数も多いため、見通しが不十分だったことによると思われます。

それが他方で「見切り発車」というご指摘にもつながっていると思います。

実習説明会の開催時期や開催方法、ならびに今年度の全実習の実施状況等を点検し、見えてくる課題を一つ一つ丁寧に検討し、適切なタイミングでの情報公開や連絡に努めてまいります。

今後も、お気づきの点について、ぜひご意見を頂ければと思います。よろしくお願ひいたします。

5) 事務部に関するこことについて

職員の対応についてのご意見を頂きました。

ご指摘を真摯に受け止め、職員一同、皆さんのが大学生活を安心して送れるよう、公平で丁寧、そして親切な対応を改めて徹底してまいります。

私たちは、単に事務手続きを行うだけでなく、皆さんのが大学生としての自覚を持ち、社会人として自立していくためのサポートも重要な役割だと考えています。

皆さんのご意見を無駄にせず、信頼と満足感を感じていただけるよう、改善に努めてまいります。

6) クラブ・サークル活動について

クラブ、サークル活動に関しまして、ご意見を頂きありがとうございます。

クラブ棟の鍵の管理については、これまで、団体の設立や解消が多くあり、セキュリティ上の問題から鍵を各団体には、お渡しをしてきていましたが、継続年数の長い団体等には、鍵をお渡しすることも今後検討していきます。

強化育成団体の専用バスについて、ご意見を頂きまして、ありがとうございます。

学生全体からスクールバスの利便性についてのご意見が、多数寄せられております。この点を解消することの優先順位が高いため、今後、検討してまいります。

おわりに

今回の学生生活実態調査においても、学生のみなさんからたくさんの大学側への意見や要望を多数いただきありがとうございました。その意見や要望をもとに、私たち教職員は、皆さんとともにより良い、キャンパスを作っていくらと考えています。学生のみなさんにも、そうした取り組みへの積極的な参画をお願いしたいと思います。

引き続き、ご理解の上、ご協力いただけますようお願いいたします。

学生生活実態調査の自由記述欄への対応について (東京キャンパス)

人文学部長 小川 博章
経営学部長 千葉 千枝子
東京事務部長 富川 由紀

「2025（令和 7）年度 学生生活実態調査」の結果のうち、自由記述で記載していただいた「大学への要望や意見」に対しての回答は以下の通りです。学生のみなさんが記載してくれた要望や希望の全てについて対応することは難しいのですが、東京キャンパスとしては可能な限り、できるところから改善を図り、今後もより一層充実した教育を展開したいと考えています。今回は自由記述を 5 項目に分類し、各項目に意見を集約して回答といたします。

1. 施設・設備（教室・学食・スクールバス等）などへの意見

①教室移動及び立地

教室移動及び立地に関して「授業毎の移動が大変」「各号館の距離が遠い」「図書館が遠い」という意見が多数ありました。東京キャンパスの建物は住宅街に点在していることから、建物間での移動についてご不便をおかけしています。立地条件上、建物の移設等の対応が難しいため、移動時間を考慮し、授業間の休憩時間を 15 分としています。ご不便をおかけしますがご理解の程、お願ひいたします。

②スクールバス

スクールバスに関して「東京キャンパスにもスクールバスが欲しい」という意見が多数ありました。スクールバスについては東京キャンパスの立地条件や運行に係る費用を鑑み、現状では対応が難しい状況です。東京キャンパスの近隣にはレンタル自転車のスポットが複数ありますので、併せてご活用を検討いただけますと幸いです。

③教室備品

教室内の備品に関して「マイクが古い」「椅子を快適にしてほしい」等の意見がありました。各号館の教室内の備品については今後も都度対応を検討しながら、環境整備に努めてまいります。

④スペース（学習・自習スペース・飲食スペース・フリースペース等）

キャンパス内の学習・自習スペース・飲食スペース・フリースペース等に関して「増やして欲しい」等の意見が多数ありました。現状、可能な範囲でのスペース確保に努めていますが、ご不便をおかけしております。学習・自習スペースについては静かな環境である図書館を利用いただく、飲食スペースについては飲食が禁止ではない空き教室も利用が可能ですので併せてご活用ください。また、昨年度まで 5 号館 2 階にあったソファーについては、占有して寝そべっていることが散見され、その利用方法についての意見を多数頂いていたため、個別の自習スペースを設置しました。大学は教育を受ける場のため、仮眠を取るようなスペースの提供は難し

い旨、ご理解ください。

⑤学内Wi-Fi

学内Wi-Fiに関して「Wi-Fi環境を改善してほしい」「9号館地下の教室のWi-Fiが繋がりにくい」等の意見がありました。各教室のWi-Fi環境については皆さんから頂いたご意見を踏まえ環境整備に努めてまいります。

⑥学食・売店

学食に関して「メニューを増やして欲しい」「価格が高い」「机が汚れている」「混雑している」等の意見が多數ありました。価格については東京協賛会からのご支援により比較的抑えられているものの、昨今の人件費増、物価高等の影響による値上げにより皆さまにご負担をお掛けしております。メニューの種類については食堂業者と共に予算内で可能な内容を様々検討しておりますが、今後も引き続き検討を重ねたいと思います。机の汚れについては現在も清掃業者に対応いただいているものの、利用者の多いお昼休みの時間帯は直ぐに清掃することが難しく、またその他の教室清掃との兼ね合いもあります。そのため汚れに気づいた時に皆さん自身で拭いていただけるようウエットティッシュの設置等を検討してまいります。食堂の混雑については皆さんにはご不便をおかけしており、申し訳ありません。現在は6号館森のダイニング、5号館学生ホールの他、空き教室（一部飲食禁止教室を除く）でも昼食等を摂っていただくことが可能です。現状も皆さんにご協力いただいておりますが、森のダイニング及び学生ホールには席数に限りがあるため引き続き、譲り合い、ご利用いただきますようご協力をお願いします。

2. 学生生活などへの意見

①サークル活動

「サークルや部活をもっと増やして欲しい」「サークル活動をもっと活発にしてほしい」「サークルの活動がわかりづらい」等の意見がありました。サークル活動は学生の皆さんのが主体となる活動です。東京キャンパスでは前後学期で各1回クラブ・サークル新規設立の説明会を実施しています。既存のクラブ・サークルに入りたい団体がないという場合にも条件を満たせば学生の皆さん自分で新しいクラブ・サークルを立ち上げることも可能です。ぜひクラブ・サークル活動を皆さんのが活発にしてください。

②運動施設

「広いグラウンドが欲しい」等の意見がありました。東京キャンパスが住宅街に位置しているため、立地上、広いグラウンドを作ることが難しい面があります。3号館アリーナでは2025年10月1日より皆さんのが自由に利用できるボール類を用意し、また授業や予約が入っていない時間帯は当日でも利用ができるように利用制限の緩和をしています。ぜひ3号館アリーナをご活用いただければと思います。

③その他

「学科を超えた交流をしたい」「学生ホールや教室前のスペースで騒いでいる人がいる」等の意見がありました。交流機会については1人暮らし&留学生懇親会、サークル★フェスや学園祭は他学科との交流の場としても開催していますが、その他、学生の皆さんのが希望や要望があればぜひ学事担当までお寄せください。学生生活のマナーについては日頃より注意喚起をS-Naviや学内のデジタルサイネージにて行っています。学生の皆さんをはじめ、大学周辺の地域の方々が気持ちよく生活が送れるようルールやマナーを守りましょう。

3. 授業他、教務関係等への意見

①授業内容

「同じ学科・同じ授業でも教授によって授業難度や単位取得条件が異なる」「課題が多い」等の意見がありました。授業はシラバスに則り授業を進めることが原則ですので、教員もその点に留意して授業を行うことに努めてまいります。また、授業内容及び方法については、今後も学内研修や学会活動等を通じて研鑽に努め、皆さんの学びをより一層深めていきたいと思います。課題については文部科学省により大学の授業は授業時間以外の事前・事後の学習を含めたものが原則となっています。そのため一定数の授業外の課題が前提となる点はご理解いただければと思います。その上で、課題（事前・事後学習）は、皆さんの学びを深め、定着するために必要なものですので、大変ですが、しっかりと取り組みましょう。

②履修・時間割

「1年間で取れる単位を増やして欲しい」「時間割に自由度が無さすぎる」等の意見が多数ありました。セメスターごとの履修上限については、大学で検討しています。皆さんに、受講時間だけでなく、事前・事後学習にも十分な時間を使い、4年間で充実した学びを得られるよう、検討してまいります。時間割については複数の学部学科が併存していることや教室の広さや数、教員の勤務日等の制約もあり、ご負担をかける場合がありますが少しでも学習しやすい形にできるよう検討を続けてまいります。

4. 教職員、事務局などへの意見

「事務職員の対応が冷たい」「部署間の連携が取れていない」等のご意見をいただきました。窓口対応において、ご不快な思いや不安を感じられたとのこと、誠に申し訳ございません。これらのご意見を真摯に受け止め、学生の皆さんに安心して相談・手続きができるよう改善に取り組んでまいります。

5. キャリア支援などへの意見

「キャリアアワーや社会的・職業的自立の授業内容を充実して欲しい」「就職・進学のサポートをもっと協力的にして欲しい」等の意見がありました。S-BASIC「社会的・職業的自立」や正課外授業「キャリアアワー」について、両授業とも、実施後にはアンケートをとっていますので、アンケートの内容も踏まえ、次年度の授業内容の改善を検討してまいります。就職・進学のサポートについては2年生では「就活合宿」、3年生では「キャリアアワー」「就活シミュレーション」「学内合同企業説明会」などで就職活動を網羅しサポートしております。年度始めに全学年にキャリアサポート一覧をお渡ししておりますのでご確認ください。また、一人ひとりの進路をサポートするため、2・3・4年生で全員と個人面談を実施しております。その際にご不安なことやキャリア支援室へのご要望などをぜひお伝えください。

おわりに

今回の学生生活実態調査を通じて、学生の皆さんから多くの貴重なご意見をお寄せいただきました。これらのご意見を今後の教育活動や学生支援に反映し、より良い学生生活を送っていただけるよう教職員一丸となって取り組んでまいります。そのためには、学生の皆さんの積極的な協力も欠かせません。学園祭実行委員、アドスタッフ、学生参画スタッフ等、大学行事や委員会活動にもぜひご参加いただき、ともに東京キャンパスを盛り上げていきたいと考えております。これからも皆さんのご協力をお願いいたします。

III. 「第9回淑徳大学学生生活実態調査」調査票

Q1

あなたの所属の学部・学科について、該当するものを選んでください。

- ① 社会福祉学科
- ② 教育福祉学科
- ③ 実践心理学科
- ④ コミュニティ政策学科
- ⑤ 看護学科
- ⑥ 栄養学科
- ⑦ こども教育学科
- ⑧ 地域創生学科
- ⑨ 経営学科
- ⑩ 観光経営学科
- ⑪ 歴史学科
- ⑫ 表現学科
- ⑬ 人間科学科

Q2

あなたの学年について、該当するものを選んでください。

- ① 1年生
- ② 2年生
- ③ 3年生
- ④ 4年生
- ⑤ その他

Q4

淑徳大学を選んだ動機について、あてはまるものをすべて選んでください。

(いくつでも)

- ① 所属する学科・コースの専門的な勉強をしたかった
- ② 専門以外の科目も勉強できると思った
- ③ 免許や資格を取得できると思った
- ④ 将来つきたい仕事に必要な勉強がしたかった
- ⑤ 実践的・実学的な教育方法に魅力を感じた
- ⑥ 自分の勉強したい科目がある
- ⑦ 伝統や建学の精神に魅力を感じた
- ⑧ 海外留学・研修に魅力を感じた
- ⑨ サークル活動や部活動に魅力を感じた
- ⑩ 課外授業に魅力を感じた
- ⑪ キャンパスの施設、設備が気に入った
- ⑫ 就職率が高い
- ⑬ 就職先がよい
- ⑭ オープンキャンパスに参加し印象が良かった
- ⑮ 高校や予備校の先生にすすめられた
- ⑯ 友人や先輩にすすめられた
- ⑰ 家族や親類にすすめられた
- ⑱ 自分の学力に合っていた
- ⑲ 自宅から通学できる
- ⑳ その他

Q5

あなたにとっての淑徳大学の志望順位について、あてはまるものを選んでください。

- ① 第1志望だった
- ② 第2志望だった
- ③ 第3志望以下だった

Q6

現在、あなたはアルバイトをしていますか。

- ① している
- ② していない

Q7

大学の授業のある期間(4月～7月)の、週あたりの平均アルバイト時間はどれくらいですか。

- ① 10時間未満
- ② 10時間以上～20時間未満
- ③ 20時間以上～30時間未満
- ④ 30時間以上

Q8

アルバイト代は月額で約いくらですか。

*複数のアルバイトをしている場合は合計額でお答えください。

- ① 1万円未満
- ② 1万円以上～4万円未満
- ③ 4万円以上～7万円未満
- ④ 7万円以上～10万円未満
- ⑤ 10万円以上

Q9

あなたの情報環境や生活について以下の項目からそれぞれあてはまるものを選んでください。(それぞれひとつずつ)



あ
て
は
ま
ら
な
い

1 スマートフォンをもっている	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○
2 自分専用のデスクトップ・パソコンがある	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○
3 自分専用のノート・パソコンがある	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○
4 自分専用のタブレットがある	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○
5 家族と共有のパソコンがある	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○
6 家族と共有のタブレットがある	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○
7 自宅に常時接続のネット回線(有線・無線)がある	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○
8 自宅では新聞を購読している	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○
9 ニュースをよく見ている	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○
10 Instagramを利用している	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○
11 X(旧Twitter)を利用している	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○
12 LINEを利用している	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○
13 部活・サークルに加入している	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○
14 大学にハラスメントの相談窓口があることを知っている	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○
15 大学にいるキャンパスソーシャルワーカーに相談したことがある	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○
16 授業期間中は、ひとり暮らし(学生寮等を含む)である	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○

Q11

大学の教育環境などの満足度について、以下の項目からそれぞれあてはまるものを選んでください。(それぞれひとつずつ)
(なお、設備やサービスなどに関して、あなたがこれまで一度も利用していない場合は、「該当しない」を選択してください。)



満
足
や
や
不
満
足
不
満

1 授業の時間割	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○ <input type="radio"/> 5○
2 履修指導・履修相談	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○ <input type="radio"/> 5○
3 通学授業の受講のしやすさ	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○ <input type="radio"/> 5○
4 教員の学生への対応	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○ <input type="radio"/> 5○
5 オフィス・アワーの利用しやすさ	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○ <input type="radio"/> 5○
6 事務局職員の学生への対応	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○ <input type="radio"/> 5○
7 図書館・図書室の開館時間	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○ <input type="radio"/> 5○
8 図書館・図書室の座席数・設備(パソコン・ビデオ・コピー等)	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○ <input type="radio"/> 5○
9 パソコンが設置されている教室の利用時間	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○ <input type="radio"/> 5○
10 利用できるパソコンの台数	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○ <input type="radio"/> 5○
11 食堂の快適さ	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○ <input type="radio"/> 5○
12 学生が自由に使えるスペース	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○ <input type="radio"/> 5○
13 購買・売店の使いやすさ	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○ <input type="radio"/> 5○
14 サークル部室(千葉・千葉第二・埼玉)の使いやすさ	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○ <input type="radio"/> 5○
15 グラウンド(更科・生実町・埼玉・坂戸)の使いやすさ	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○ <input type="radio"/> 5○
16 スクールバス(千葉・千葉第二・埼玉)の使いやすさ	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○ <input type="radio"/> 5○
17 保健相談室(千葉・埼玉・東京)・保健室(千葉第二)の利用のしやすさ	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○ <input type="radio"/> 5○
18 学生相談室(千葉・千葉第二・東京)・学生総合相談支援室(埼玉)の利用のしやすさ	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○ <input type="radio"/> 5○
19 キャリア支援センター(千葉)・認合キャリア支援室(埼玉)・キャリア支援室(千葉第二・東京)の利用のしやすさ	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○ <input type="radio"/> 5○
20 キャリア支援センター(千葉)・認合キャリア支援室(埼玉)・キャリア支援室(千葉第二・東京)の実施プログラム・イベント	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○ <input type="radio"/> 5○



あ
て
は
ま
ら
な
い
あ
や
あ
ま
り
あ
て
は
ま
る
あ
て
は
ま
ら
な
い

Q10

あなたの日常生活の習慣や学習、友人関係等について以下の項目からそれぞれあてはまるものを選んでください。(それぞれひとつずつ)

1 朝食を毎日食べている	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○
2 運動の習慣がある	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○
3 喫煙の習慣がある	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○
4 飲酒の習慣がある	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○
5 大学の成績はよい方だと思う	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○
6 同じ学科の同学年の人と比べて、勉強時間は長い方だと思う	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○
7 この1か月くらいの間に、大学をやめたいと思ったことがある	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○
8 S-Naviのメールは必ず目をとおしている	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○
9 大学に入学後、新しい友人ができた	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○
10 大学内の友人関係に悩みがある	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○
11 大学内に悩みごとを相談できる友人がいる	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○
12 大学内に悩みごとを相談できる教職員がいる	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○
13 高校時代の同級生は、ほとんどが大学に進学した	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○

あ
て
は
ま
ら
な
い
あ
や
あ
ま
り
あ
て
は
ま
る
あ
て
は
ま
ら
な
い

Q12

淑徳大学の強みや良い点、高校生等に薦めたい点について以下の項目からそれぞれあてはまるものを選んでください。(それぞれひとつずつ)

1 教員が熱心であり親身に関わってくれる	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○
2 教員の指導が手厚く、授業がわかりやすい	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○
3 学生と教員の距離が近く、相談しやすい	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○
4 職員が熱心であり親身に関わってくれる	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○
5 職員の対応が細やかであり、サポートが丁寧である	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○
6 学生と職員の距離が近く、相談しやすい	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○
7 公務員や教員、国家試験等の対策講座等が充実している	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○
8 教室での講義だけでなく、実践的な学びができる	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○
9 専門的な学習が充実している	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○
10 アクティブラーニングやグループワークが多い	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○
11 正課外授業や学外研修、海外研修等の多種多様な学修プログラムがある	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○
12 障がいがある学生も学びやすい環境である	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○
13 多くの学生が親切、優しい、温かい	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○
14 仲間や友人から得られる学びが大きい	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○
15 サークルが充実している	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○
16 キャンパスが広すぎず利用しやすい	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○
17 学食が安い	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○
18 学食がおいしい	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○
19 校舎や施設が綺麗、清潔、清掃が行き届いている	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○
20 リラックスできる空間が多い	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○
21 建学の精神「利他共生」にもとづいた教育が実践されている	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○
22 建学の精神「利他共生」を理解できてきた	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○
23 学内全体がアットホームな雰囲気である	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○
24 ボランティアの募集等の情報が充実している	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○



あ
て
は
ま
ら
な
い
あ
や
あ
ま
り
あ
て
は
ま
る
あ
て
は
ま
ら
な
い

Q13

あなたの全体的な評価について以下の項目からそれぞれあてはまるものを選んでください。

(それぞれひとつずつ)



満
足
や
や
不
満
足
不
満

1 あなたは全体的に、淑徳大学をどう評価していますか	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○
2 あなたは全体的に、自分の学生生活をどう評価していますか	<input type="radio"/> 1○ <input checked="" type="radio"/> 2○ <input type="radio"/> 3○ <input type="radio"/> 4○

おわりに

本調査は、1993年の第1回調査以来、4年ごとに実施してきた学生生活実態調査の第9回目にあたるものであります。本学における学生生活の現状を把握し、今後の教育や学生支援体制の改善に活用するための重要な基礎資料となります。今回の調査では、前回に引き続き、学生が回答しやすいスマートフォンを用いたWeb調査方式を採用し、4キャンパス・7学部・13学科から72.0%という高い有効回答率を得ることができました。ご協力いただいた学生の皆さんに、心より感謝申し上げます。

調査項目の編成にあたっては、学修状況、学生生活、満足度、大学への意見などを総合的に把握するという目的のもと、学生自身が感じる本学の「強み」を可視化することに重点を置きました。回答の結果からは、「学生が親切・優しい・温かい」は89.2%（前回-0.1%）と引き続き極めて高い評価を示し、本学の学修風土の核となっていることが確認されました。また、「仲間や友人から得られる学びが大きい」は89.0%（+4.5%）と大きく向上し、学生同士の協働や相互支援の広がりがうかがえます。

学修面では、「専門的な学習が充実している」が88.4%（+2.4%）と高い支持を維持し、「アクティブラーニングやグループワークが多い」は86.5%（+9.0%）と大幅に改善しました。「講義だけでなく実践的な学びができる」も83.7%（+5.4%）となり、実践的教育の充実が顕著です。

キャンパス環境では、「校舎や施設が綺麗・清潔」は89.9%（+2.7%）と最も高い水準にあり、「ボランティア情報が充実している」も87.2%（+4.1%）と向上しました。また、本学の教育理念である「利他共生」に関連する項目も、「教育が実践されている」86.9%（+2.0%）、「理解できてきた」86.4%（+3.5%）と、着実に浸透が進んでいることが確認できます。

一方、自由記述欄には、施設・設備の改善要望、授業内容・運営に関する意見、教員の対応に関する指摘、学生生活支援への要望など、多岐にわたる声が寄せられました。これらの意見の多くは、学生生活の質をより向上させたいという期待の表れであり、大学として真摯に受け止め、可能なものから順次改善に努めてまいります。

本報告書が、本学の教育改善および学生支援の一層の充実に向けた検討を進める際の有益な資料として活用されることを願っております。最後に、本調査にご協力くださった学生の皆さん、ならびに調査の企画・実施・分析に尽力された第9回学生生活実態調査担当者の各位に、深く感謝申し上げます。

大学学生厚生委員会
委員長 白井 昭彦

第9回 淑徳大学学生生活実態調査担当者

白井 昭彦 大学学生厚生委員長、経営学部 准教授
山本 功 学長特別補佐、コミュニティ政策学部 教授
磯邊 寛子 大学学生厚生委員、東京事務部 学事担当部長
菅野 亜里紗 大学学生厚生委員、東京事務部 学事担当
佐藤 秋彦 大学学生厚生委員、東京事務部 学事担当
岩上 達一郎 学長室 課長

第9回 淑徳大学学生生活実態調査報告書

発行 2025（令和7）年12月17日
発行者 淑徳大学 大学学生厚生委員会
〒174-0063 東京都板橋区前野町2-29-3
電話 03-3966-7631